

# 名古屋大学医学部附属病院

PROFILE OF NAGOYA UNIVERSITY HOSPITAL

病院概要2023

名大病院  
Nagoya Univ. Hospital



名古屋大学医学部附属病院  
NAGOYA UNIVERSITY HOSPITAL

[鶴舞地区]

名古屋大学医学部附属病院  
〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町65番地  
TEL(052)741-2111 FAX(052)744-2785

[Tsurumai District]

Nagoya University Hospital  
65, Tsurumai-cho, Showa-ku, Nagoya 466-8560  
TEL +81-52-741-2111 FAX +81-52-744-2785

名古屋大学大学院医学系研究科・医学部医学科  
〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65番地  
TEL(052)741-2111 FAX(052)744-2785

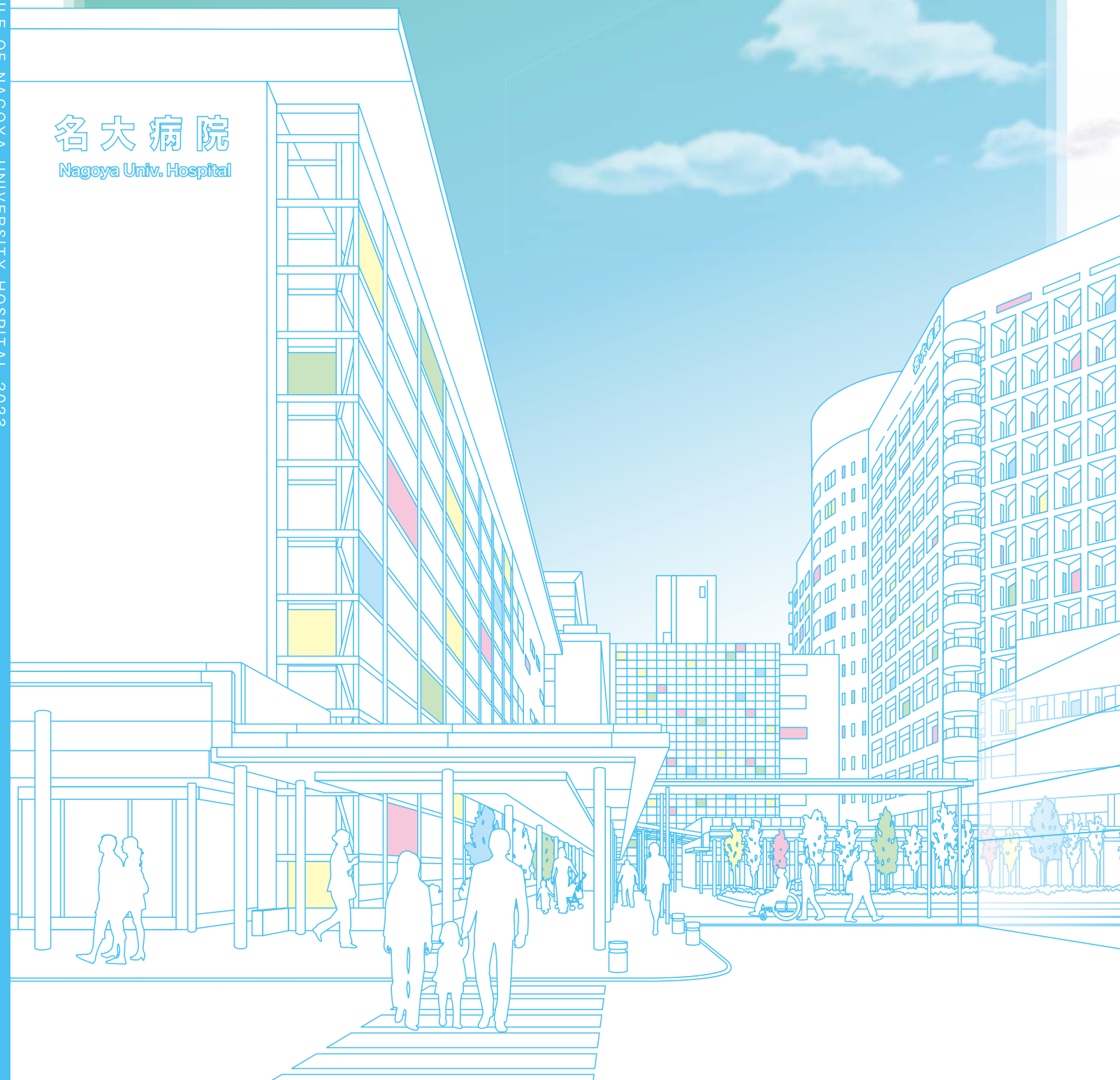
Nagoya University Graduate School of Medicine,  
School of Medicine  
65, Tsurumai-cho, Showa-ku, Nagoya 466-8550  
TEL +81-52-741-2111 FAX +81-52-744-2785

[大幸地区]

名古屋大学大学院医学系研究科・医学部保健学科  
〒461-8673 名古屋市東区大幸南1丁目1番20号  
TEL(052)719-1504 FAX(052)719-1506

[Daiko District]

Nagoya University Graduate School of Medicine,  
School of Health Sciences  
1-1-20, Daiko-minami, Higashi-ku, Nagoya 461-8673  
TEL +81-52-719-1504 FAX +81-52-719-1506



## 理念

診療・教育・研究を通じて社会に貢献します。

### 基本方針

- 一. 安全かつ高度な医療を提供します。
- 一. 優れた医療人を養成します。
- 一. 次代を担う新しい医療を開拓します。
- 一. 地域と社会に貢献します。

### 患者さんの権利

私たち名大病院職員は、患者さんや、患者さんのご家族のご意向を尊重し、よりよい医療ができるように努めます。あなたには、以下の権利があります。

1. 最善の医療を受けることができます。
2. いかなる状態にあっても人格が尊重され、尊厳をもって診療を受ける権利があります。
3. ご自分の病気の内容や今後の見通しについて知ることができます。
4. あなたに携わる医療スタッフ(研修医や学生を含む)の氏名とその診療内容について知ることができます。
5. 診療内容について十分な説明を受け、それについて同意、あるいは拒否することができます。
6. あなたが受けたい診療内容を病院や医師に伝えることができます。
7. あなたが受ける診療の意思決定に参加してもらいたい人を自由に決めることができます。
8. 何らかの理由でご自分の意思を表示できない場合には、ご家族の方や代理人を指定して判断を依頼することができます。なお、依頼した人の判断を拒否することもできます。
9. ご自分の病気の診断や治療について、他の病院から意見を求めることができます。(セカンドオピニオン)
10. 所定の手続きをとることにより、ご自分のカルテ内容を閲覧することができます。
11. 私たちは、あなたに関する情報をあなたの承諾なく第三者に知らせることはありません。
12. 希望されるならば、臨床研究に参加することができます。また、臨床研究に参加することを求められても、それを拒否することができます。
13. 診療内容や入院中における生活において問題や不満がある場合には、医療スタッフにそのことを伝えることができます。あなたが直接伝えることができない場合には、あなたのご家族や代理人により伝えることができます。たとえ、あなたがこのような不満を表示された場合でも、あなたの診療に関して何ら不利益をこうむることはありません。

### 患者さんの責務

あなたに最善の医療を提供するために、あなたの協力が必要です。

1. 現在の病気に関して、あなたが知っていることを正直に私たちに教えてください。
2. 私たちスタッフがあなたに言っていることが理解できない場合には、お申し出ください。また、診療内容で私たちから言われたことを行うことが不可能と思われた場合にもそのようにお申し出ください。
3. 診療を受けている他の患者さんの権利を尊重し、迷惑となるような行為をしないでください。
4. 入院中の規則を守ってください。
5. 本院は基幹教育病院であるため、臨床教育にご協力ください。

## IDEA

We will contribute to society through medical care, education and research.

### Basic Decision

- To provide safe and high-quality medical care
- To foster prominent medical professionals
- To pioneer next generation medical technologies and care
- To contribute to the community and society

### Patients' Rights

We, the personnel of Nagoya University Hospital, will respect the wishes of our patients and their families and provide the best possible medical care. Patients have the following rights:

1. To receive safe, high-quality, state-of-the-art medical care.
2. To have your individuality respected and receive medical care with dignity, in any situation.
3. To be fully informed about your illness and prognosis.
4. To be fully informed of all the names of your medical staff (including intern doctors and students) and their roles in your care.
5. To expect a comprehensive explanation about your medical care plan, and either consent to or refuse the proposal.
6. To tell your physician or the hospital what kind of treatment you want to receive.
7. Free to decide who you want to participate in decision-making for the care/treatment you will receive.
8. To delegate judgment to your family member or another person by designating you when you cannot express your wishes / opinion for some reason. You do not necessarily have to obey your family member or designated person's decision.
9. To seek opinions regarding the diagnosis and treatment of your illness from other hospitals. (second opinion)
10. To access your medical records through a designated procedure.
11. To be assured that we will not disclose your personal information to a third party without your permission.
12. To participate in a clinical trial based on your personal decision. Also, you can refuse a proposal to participate in a clinical trial.
13. To tell our staff if you have a problem or complaint about your treatment or care during hospitalization. If you cannot directly tell about the problem or complaint yourself, you can have your family or a person designated by you do so. You will not be subjected to any disadvantage by doing so.

### Patients' Responsibilities

We ask for your full cooperation so as to provide you with the best possible medical care.

1. Tell us honestly what you know about your current illness.
2. Tell us if you do not understand what we, the staff, tell you. Also, tell us if you feel you cannot follow our treatment instructions.
3. Refrain from behavior that would disturb others or violate other patients' rights.
4. Follow instructions / rules during your hospitalization.
5. We ask for your cooperate in our bedside teaching program so that we can achieve our role as a primary education hospital.



# 診療と研究を進化させ 日本の医療を先導する。

医療安全に関わる取り組みで国際的に高い評価を受け、  
高度で先進的な医療を安全に提供する名古屋大学医学部附属病院。  
革新的な医療開発を目指して  
基礎から臨床までをつなぐ研究活動も加速させ、  
日本の医療を未来へと先導していきます。



病院長

## 小寺 泰弘

名古屋大学医学部卒業。医学博士。  
名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科教授。  
名古屋大学医学部附属病院副院長を経て、  
2019年より現職。

Director of Nagoya University Hospital  
**KODERA, Yasuhiro**

Graduated from Nagoya University Medical School. PhD in Medicine. Professor of Gastroenterological Surgery, Nagoya University Graduate School of Medicine. Previously Deputy-director of Nagoya University Medical School and became director in 2019.

## 世界水準の患者安全の継続

名古屋大学医学部附属病院は、2019(令和元)年に国立大学病院では初めて国際医療施設評価認証機関(JCI)(※1)の認証を取得し、再受審となる2022年3月、更新を果たしました。世界水準の医療の質と患者安全の継続について非常に高い評価を得ることができ、全職員の努力の賜物と考えています。今後もPlan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)のサイクルを回し、医療の質と患者安全の向上に努力していきます。

2024年からは医師の働き方改革が始まります。長時間労働が常態化している医師の労働環境を改善することは医師自身の健康を守るだけでなく、医療の質と患者安全を保つ点で地域の皆さんにとっても重要な問題です。医療崩壊を防ぎ、日本の医療を未来へ持続させるためにも当院でも改革を進めます。しかし、医師の過重な労働を前提とした医療を変えるには、様々な点で患者さんのご理解とご協力が必要です。

## 高度で先進的な医療の提供

診療面では当院ならではの高度で先進的な医療提供に力を入れています。一つはがんゲノム医療中核拠点病院(※2)としての活動で、多くの患者さんにごん遺伝子パネル検査をご利用いただいています。検査結果から臓器別ではなくひとつひとつのがんに適した治療薬につなげることができる可能性があり、特に治療薬の開発が困難な希少がんの患者さんにとって一つの希望となっています。ゲノム医療は個々の患者さんの遺伝情報をもとにその患者さんの治療に適した薬剤の検討を可能とするもので、今後はがんだけではなく難病へと適応を広げたいと考えています。さらに、診療に資する情報が少ない希少がんの患者さんに診療科を越えて対応するため、希少がんセンターを設立し、電話相談窓口を設け、地域の患者さんや医師からの相談に応じて情報を提供するほか、適切な診療科や専門医を紹介しています。また、内科と外科が緊密に協力しながら高度な技術を要する内視鏡診断をもとに最新の薬物療法を駆使し、必要な場合には適切な手術療法をからだに優しい腹腔鏡下手術で提供する炎症性腸疾患治療センター(IBDセンター)の活動もさらに充実してまいりました。

これらの取り組みの一方で、自治体の要請に応じて、こまめに国立大学病院としては最大級の規模で新型コロナウイルスによる重症患者さんの治療にあたってきました。しかしその一方で、感染拡大下でも可能な限り日常診療の継続に務めてまいりました。今後も感染状況を注視しながら本来われわれに求められている診療に従事してまいります。

## シームレスな研究体制の構築

臨床での高度な診療を支えるのが、充実した研究活動です。当院は臨床研究中核病院(※3)並びに橋渡し研究支援機関(※4)に指定され、日本の革新的な医療開発を先導する立場にあります。基礎研究の成果をシームレスに臨床応用、実用化に結びつける研究体制が整い、研究者が高いモチベーションをもって研究活動を進める中で、期待の持てる研究シーズも着実に生まれています。先進的な研究成果は治療の一つの選択肢となり得るものです。一例を挙げるなら日本でもトップクラスの診療実績を誇る小児がん治療センターでは、画期的なCAR-T細胞療法の臨床研究が進んでいます。

また、国立大学法人東海国立大学機構(※5)の設立を機に、電子カルテ情報の統合をはじめとする連携が当院と岐阜大学医学部附属病院との間で進められています。その一環として東海国立大学機構直轄事業「健康医療ライフデザイン統合研究教育拠点(C-REX)」(※6)を推進するとともに、当院の在宅医療介護連携システム「IIJ電子@連絡帳」(※7)を活用し、愛知県・岐阜県の高齢者等の情報から疾患のリスク因子や地域性を解明するなど、予防医療の研究を推進します。地域の皆さんの期待に応えるべく、さらに研究活動を加速させていきます。

※1 国際医療施設評価認証機関(Joint Commission International)  
米国の国際的な医療施設評価認証機関。「患者安全」「感染管理」など、さまざまな項目から医療の質と安全を厳しく評価し、世界水準に達した施設に認証が与えられる。

※2 がんゲノム医療中核拠点病院  
日本のがんゲノム医療を牽引し、がん遺伝子パネル検査や遺伝子情報に基づく適切な治療法の検討、研究や新薬開発、人材育成を担う。現在13の医療機関が指定されている。(2023年4月現在)

※3 臨床研究中核病院  
国際水準の臨床研究や医師主導治験の中心的な役割を担う病院。医療法に定められた高水準の承認要件をすべて満たすことが求められ、現在15の医療機関が承認されている。(2023年4月現在)

※4 橋渡し研究支援機関  
大学等の優れた基礎研究の成果を革新的な医薬品・医療機器等として実用化する橋渡し研究を支援するため、一定の要件を満たす機能を有する機関を認定。現在11の医療機関が認定されている。(2023年4月現在)

※5 国立大学法人東海国立大学機構  
名古屋大学と岐阜大学を一法人のもとに統合。両大学の持つ力を共有し、地域創生への貢献と世界屈指の研究大学への発展を目指す。2020年4月設立。

※6 健康医療ライフデザイン統合研究教育拠点(C-REX)  
信頼できる健康医療データ基盤を構築し、英語の「Life」にある3つの意味、「いのち」、「生活」、「人生」のそれぞれを対象にデザインした研究教育を統合的に行うことで、社会的課題を解決して人と社会に貢献することを目的とした東海国立大学機構直轄事業。

※7 IIJ電子@連絡帳  
高齢者の在宅医療介護に関わる行政や各専門職(医師、訪問看護師など)が相互に情報連携するためのICTプラットフォーム。当院が開発。名古屋大学発ベンチャーであるNU-Medライフケアシステムズ株式会社から提供し、株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ)が事業化。



We, at the Nagoya University Hospital, are committed to take the lead in medical practice through evolution of novel treatment options generated by our original clinical/translational research.

Highly recognized internationally for our commitment to medical safety, Nagoya University Hospital provides advanced and cutting-edge medical care.

The process of innovative medical development through research activities ranging from basic and translational research to clinical trials are accelerated through the assistance of professionals at Department of Advanced Medicine.



### Ensuring world-class patient safety

Nagoya University Hospital acquired certification from Joint Commission International (JCI) (\*1) in 2019 to become the first JCI accredited national university hospital and has subsequently passed another surveillance for renewal in March 2022. Our world-class quality medical care and continued patient safety has been highly commended. I believe this is a well-deserved consequence of hard work by all the hospital staff members. We are determined to continue our efforts to improve the quality of medical care and patient safety through the cycle of Plan, Do, Check, and Action.

Nationwide regulations to put into effect the work-style reform for doctors will begin in 2024. Excessive overtime work has been taken for granted as duties of a doctor in Japan. Changing this working environment is an important issue, not only to protect the health of doctors, but ultimately to maintain quality medical care and patient safety. We can hopefully establish a truly sustainable medical care in Japan through promoting the reform. However, the understanding and co-operations of the patients is needed in order to conform to the policy of the government.

### Provision of advanced and progressive medical care

In the field of medical treatment, we have focused on providing our original advanced and progressive medical care. One of our activities as a Core Hospital for Cancer Genome Medical Care (\*2) has been to provide the Cancer Gene Panel Test to many patients. According to the results of this test, we can connect each patient to an optimal treatment drug based on biological characteristics of individual cancer rather than organ-specific clinical trial results. This is particularly beneficial for patients with rare cancers and those in need of late line treatments for refractory cancers, for which conventional scheme of developing a new drug is not always applicable. With genomic medicine, it is possible to consider a suitable drug for the treatment of individual patients based on the genetic information. In the future, we would like to expand its application not only to cancer but also to other intractable diseases. Furthermore, in order to treat patients with rare cancers for which there is little information, the Rare Cancer Center is established. A telephone consultation service is set up to provide information and referrals to the appropriate medical department and specialists in response to consultations from patients and physicians in the community. Among the activities of the Inflammatory Bowel Disease Center (IBD Center), the latest drug therapies are carried out based on highly technical endoscopic diagnosis in cooperation with the Department of Internal Medicine and Department of Surgery. Provision of the appropriate surgical treatment as needed has been further enhanced by the use of minimally invasive surgery through endoscopic and robotic approach.

In addition to these efforts, in response to the request from the local government, we provided intensive care for patients with severe COVID-19 symptoms at a scale which is one of the largest for a national university hospital. Consequently, we suffered from severe shortage of various resources that are mandatory for clinical practice. Nevertheless, we did our utmost to maintain the quality and quantity of clinical practice that we had been offering prior to the pandemic. We will continue to do so while carefully monitoring the status of the COVID-19.

### Establishment of a seamless research system

Enhanced research activities support advanced clinical treatment. Our hospital has been designated as a Core Clinic Research Hospital (\*3) by the Ministry of Health, Labor and Welfare and a Center for Advancing Translational Research (CATR) (\*4) by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science. Thus, we are expected to be positioned to lead innovative medical developments in Japan. With a research system that seamlessly links the results of basic research to clinical application and practical use in place and researchers who are highly motivated to pursue their research activities, promising research seeds are steadily emerging. The results of advanced research can become an option in the treatment strategy of various diseases. For example, the Children's Cancer Center, esteemed as a top-class facility in Japan, carries out clinical research on revolutionary CAR T cell therapy to treat childhood cancer.

In addition, with the establishment of Tokai National Higher Education and Research System (\*5), collaboration between our hospital and Gifu University Hospital, including the integration of electronic medical record information, is underway. As a part of this effort, the Center for Research, Education, and Development for Healthcare Life Design(C-REX) (\*6), a project of the Tokai National Higher Education and Research System, has made progress. In addition, the home medical care coordination system "IJJ Electronics@Contact Book" (\*7) is being utilized to promote research in preventive medicine, such as the clarification of disease risk factors and regional characteristics based on information collected from elderly persons, etc. in Aichi and Gifu Prefectures. In response to your expectations, we will seek to even further accelerate our research activities.

\*1 Joint Commission International (JCI)

An American global accreditation council of medical organizations that evaluates healthcare quality and safety, including "Patient safety" and "Infection control." Only select facilities that fulfill international standards of care receive JCI accreditation.

\*2 Core Hospital for Cancer Genome Medical care

A Core Hospital is a leader in cancer genomic medicine in Japan and is responsible for cancer gene panel testing, examination of appropriate treatments based on genetic information, research and development of new drugs, and human resource development. 13 medical institutions are currently designated. (As of April 2023)

\*3 Core Clinical Research Hospital

Hospital that fulfills a central role in ensuring global standards of clinical research and investigator-initiated trials are upheld. Required to fulfill high standard approval items as specified in the Medical Service Law. Currently, 15 medical facilities have been approved. (As of April 2023)

\*4 Center for Advancing Translational Research (CATR)

Certification of institutions which meet certain requirements in order to support translational research for the commercialization of the achievements of outstanding fundamental research at universities and other institutions as innovative pharmaceuticals and medical devices. Currently, 11 medical facilities have been selected. (As of April, 2023)

\*5 Tokai National Higher Education and Research System (THERS)

Nagoya University and Gifu University were integrated into a single corporation. Both shared their strengths and contribute to regional revitalization aiming for development into a global leader in academic research. Established in April 2020.

\*6 Center for Research, Education, and Development for Healthcare Life Design(C-REX)

A project under the direct control of Tokai National Higher Education and Research System seeks to construct a reliable health and medical data infrastructure by integrating research and education designed to target three different meanings of the English word "Life": "one's physical existence", "daily living" and "a person's entire lifetime", in order to contribute to man and society by finding solutions to social issues

\*7 IJJ Electronics@Contact Book

This is an ICT platform to coordinate the sharing of information between the government and various medical professionals (doctors, visiting nurses, etc.) involved in home medical care for the elderly. It was developed by our university hospital, provided through NU-Med Life Care Systems, Co. Ltd., a joint venture with Nagoya University and commercialized through Internet Initiative Japan, Inc. (IIJ).

## 目次 index

### 理念・基本方針

Idea / Basic Decision

### 患者さんの権利・患者さんの責務

Patients' Rights · Patients' Responsibilities

### 病院長からのご挨拶

Message from the Director of Nagoya University Hospital ..... 02

### 機構図 Organization Chart ..... 06

### 沿革 History ..... 08

### 歴代病院長 Chronological List of Directors of University Hospital ... 10

## ① 各部署について

Information on Departments / Facilities, etc.

### ①-1 患者安全推進部 Department of Patient Safety ..... 12

医学研究倫理・臨床倫理推進室  
Medical Research and Clinical Ethics Promotion Office ..... 13

### ①-2 診療科 Clinical Departments

血液内科 Hematology ..... 14

循環器内科 Cardiology ..... 15

消化器内科 Gastroenterology and Hepatology ..... 16

呼吸器内科 Respiriology ..... 17

糖尿病・内分泌内科 Endocrinology and Diabetes ..... 18

腎臓内科 Nephrology ..... 19

消化器外科一 Gastroenterological Surgery 1 ..... 20

血管外科 Vascular and Endovascular Surgery ..... 21

消化器外科二 Gastroenterological Surgery 2 ..... 22

移植外科 Transplantation Surgery ..... 23

乳腺・内分泌外科 Breast and Endocrine Surgery ..... 24

整形外科 Orthopedic Surgery ..... 25

リウマチ科 Rheumatology ..... 26

手の外科 Hand Surgery ..... 27

リハビリテーション科 Rehabilitation ..... 28

産婦人科 Obstetrics and Gynecology ..... 29

眼科 Ophthalmology ..... 30

精神科 Psychiatry ..... 31

親と子どもの心療科 Child and Adolescent Psychiatry ..... 32

小児科 Pediatrics ..... 33

皮膚科 Dermatology ..... 34

泌尿器科 Urology ..... 35

耳鼻いんこう科 Otorhinolaryngology ..... 36

放射線科 Radiology ..... 37

麻酔科 Anesthesiology ..... 38

歯科口腔外科 Oral and Maxillofacial Surgery ..... 39

脳神経外科 Neurosurgery ..... 40

老年内科 Geriatrics ..... 41

脳神経内科 Neurology ..... 42

呼吸器外科 Thoracic Surgery ..... 43

心臓外科 Cardiac Surgery ..... 44

形成外科 Plastic and Reconstructive Surgery ..... 45

小児外科 Pediatric Surgery ..... 46

総合診療科 General Medicine ..... 47

救急科 Emergency and Critical Care Medicine ..... 48

### ①-3 中央診療施設等 Central Clinical Facilities, etc.

検査部 Department of Clinical Laboratory ..... 49

手術部 Department of Surgical Center ..... 50

放射線部 Central Block of Radiology ..... 51

輸血部 Department of Blood Transfusion Service ..... 52

病理部 Department of Pathology and Laboratory Medicine ..... 53

外科系集中治療部 Surgical Intensive Care Unit ..... 54

救急・内科系集中治療部 Emergency and Medical Intensive Care Unit ..... 55

血液浄化部 Department of Blood Purification ..... 56

中央感染制御部 Department of Infectious Diseases ..... 57

光学医療診療部 Department of Endoscopy ..... 58

リハビリテーション部 Department of Rehabilitation ..... 59

化学療法部 Department of Clinical Oncology and Chemotherapy ..... 60

臨床工学技術部 Department of Clinical Engineering ..... 61

栄養管理部 Clinical Nutrition ..... 62

医療機器総合管理部 Department of Medical Devices ..... 63

総合周産期母子医療センター Center for Maternal - Neonatal Care ..... 64

脳卒中医療管理センター Stroke Care Managing Center ..... 65

排泄情報センター Continence Information Center ..... 66

地域連携・患者相談センター  
Center for Community Liaison and Patient Consultations ..... 67

小児がん治療センター Children's Cancer Center ..... 68

重症心不全治療センター Heart Failure Center ..... 69

ゲノム医療センター Medical Genomics Center ..... 70

炎症性腸疾患治療センター  
Inflammatory Bowel Disease Center ..... 71

メディカルITセンター Medical IT Center ..... 72

移植連携室 Transplant Coordination Service ..... 73

電子カルテ管理室 Electronic Medical Record Management Office ..... 74

先端医療開発部 Department of Advanced Medicine ..... 75

卒業臨床研修・キャリア形成支援センター  
Center for Postgraduate Clinical Training and Career Development ..... 76

難聴支援・治療センター Speech and Hearing Center ..... 77

小児循環器センター Children's Heart Center ..... 78

希少がんセンター Rare Cancer Center ..... 79

てんかんセンター Epilepsy Center ..... 80

### ①-4 薬剤部 Department of Hospital Pharmacy ..... 81

看護部 Department of Nursing ..... 82

医療技術部 Department of Medical Technique ..... 83

事務部 Administration Office ..... 84

## ② 資料

Data

### ②-1 役職員・職員数 University Hospital Staff, Number of Staff ..... 86

### ②-2 外来診療科 Clinical Departments ..... 88

### ②-3 医療機関の指定状況等 Legal Authorization of Medical Services ..... 91

### ②-4 先進医療 Advanced Medical Technology ..... 92

### ②-5 令和4年度病院統計 Statistics in Fiscal Year 2022 ..... 93

## ③ 施設とアクセス

Facilities and Access

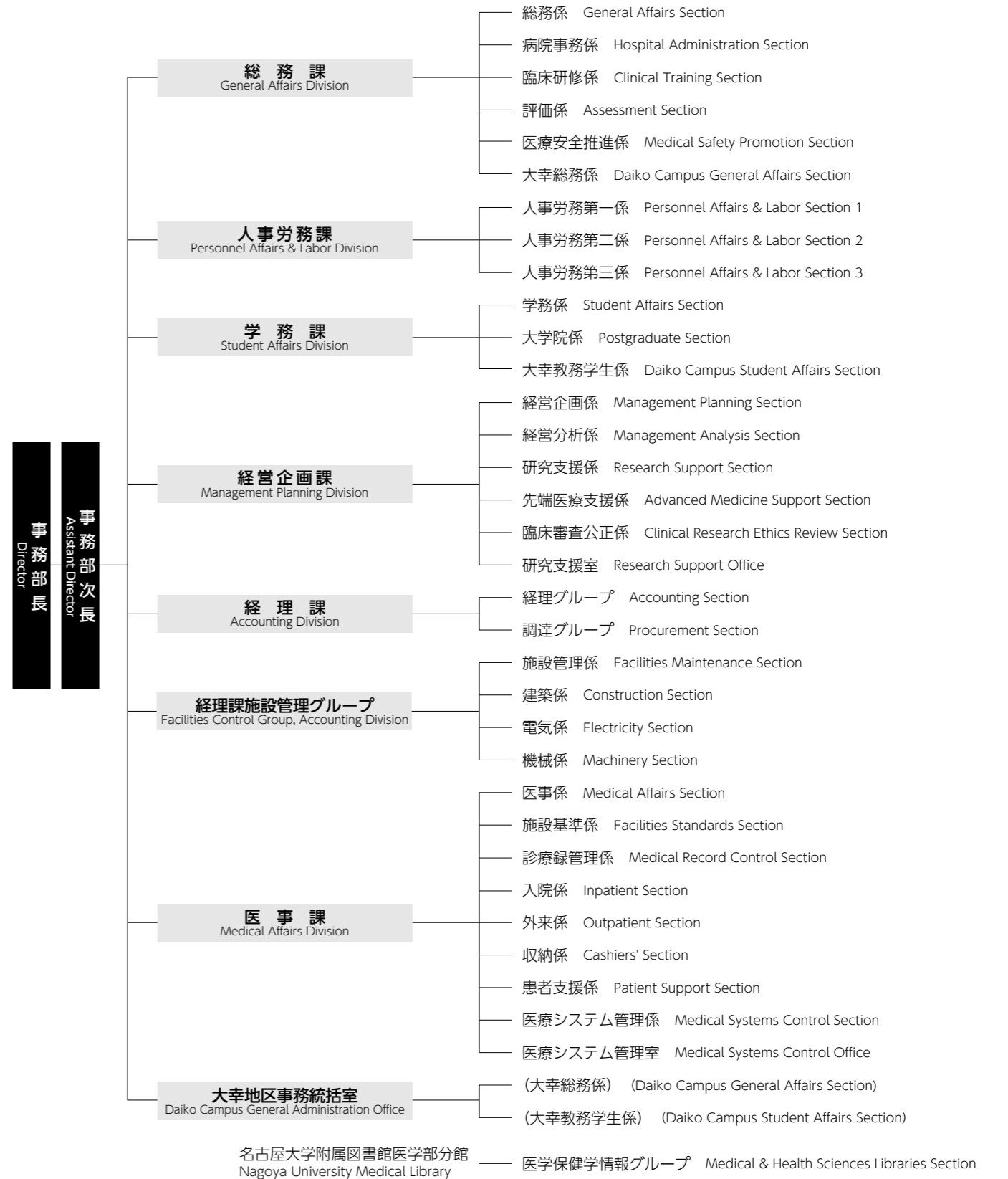
### ③-1 鶴舞地区配置図 Site Map in Tsurumai District ..... 98

### ③-2 各階案内 Floor Guide ..... 99

### ③-3 大幸地区配置図 Site Map in Daiko District ..... 100

### ③-4 アクセス Access ..... 101





# 沿革

年月	事項
明治 4 年 5 月	名古屋藩評定所跡(現中区丸の内三丁目1)に公立の仮病院(明治5年閉院)及び元町役所に仮医学校(明治5年廃校)設置
明治 5 年 4 月	廃藩により有志きよ金で義病院として経営(明治6年閉院)
明治 6 年 5 月	県民きよ金で仮病院(西本願寺別院、現中区門前町1)として経営
11月	医学講習場(西本願寺別院)設置
明治 8 年 1 月	愛知県病院と改称
明治 9 年 4 月	公立医学講習場及び公立病院と改称
6 月	公立医学所と改称
明治10年 7 月	天王崎町(現中区栄一丁目17~18番地)に移転(7月1日病院開院式)
明治11年 4 月	公立医学校と改称
明治14年 10月	愛知医学校及び愛知病院と改称
明治34年 8 月	愛知医学校は愛知県立医学校と改称
明治36年 7 月	愛知県立医学校は愛知県立医学専門学校として新発足
大正 3 年 3 月	中区(現昭和区)鶴舞町に新築、移転
大正 9 年 7 月	愛知医科大学に昇格
大正11年 7 月	愛知病院を愛知医科大学病院と改称
大正13年 6 月	愛知医科大学病院を愛知医科大学附属病院と改称
昭和 6 年 5 月	官立移管 名古屋医科大学・名古屋医科大学附属病院となる
昭和14年 4 月	名古屋帝国大学医学部の発足・名古屋帝国大学医学部附属病院と改称
5 月	名古屋帝国大学臨時附属医学専門部の設置(昭和24年廃止)
昭和18年 2 月	名古屋帝国大学航空医学研究所の設置(昭和21年廃止)
昭和19年 4 月	名古屋帝国大学附属医学専門部と改称
7 月	名古屋帝国大学医学部附属病院分院の設置(平成8年本院へ統合一元化)
昭和21年 4 月	名古屋帝国大学環境医学研究所を設置
昭和22年 10月	名古屋大学医学部・名古屋大学医学部附属病院となる 名古屋大学附属医学専門部と改称(昭和25年廃止)
昭和24年 5 月	新制名古屋大学が発足 名古屋大学医学部・名古屋大学医学部附属病院となる
昭和26年 4 月	医学部附属看護学校設置(昭和55年廃校)
昭和30年 7 月	医学部附属診療工・線技師学校設置
昭和34年 4 月	医学部附属助産婦学校設置(昭和56年廃校) 医学部附属無菌動物研究施設設置(昭和58年改組)
昭和36年 4 月	医学部附属衛生検査技師学校設置
昭和37年 4 月	医学部附属癌研究施設設置(昭和58年改組)

年月	事項
昭和40年 4 月	医学部附属医真菌研究施設設置(昭和58年改組)
昭和41年 4 月	医学部附属診療工・線技師学校に専攻科設置
昭和44年 4 月	医学部附属診療放射線技師学校と改称(昭和57年廃校)
昭和47年 4 月	医学部附属臨床検査技師学校と改称(昭和56年廃校)
昭和52年 10月	名古屋大学医療技術短期大学部設置(平成13年改組)
昭和58年 4 月	医学部附属病態制御研究施設設置
昭和61年 3 月	医学部附属動物実験施設設置
平成 8 年 5 月	医学部附属病院分院を統合
12月	診療所「名古屋大学大幸医療センター」設置(平成23年閉院)
平成 9 年 10月	医学部保健学科設置
平成12年 4 月	医学部の大学院重点化完成
平成13年 4 月	医学研究科修士課程医科学専攻設置 医学部附属病態制御研究施設(平成15年改組)と医学部附属動物実験施設(平成16年改組)の所属を大学院医学研究科に変更
平成14年 4 月	医学研究科を医学系研究科に改称し、医学系研究科に修士課程看護学専攻、修士課程医療技術学専攻及び修士課程リハビリテーション療法学専攻設置 医学部附属病院 遺伝子・再生医療センター設置(平成22年改組)
平成15年 4 月	医学系研究科附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター設置 医学系研究科に修士課程医科学専攻医療行政コース設置
平成16年 4 月	医学系研究科修士課程看護学専攻、修士課程医療技術学専攻及び修士課程リハビリテーション療法学専攻は博士課程(前期課程・後期課程)となる
5 月	医学系研究科附属医学教育研究支援センター設置
平成17年 7 月	医学部附属総合医学教育センター設置
平成20年 2 月	医学部附属病院 臨床研究推進センター設置(平成22年改組)
平成22年 6 月	医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センター設置(平成30年先端医療開発部に改組)
平成23年 10月	脳とこころの研究センター設置(平成26年改組)
平成24年 4 月	医学部保健学科の大学院講座化
平成25年 4 月	医学系研究科附属クリニカルシミュレーションセンター設置(令和2年メディカルxRセンターに改組)



# History

Year	Event
1871	A temporary public hospital (closed in 1872) was established at the former site of the Nagoya Clan's judicial council (currently 1, Marunouchi 3-chome, Naka-ku), and a temporary medical school was established at a former town hall (abolished in 1872).
1872	Managed as a Alms clinic based on donations, accompanying the abolition of the clan (closed in 1873).
1873	Managed as a temporary hospital with prefectural citizens' donations (at the separate temple of Nishi Honganji Temple; currently 1, Monzencho, Naka-ku) A medical training school was established (at the separate temple of Nishi Honganji Temple).
1875	The name was changed to Aichi Prefecture Hospital.
1876	The name was changed to Public Medical Training school and Public Hospital. The name was changed to Public Medical Center.
1877	The Center was relocated to Tenosaki-cho (currently 17 and 18, Sakae 1-chome, Naka-ku) (hospital opening ceremony on July 1).
1878	The name was changed to Public Medical School.
1881	The name was changed to Aichi Medical School and Aichi Hospital.
1901	The name Aichi Medical School was changed to Aichi Prefectural Medical School.
1903	Aichi Prefectural Medical School was newly started as Aichi Prefectural Medical college.
1914	A new building was built in Tsuruma-cho, Naka-ku (currently Showa-ku) and the school was relocated.
1920	Promoted to Aichi Medical college status.
1922	The name of Aichi Hospital was changed to Aichi Medical college Hospital.
1924	The name was changed to Aichi Medical college Affiliated Hospital.
1931	The jurisdiction was transferred; the names were respectively changed to Nagoya Medical college and Nagoya Medical college Affiliated Hospital.
1939	Nagoya Imperial University School of Medicine was started, and the name of the hospital was changed to Nagoya Imperial University School of Medicine-Affiliated Hospital. Nagoya Imperial University Provisional Affiliated Medical Division was established (abolished in 1949).
1943	Nagoya Imperial University Aviation Medicine Research Institute was established (abolished in 1946).
1944	The name was changed to Nagoya Imperial University Affiliated Medical Division. A separate hospital of Nagoya Imperial University School of Medicine-Affiliated Hospital was established (integrated to the main Hospital in 1996).
1946	Nagoya Imperial University Research Institute of Environmental Medicine was established.
1947	The names were respectively changed to Nagoya University School of Medicine and Nagoya University School of Medicine-Affiliated Hospital. The name was changed to Nagoya University Affiliated Medical Division (abolished in 1950).
1949	The New Nagoya University was started. The names were respectively changed and Nagoya University School of Medicine and Nagoya University Hospital were started.
1951	School of Medicine-Affiliated Nursing School was established (abolished in 1980).
1955	School of Medicine-Affiliated X-ray Technician School was established.
1959	School of Medicine-Affiliated Midwife School was established (abolished in 1981). School of Medicine-Affiliated Axenic Animal Research Facility was established (reorganized in 1983).

Year	Event
1961	School of Medicine-Affiliated Health Laboratory Technician School was established.
1962	School of Medicine-Affiliated Cancer Research Facility was established (reorganized in 1983).
1965	School of Medicine-Affiliated Medical Fungus Research Facility was established (reorganized in 1983).
1966	Honors courses were set up at the School of Medicine-Affiliated X-ray Technician School.
1969	The name was changed to the School of Medicine-Affiliated Radiological Technician School (abolished in 1982).
1972	The name was changed to the School of Medicine-Affiliated Clinical Laboratory Technician School (abolished in 1981).
1977	Nagoya University Medical Technology Junior College was established (reorganized in 2001).
1983	School of Medicine-Affiliated Pathological Control Research Facility was established.
1986	The School of Medicine-Affiliated Experimental Animals Facility was established.
1996	The separate hospital of the School of Medicine-Affiliated Hospital was integrated. Clinic "Nagoya University Daiko Medical Center" was established (closed in 2011).
1997	Nagoya University School of Health Sciences was established.
2000	Prioritization of the Nagoya University Graduate School of Medicine was completed.
2001	School of Medicine, Master's Course, Graduate School of Medicine was established. The School of Medicine-Affiliated Pathological Control Research Institute (recognized in 2003) and the School of Medicine-Affiliated Experimental Animals Facility (recognized in 2004) were placed under the Graduate School of Medicine.
2002	Program in Nursing, Master's Course; Program in Radiological and Medical Laboratory Sciences, Master's Course; and Program in Physical and Occupational Therapy, Master's Course were established at the Graduate School of Medicine. The Center for Genetic and Regenerative Medicine was established at the University Hospital (reorganized in 2010).
2003	The Center for Neurological Diseases and Cancer, Affiliated with the Graduate School of Medicine was established. Program in Medical Science, Healthcare Administration Course, Master's Course was established at the Graduate School of Medicine.
2004	Program in Nursing, Master's Course; Program in Radiological and Medical Laboratory Sciences, Master's Course; and Program in Physical and Occupational Therapy, Master's Course at the Graduate School of Medicine were placed under Doctoral Course (first-stage course / second-stage course). The Graduate School of Medicine-Affiliated Center for Research of Laboratory Animals and Medical Research Engineering was established.
2005	The School of Medicine-Affiliated Center for Medical Education was established.
2008	The Center for Clinical Trial and of Clinical Research was established at the University Hospital (reorganized in 2010).
2010	Center for Advanced Medicine and Clinical Research was established at the University Hospital. (reorganized to Department of Advanced Medicine in 2018)
2011	Brain and Mind Research Center was established (reorganized in 2014).
2012	Curriculum of School of Medicine School of Health Sciences shifted to the department system.
2013	Nagoya University Clinical Simulation Center was established at the Graduate School of Medicine. (reorganaized to Medical xR Center in 2020).



# 歴代病院長 Chronological List of Directors of University Hospital

勝沼 精蔵	KATSUNUMA, Seizou	昭和 14年 4月 1日	～	昭和 21年 2月 9日	April 1, 1939 ~ February 9, 1946
齋藤 真	SAITO, Makoto	昭和 21年 2月 9日	～	昭和 25年 1月 2日	February 9, 1946 ~ January 2, 1950
戸苅 近太郎	TOGARI, Chikataro	昭和 25年 1月 2日 (事務取扱)	～	昭和 25年 4月 1日	January 2, 1950 (Acting Director) ~ April 1, 1950
吉川 仲	KIKKAWA, Naka	昭和 25年 4月 1日	～	昭和 27年 4月 1日	April 1, 1950 ~ April 1, 1952
宇佐美 鍵一	USAMI, Kenichi	昭和 27年 4月 1日	～	昭和 29年 3月 31日	April 1, 1952 ~ March 31, 1954
三矢 辰雄	MITSUYA, Tatsuo	昭和 29年 4月 1日	～	昭和 32年 3月 31日	April 1, 1954 ~ March 31, 1957
加納 魁一郎	KANO, Kaiichiro	昭和 32年 3月 31日	～	昭和 36年 3月 30日	March 31, 1957 ~ March 30, 1961
青山 進午	AOYAMA, Shingo	昭和 36年 3月 31日	～	昭和 38年 3月 30日	March 31, 1961 ~ March 30, 1963
後藤 修二	GOTO, Syuji	昭和 38年 3月 31日	～	昭和 40年 3月 30日	March 31, 1963 ~ March 30, 1965
小嶋 克	KOJIMA, Koku	昭和 40年 3月 31日	～	昭和 42年 3月 30日	March 31, 1965 ~ March 30, 1967
山田 弘三	YAMADA, Kozo	昭和 42年 3月 31日	～	昭和 44年 3月 30日	March 31, 1967 ~ March 30, 1969
堀 要	HORI, Kaname	昭和 44年 3月 31日 (事務取扱)	～	昭和 46年 3月 31日	March 31, 1969 (Acting Director) ~ March 31, 1971
石塚 直隆	ISHIZUKA, Naotaka	昭和 46年 4月 1日 (事務取扱)	～	昭和 46年 10月 6日	April 1, 1971 (Acting Director) ~ October 6, 1971
高木 健太郎	TAKAGI, Kentaro	昭和 46年 10月 6日 (事務取扱)	～	昭和 46年 10月 23日	October 6, 1971 (Acting Director) ~ October 23, 1971
石塚 直隆	ISHIZUKA, Naotaka	昭和 46年 10月 23日 (事務取扱)	～	昭和 47年 4月 1日	October 23, 1971 (Acting Director) ~ April 1, 1972
中川 正	NAKAGAWA, Masashi	昭和 47年 4月 1日	～	昭和 51年 3月 31日	April 1, 1972 ~ March 31, 1976
祖父江 逸郎	SOBUE, Itsuro	昭和 51年 4月 1日	～	昭和 53年 3月 31日	April 1, 1976 ~ March 31, 1978
彌政 洋太郎	IYOMASA, Yohtaro	昭和 53年 4月 1日	～	昭和 55年 3月 31日	April 1, 1978 ~ March 31, 1980
祖父江 逸郎	SOBUE, Itsuro	昭和 55年 4月 1日	～	昭和 57年 3月 31日	April 1, 1980 ~ March 31, 1982
近藤 達平	KONDO, Tatsuhei	昭和 57年 4月 1日	～	昭和 59年 3月 31日	April 1, 1982 ~ March 31, 1984
佐久間 貞行	SAKUMA, Sadayuki	昭和 59年 4月 1日	～	昭和 60年 7月 21日	April 1, 1984 ~ July 21, 1985
笠原 嘉	KASAHARA, Yomishi	昭和 60年 7月 22日	～	昭和 62年 7月 21日	July 22, 1985 ~ July 21, 1987
榊原 欣作	SAKAKIBARA, Kinsaku	昭和 62年 7月 22日	～	平成 元年 7月 21日	July 22, 1987 ~ July 21, 1989
高橋 昭	TAKAHASHI, Akira	平成 元年 7月 22日	～	平成 3年 7月 21日	July 22, 1989 ~ July 21, 1991
坂本 信夫	SAKAMOTO, Nobuo	平成 3年 7月 22日	～	平成 5年 7月 21日	July 22, 1991 ~ July 21, 1993
杉田 虔一郎	SUGITA, Kenichiro	平成 5年 7月 22日	～	平成 6年 9月 5日	July 22, 1993 ~ September 5, 1994
友田 豊	TOMODA, Yutaka	平成 6年 9月 6日 (事務取扱)	～	平成 6年 10月 31日	September 6, 1994 (Acting Director) ~ October 31, 1994
友田 豊	TOMODA, Yutaka	平成 6年 11月 1日	～	平成 8年 10月 31日	November 1, 1994 ~ October 31, 1996
早川 哲夫	HAYAKAWA, Tetsuo	平成 8年 11月 1日	～	平成 10年 10月 31日	November 1, 1996 ~ October 31, 1998
齋藤 英彦	SAITO, Hidehiko	平成 10年 11月 1日	～	平成 12年 10月 31日	November 1, 1998 ~ October 31, 2000
二村 雄次	NIMURA, Yuji	平成 12年 11月 1日	～	平成 14年 10月 31日	November 1, 2000 ~ October 31, 2002
大島 伸一	OHSHIMA, Shinichi	平成 14年 11月 1日	～	平成 16年 2月 29日	November 1, 2002 ~ February 29, 2004
井口 昭久	IGUCHI, Akihisa	平成 16年 3月 1日 (事務取扱)	～	平成 16年 3月 31日	March 1, 2004 (Acting Director) ~ March 31, 2004
井口 昭久	IGUCHI, Akihisa	平成 16年 4月 1日	～	平成 19年 3月 31日	April 1, 2004 ~ March 31, 2007
松尾 清一	MATSUO, Seiichi	平成 19年 4月 1日	～	平成 25年 3月 31日	April 1, 2007 ~ March 31, 2013
石黒 直樹	ISHIGURO, Naoki	平成 25年 4月 1日	～	平成 31年 3月 31日	April 1, 2013 ~ March 31, 2019
小寺 泰弘	KODERA, Yasuhiro	平成 31年 4月 1日	～		April 1, 2019 ~

## ①

### 各部署について Information on Departments / Facilities, etc.

#### ①-1

患者安全推進部  
Department of Patient Safety

医学研究倫理・臨床倫理推進室  
Medical Research and Clinical Ethics Promotion Office

12

#### ①-2

診療科  
Clinical Departments

14

血液内科 Hematology	整形外科 Orthopedic Surgery	放射線科 Radiology
循環器内科 Cardiology	リウマチ科 Rheumatology	麻酔科 Anesthesiology
消化器内科 Gastroenterology and Hepatology	手の外科 Hand Surgery	歯科口腔外科 Oral and Maxillofacial Surgery
呼吸器内科 Respirology	リハビリテーション科 Rehabilitation	脳神経外科 Neurosurgery
糖尿病・内分泌内科 Endocrinology and Diabetes	産婦人科 Obstetrics and Gynecology	老年内科 Geriatrics
腎臓内科 Nephrology	眼科 Ophthalmology	脳神経内科 Neurology
消化器外科一 Gastroenterological Surgery 1	精神科 Psychiatry	呼吸器外科 Thoracic Surgery
血管外科 Vascular and Endovascular Surgery	親と子どもの心療科 Child and Adolescent Psychiatry	心臓外科 Cardiac Surgery
消化器外科二 Gastroenterological Surgery 2	小児科 Pediatrics	形成外科 Plastic and Reconstructive Surgery
移植外科 Transplantation Surgery	皮膚科 Dermatology	小児外科 Pediatric Surgery
乳腺・内分泌外科 Breast and Endocrine Surgery	泌尿器科 Urology	総合診療科 General Medicine
	耳鼻いんこう科 Otorhinolaryngology	救急科 Emergency and Critical Care Medicine

#### ①-3

中央診療施設等  
Central Clinical Facilities, etc.

49

検査部 Department of Clinical Laboratory	脳卒中医療管理センター Stroke Care Managing Center
手術部 Department of Surgical Center	排泄情報センター Continence Information Center
放射線部 Central Block of Radiology	地域連携・患者相談センター Center for Community Liaison and Patient Consultations
輸血部 Department of Blood Transfusion Service	小児がん治療センター Children's Cancer Center
病理部 Department of Pathology and Laboratory Medicine	重症心不全治療センター Heart Failure Center
外科系集中治療部 Surgical Intensive Care Unit	ゲノム医療センター Medical Genomics Center
救急・内科系集中治療部 Emergency and Medical Intensive Care Unit	炎症性腸疾患治療センター Inflammatory Bowel Disease Center
血液浄化部 Department of Blood Purification	メディカル IT センター Medical IT Center
中央感染制御部 Department of Infectious Diseases	移植連携室 Transplant Coordination Service
光学医療診療部 Department of Endoscopy	電子カルテ管理室 Electronic Medical Record Management Office
リハビリテーション部 Department of Rehabilitation	先端医療開発部 Department of Advanced Medicine
化学療法部 Department of Clinical Oncology and Chemotherapy	卒業臨床研修・キャリア形成支援センター Center for Postgraduate Clinical Training and Career Development
臨床工学技術部 Department of Clinical Engineering	難聴支援・治療センター Speech and Hearing Center
栄養管理部 Clinical Nutrition	小児循環器センター Children's Heart Center
医療機器総管理部 Department of Medical Devices	希少がんセンター Rare Cancer Center
総合周産期母子医療センター Center for Maternal - Neonatal Care	てんかんセンター Epilepsy Center

#### ①-4

薬剤部  
Department of Hospital Pharmacy

医療技術部  
Department of Medical Technique

看護部  
Department of Nursing

事務部  
Administration Office

81



## 「安全かつ高度な医療を提供する」

これは、名大病院の基本方針の第一項です。医療のリスクに全力で向き合い、患者さんの安全確保に努めるのが、私たちの使命です。名大病院はJCI(国際医療施設評価認証機関)の認証を受けた日本で唯一の国立大学病院です。日本一安全で、質の高い国立大学病院であり続けることが、私たちの目標です。



## Provide safe and high-quality medical care

This is the most important policy in Nagoya University Hospital. Patient safety is one of the core elements of quality in health and medical care. Our mission is to fully address the medical risks and to ensure patient safety.

Nagoya University Hospital is the only accredited national university hospital in Japan by JCI (Joint Commission International).

Our goal is to continue to be the safest and highest quality national university hospital in Japan.

## 業務目標

- JCI(国際医療施設評価認証機関)が基準とする患者安全体制を導入し、「国際患者安全目標」に沿った安全行動を完全に遵守します。
- インシデント・アクシデント情報を分析し、スタッフ教育やシステム改善に反映させ、医療事故の未然防止に努めます。
- 品質管理手法を用いて院内の多様な課題を視覚化し、改善効果を測定しながら、より質の高い医療の提供を目指します。
- 万一、医療事故が発生した場合は、患者さんに正確な情報をお伝えし、病院を挙げた治療連携と、被害の最小化に全力を尽くします。
- 医療事故調査制度に則り、医療事故の事実究明、プロセスの評価、再発防止策の立案を行います。
- 患者の権利と安全確保を第一とし、透明性高く、足腰の強い、堅牢な安全文化を確立します。

## 業務体制

専任教授1名、専任医師3名、専任薬剤師1名、専任看護師4名、専任弁護士1名、専任エンジニア1名、事務9名の計20名のスタッフと、院内全部門に任命されている約150名のバイシエントセーフティマネジャー、そして全職員が一丸となって、患者さんの安全を守ります。

## 業務内容

- JCI基準に準拠した患者安全体制の構築とモニタリング
- 全部門からのインシデント・アクシデント情報の集積と分析
- 院内の伝達会議、安全研修、学生教育等による周知、啓発
- 品質管理手法を用いた改善効果の測定
- 重大アクシデントに対し、病院全体で対応できる治療連携体制の起動
- 医療事故に対する第三者による事例検証(医療事故調査)
- 適切なインフォームド・コンセント体制の整備

—すべての患者さんが、安心して、納得のいく治療を受けられますように—

## Objective

- Introduce the medical safety system based on JCI, and fully comply with the safety confirmation according to the International Patient Safety Goals.
- Analyze incident and accident reporting, and reflect it in staff education and system improvement, and strive to prevent medical accidents.
- Aim to provide high-quality medical services while visualizing various issues in the hospital using quality control methods and measuring the improvement effect.
- If unlikely malpractice occurs, provide accurate information to the patient and do our best to cooperative treatment and to minimize of damage.
- Investigate the facts of medical accidents, evaluate processes, and prevent recurrence according to the medical accident investigation system.
- Establish highly-transparent, strong and substantial safety culture with making patient rights and safety first.

## Staff

The department consists of a total of 20 members: one full-time professor, three full-time doctors, one full-time pharmacist, four full-time nurses, one full-time lawyer, one full-time engineer, and nine administrative staff. In addition, there are about 150 patient safety managers appointed in each department in the hospital. All these people and all staff work together for patient safety.

## Scope of Medical Services

- Establishment and monitoring of patient safety system complied with the JCI Standards.
- Collect and analyze incident and accident reports from all departments.
- Conduct communication conferences, safety training and student education in the hospital.
- Measure the improvement effect using the quality management method.
- Start of the treatment cooperation system that can address to serious accidents throughout the hospital.
- Verify the adverse events by third-party (Medical accident investigation).
- Provide an appropriate informed consent system.

—Wish all patients can receive satisfactory medical care in peace—



Organization Accredited by Joint Commission International

大学及び病院で発生する  
様々な倫理的問題への支援

医学研究倫理・臨床倫理推進室は、名古屋大学における人を対象とする研究にご参加いただく方々の権利・利益および尊厳を守り、研究者が倫理的に適切な研究をスムーズに実施していくことができるよう、支援を行っています。また、日常の臨床現場で遭遇する様々な倫理的問題について医療スタッフを支援する試みを行っています。

Supporting with a range of ethical and legal problem  
in medical school and hospital

Medical research and Clinical Ethics Promotion Office of Nagoya University Hospital was founded in 2018. We help researchers to conduct their studies in accordance with established ethical norms. Accordingly, we protect the rights, interests, and dignity of all persons participating in clinical studies. Moreover, we try to advise medical staffs on legal and ethical problems arising in routine clinical practice.



## 業務体制

倫理委員会の事務局である経営企画課臨床審査公正係、総務課と連携して業務を行っています。

## 業務内容

各倫理審査委員会の運営、研究倫理および臨床倫理に関する支援を行っています。

## その他の取り組み

他の機関の倫理審査委員会外部委員などを行っています。

## Organization system

The department is in collaboration with Administration Office.

## Scope of Services

We conduct the support about administration of Ethical Review Committee, a study ethic and the clinical ethic.

## Other initiatives

We serve on ethical review committee in other institutions.



## 血液内科 Hematology

科長 清井 仁 (教授)  
Director KIYOI, Hitoshi (Professor)最先端の診療技術で  
高難度な血液疾患に挑む

高度な専門性が要求される血液疾患に対し最善の診療を提供し、かつ新しい診断・治療技術の開発を推進しています。

## Challenge intractable blood diseases with advanced clinical techniques

We provide the best medical care for blood diseases requiring high expertise as well as promote the development of new diagnostic and therapeutic techniques.



## 診療体制

常時10~15名のスタッフが、外来診療室4室、入院病床38床において高度な専門性に基づいた診療を行い、新しい診断・治療技術の開発とEBMを作りうる質の高い臨床研究を推進しています。

## 対象疾患

白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群などの悪性腫瘍、再生不良性貧血や溶血性貧血などの良性疾患、血友病、von Willebrand病などの凝固異常症の患者さんの診療にあたっています。

## 得意分野

造血器悪性腫瘍に対する治療の分野では、標準的な化学療法をベースに説明と同意に基づいた最善の治療を提供しています。一方、臨床試験や分子標的療法をはじめとした新規治療法や、新しい造血幹細胞移植法や免疫細胞療法の開発に積極的に取り組んでいます。

## 診療実績

質・安全・満足において最高の医療の提供に努めています。造血器悪性腫瘍の新患は年間80人以上、2022年度は造血幹細胞移植は21件、キメラ抗原受容体(CAR)T細胞療法は17件を数え、400人以上の先天性出血疾患の患者さんの診療を行っています。

## 専門外来

血友病やvon Willebrand病などの出血性疾患の包括診療を実施する「血友病専門外来」、造血幹細胞移植後の患者さんを長期にわたりサポートする「移植後フォローアップ外来」、また造血幹細胞移植ドナーの検診などのための「移植ドナー外来」をオープンしています。

## 先進医療・研究

血液疾患の発症・進展に係る分子機構の解明などの基礎的研究から、分子標的治療法の開発、血栓症の制御、移植・再生医療、細胞療法の臨床応用まで幅広く、先進的な診療技術の開発を行っています。

## Medical Care System

Our department has four dispensaries, 38 beds for inpatients, and 10 to 15 staff always on duty to provide expert medical care. Every effort is made to develop new diagnostic and therapeutic techniques and to conduct high-quality clinical research to establish evidence based medicine (EBM).

## Target Diseases

We provide medical care to patients with hematological disorders including malignant diseases, such as leukemia, lymphoma, multiple myeloma, and myelodysplastic syndromes (MDS), benign disease, such as aplastic anemia and hemolytic anemia, and coagulation disorders such as hemophilia and von Willebrand disease.

## Strong Fields

In the therapeutic field of hematological malignancies, we provide the best possible treatment based on informed consent consisting mainly of standard chemotherapies. In addition, we are actively involved in clinical studies and the development of new therapies such as molecular targeting therapies, and the development of new hematopoietic stem cell transplantation processes and immuno-cell therapy.

## Clinical Results

We aim to provide medical care of the highest quality, safety and satisfaction. We accepted more than 80 new patients with hematological malignancies, performed 21 hematopoietic stem cell transplantations, 17 chimeric antigen receptor (CAR) T-cell therapies, and provided medical care to more than 400 patients with congenital hemorrhagic diseases in 2022.

## Specialized Outpatient Clinic

We provide medical care at the "specialized outpatient hemophilia clinic," which is responsible for comprehensive medical care for patients with hemorrhagic disease such as hemophilia and von Willebrand disease, at "long-term follow-up program" for transplant patients, and at "transplant donor clinic" for hematopoietic stem cell transplant donors.

## Advanced Medicine and Research

Our department is involved in basic research on topics such as molecular mechanisms of hematological diseases, and in the development of a wide range of advanced clinical techniques including molecular targeting therapies, clinical application of transplantation, regenerative medicine and cell therapy, and control of thrombosis.

## 循環器内科 Cardiology

科長 室原 豊明 (教授)  
Director MUROHARA, Toyooki (Professor)生活習慣病の予防指導から  
先進医療の血管再生療法まで

虚血性心疾患(狭心症や心筋梗塞)・不整脈・心臓弁膜症・心筋症・肺高血圧症や末梢動脈疾患など各種血管病を対象に診療を行います。また、高血圧症や高脂血症などの心臓病の原因となる生活習慣病の診療や、循環器疾患の予防および管理もお手伝いします。

## From bench to bedside to prevent life-style related cardiovascular diseases by advanced medicine such as therapeutic angiogenesis

We provide medical care to patients with ischemic heart disease (angina pectoris and myocardial infarction), arrhythmia, valvular heart disease, cardiomyopathy, and pulmonary hypertension and various vascular diseases such as peripheral arterial disease. Also, we provide medical care to treat life-style related disease such as hypertension and hyperlipidemia, which may cause heart disease.



## 診療体制

当科は外来棟2階の11・12・13・17・18診察室(および禁煙外来)で診療を行います。当院では、外来診療は原則予約制となっていますので、かかりつけの医療機関から当院に診療申込書をファックスしてもらうことにより初診予約を取ることができます。

## 対象疾患

虚血性心疾患(狭心症や心筋梗塞)、不整脈、心臓弁膜症、心筋症、肺高血圧や末梢動脈疾患などの各種血管病。高血圧症や高脂血症などの心臓病の原因となる生活習慣病の診療や禁煙外来など循環器疾患の予防および管理。難治性末梢性動脈疾患(閉塞性動脈硬化症やパージャー病)や難治性虚血性心疾患など。

## 得意分野

虚血性心疾患(狭心症や心筋梗塞)に対する冠動脈形成術、不整脈の薬物療法・非薬物療法を行います。心臓弁膜症・心筋症・肺高血圧や末梢動脈疾患などの診断も行っています。また、難治性末梢性動脈疾患(閉塞性動脈硬化症やパージャー病)など、従来の方法では治療困難な患者さんに福音をもたらす先進医療である血管再生療法も行います。

## 診療実績

年間約800件の心臓カテーテル検査、約200件の冠動脈形成術(カテーテル治療)、約30人の急性心筋梗塞患者の急性期治療、約400件の不整脈のカテーテルアブレーション治療、約50件のバルーン肺動脈形成術を行っています。

## 専門外来

虚血性心疾患、不整脈、心不全、禁煙などの各種専門医が外来に当たっています。また、ペースメーカーを埋め込んだ患者さんには、定期的に機械の状況をチェックする「ペースメーカー外来」を行っています。

## 先進医療・研究

再生医療、特に血管再生医療については基礎および臨床研究実績があります。実際に血管再生療法の臨床を行っています。複雑な不整脈に対する高度なカテーテルアブレーション治療も行っています。

## Medical Care System

Our department presents outpatient clinic in examination rooms No.11, 12, 13, 17 and 18 on the 2nd floor of the outpatient clinic (and in the smoking cessation outpatient clinic). Since our hospital has introduced an appointment system in the outpatient clinic, you can make an appointment for the first visit by having your medical institution fax an application form for treatment to our hospital.

## Target Diseases

Ischemic heart disease (angina pectoris and myocardial infarction), arrhythmia, valvular heart disease, cardiomyopathy, pulmonary hypertension, and various vascular diseases such as peripheral arterial disease. Medical care to treat life-style related disease such as hypertension and hyperlipidemia, which may cause heart disease, as well as the prevention and management of cardiovascular disease including medical care provided in the smoking cessation outpatient clinic. Refractory peripheral arterial disease (arteriosclerosis obliterans and Buerger's disease), refractory ischemic heart disease, etc.

## Strong Fields

We perform coronary angioplasty for ischemic heart disease (angina pectoris and myocardial infarction) and drug therapy and non-drug therapy for arrhythmia. We also perform diagnosis of diseases such as valvular heart disease, cardiomyopathy, pulmonary hypertension, and peripheral arterial disease. In addition, we perform revascularization therapy, which is an advanced medicine beneficial for patients who are difficult to treat by conventional methods, including patients with refractory peripheral arterial disease (arteriosclerosis obliterans and Buerger's disease).

## Clinical Results

Annually, we perform heart catheterization in about 800 patients, coronary angioplasty (catheterization) in about 200 patients, acute treatment in about 30 patients with acute myocardial infarction, catheter ablation treatment for arrhythmia in about 400 patients, and balloon pulmonary angioplasty in about 50 patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension.

## Specialized Outpatient Clinic

Specialists in the fields such as ischemic heart disease, arrhythmia, heart failure, and smoking cessation provide medical care in the outpatient clinic. For patients with an implanted pacemaker, we provide medical care in the "outpatient pacemaker clinic" where mechanical conditions of the pacemaker are checked regularly.

## Advanced Medicine and Research

We have achievements in basic and clinical research in the field of regenerative medicine, especially in vascular regenerative medicine. We actually perform revascularization therapy in clinical settings. Also, we perform advanced catheter ablation treatment for complicated arrhythmia.



## 消化器内科 Gastroenterology and Hepatology

科長 川嶋 啓揮 (教授)  
Director KAWASHIMA, Hiroki (Professor)

## 消化器に関連するすべての疾患に対する豊富な診療実績

当科は消化管（食道、胃、十二指腸、小腸、大腸）、胆道・膵臓、肝臓疾患に対し、最先端の診断、治療を提供しています。

## Extensive Medical Experience in All Diseases Related to the Gastrointestinal Tract

We offer advanced diagnostic and treatment options for conditions affecting the digestive tract (including the esophagus, stomach, duodenum, small and large intestine), biliary tract and pancreas, as well as liver diseases.



## 診療体制

外来は消化管、胆道・膵臓、肝臓の専門医が毎日診療を行っています。また、上部・下部内視鏡検査や腹部超音波検査などのスクリーニング検査も毎日施行しています。入院は専門医が主治医となって診療を行っています。

## 対象疾患

消化管(食道、胃、小腸、大腸)の良性疾患(逆流性食道炎、胃潰瘍、炎症性腸疾患など)や癌などの悪性疾患、胆道・膵臓の良性疾患(胆管・胆嚢結石、急性・慢性膵炎)や癌などの悪性疾患、急性・慢性肝炎、肝硬変、肝臓癌などの悪性疾患。

## 得意分野

消化管癌の早期発見や内視鏡治療、小腸疾患に対するカプセル内視鏡や小腸内視鏡による診断・治療、胆道・膵臓疾患に対する超音波や内視鏡を用いた診断・治療、肝細胞癌に対する診断、治療に積極的に取り組んでいます。

## 診療実績

炎症性腸疾患は約700例/年を診療しています。消化管の早期癌の内視鏡治療は250例/年以上施行しています。カプセル内視鏡は300例/年以上、小腸内視鏡も400例/年以上施行しています。肝細胞癌に対する焼灼療法、カテーテル治療、薬物療法を計100例/年間以上、胆のう癌・胆管癌・乳頭部腫瘍・膵癌は年間100件以上診療・診断しています。

## 専門外来

毎日、消化管は2名、肝臓は1~2名、胆道・膵臓は1名の専門医が外来を行っていますので、いつ受診されても専門医が診察します。

## 先進医療・研究

我々は世界に先駆けてがん抑制性線維芽細胞を同定し、がん促進性線維芽細胞を抑制性線維芽細胞に形質の転換を行う薬剤であるMIKE-1を見出しました。その薬剤を標準療法と併用し、既存の化学療法のボトルネックである薬剤送達障害の解消を狙う医師主導治験「国産既存薬の新効能による膵がんの中間期化療法の開発と第I/II 相医師主導治験の実施」を行っています(jRCT臨床研究実施計画番号:jRCT2041210056、ClinicalTrials.gov Identifier:NCT05064618)。膵がんは5年生存率9.6%と主要ながん種の中で最も悪く、革新的な治療法の開発が強く望まれています。本治験がこの社会的要請に応えるものになることを我々一同、強く願っています。

## Medical Care System

In the outpatient clinic, specialists of the gastrointestinal tract, biliary tract, pancreas, and liver provide medical care every day. Also, we perform screening tests such as upper and lower endoscopy and abdominal ultrasound every day. In the inpatient department, specialists provide medical care to inpatients as the attending physician.

## Target Diseases

Benign diseases (e.g. reflux esophagitis, gastric ulcer, inflammatory bowel disease) and malignant diseases such as cancer of the gastrointestinal tract (esophagus, stomach, small intestine, and large intestine), acute / chronic hepatitis, liver cirrhosis, liver cancer, benign disease (bile duct / gallbladder stone and acute / chronic pancreatitis) and malignant disease such as cancer of the biliary tract and pancreas.

## Strong Fields

We are actively involved in early detection and endoscopic therapy of gastrointestinal cancer. Also, we are confident in performing capsule endoscopy for small-bowel disease, diagnostic treatment using small intestinal endoscopy, diagnostic treatment of viral hepatitis and liver cancer, ultrasonography for the biliary tract and pancreatic disease, and diagnostic treatment using endoscopes.

## Clinical Results

We handle around 700 cases of inflammatory bowel disease each year and perform endoscopic treatment for early-stage digestive tract cancer in over 250 cases annually. We also conduct more than 300 capsule endoscopies and over 400 small intestine endoscopies each year. In addition, we provide ablation therapy, catheterization, and drug therapy for hepatocellular carcinoma in over 100 cases per year, and diagnose and treat more than 100 cases per year of gallbladder cancer, bile duct cancer, papillary tumors, and pancreatic cancer.

## Specialized Outpatient Clinic

Every day, we have two gastroenterology specialists, one or two liver specialists, and one biliary tract and pancreas specialist available for outpatient services. This means that whenever you visit us, you will be seen by a dedicated specialist.

## Advanced Medicine and Research

We have recently discovered Meflin, a specific marker of reactive cancer-associated fibroblasts (rCAFs) in pancreatic cancer. Our research has shown that rCAFs may represent proliferating resident fibroblasts. By using a pharmacological approach, we have identified AM80, a synthetic unnatural retinoid, as a reagent that can effectively convert Meflin-negative pancreatic CAFs (pCAFs) to Meflin-positive rCAFs. Our aim is to investigate the effectiveness of a combination of AM80, gemcitabine (GEM), and nab-paclitaxel (nab-PTX) in treating patients with advanced pancreatic cancer.

## 呼吸器内科 Respirology

科長 石井 誠 (教授)  
Director ISHII, Makoto (Professor)

## 多様な症例に幅広く対応し、豊富な診療実績を誇る

肺癌、気管支喘息、肺炎、呼吸不全をはじめとする、肺および胸膜の疾患を幅広く診療しています。

## We accept patients with various conditions and have made extensive clinical achievements

We provide medical care for a wide range of pulmonary and pleural diseases including lung cancer, bronchial asthma, pneumonia, and respiratory failure.



## 診療体制

常勤医(教員)13名、医員6名、診療従事者(医師)18名。外来診療は毎日3診察室(初診患者外来1枠と呼吸器専門外来2枠)。病床数41。呼吸器内視鏡(気管支鏡)検査週2回。

## 対象疾患

胸部悪性腫瘍(肺癌、胸膜中皮腫など)、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、びまん性肺疾患(間質性肺炎、サルコイドーシスなど)、肺感染症(肺炎、肺結核、肺真菌症など)、肺血栓塞栓症、慢性呼吸不全など。

## 得意分野

肺癌と胸膜中皮腫の集学的治療(呼吸器外科、放射線科、化学療法部との連携による総合的治療)、呼吸器内視鏡診断、びまん性肺疾患の診断と治療、喘息の治療、COPDの治療、肺感染症の診断と治療。

## 診療実績

2022年度の診療実績として、新入院患者数は1,068人、外来患者延べ18,650人、気管支鏡検査件数年間330例となります。

## 専門外来

毎日、呼吸器専門外来3診(1診は呼吸器初診外来)で行っています。

## 先進医療・研究

がんゲノム医療、免疫療法を中心とする治験・臨床試験、間質性肺疾患、肺感染症を対象とした治験・臨床試験、喀痰吸入誘発による各種呼吸器疾患の診断と病態研究、気管支鏡下超音波内視鏡検査、気管内悪性腫瘍に対するアルゴンプラズマ凝固術。

## Medical Care System

With 13 full-time doctors (academic personnel), 6 doctors and 18 medical staff (physicians), we provide medical care in the outpatient clinic every day in three examination rooms (one room in the outpatient clinic for new patients and two rooms for specialized respiratory outpatient clinic). Number of beds: 41. Respiratory endoscopy (bronchoscopy): twice a week.

## Target Diseases

Thoracic malignant tumor (e.g. lung cancer, pleural mesothelioma), bronchial asthma, chronic obstructive pulmonary disease (COPD), diffuse pulmonary disease (e.g. interstitial pneumonia, sarcoidosis), pulmonary infection (e.g. pneumonia, pulmonary tuberculosis, pulmonary mycosis), acute and chronic respiratory failure, etc.

## Strong Fields

Multimodality therapy for lung cancer and malignant pleural mesothelioma (comprehensive treatment in cooperation with Thoracic Surgery, Radiology, and the Department of Clinical Oncology and Chemotherapy), endoscopic diagnosis of the respiratory system, diagnosis and treatment of diffuse pulmonary disease, treatment of bronchial asthma, treatment of chronic obstructive pulmonary disease (COPD), and diagnosis and treatment of pulmonary infection.

## Clinical Results

Clinical results for fiscal year 2022: 1,068 inpatients; 18,650 outpatients; 330 patients who underwent bronchoscopy.

## Specialized Outpatient Clinic

Every day, we provide medical care in three examination rooms of the specialized outpatient respiratory clinic (one examination room in the outpatient respiratory clinic for new patients).

## Advanced Medicine and Research

Clinical trials focusing on cancer genome medicine and immunotherapy, clinical trials for interstitial lung disease and pulmonary infections, diagnosis of and pathological research on various respiratory diseases using inhalation-induced sputum, endoscopic ultrasound under bronchoscopy, and argon plasma coagulation for endotracheal malignant tumors.



## 糖尿病・内分泌内科 Endocrinology and Diabetes

科長 有馬 寛 (教授)  
Director ARIMA, Hiroshi (Professor)①-1 糖尿病・内分泌疾患に  
専門的な診断と治療を

糖尿病や内分泌疾患の幅広い疾患の診断から治療まで、精力的に取り組んでいます。

①-2 Professional diagnosis and treatment of diabetes  
and endocrine diseases

We are energetically involved in the diagnosis and treatment of diabetes and a wide range of endocrine diseases.



## 診療体制

診療担当医31名、糖尿病専門医13名、指導医3名、内分泌専門医11名、指導医7名、内分泌代謝・糖尿病内科領域専門医5名を有し、外来診療は毎日5診、入院病床数16床で診療を行っています。

## 対象疾患

糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症、甲状腺疾患(バセドウ病、橋本病など)、下垂体疾患(先端巨大症、下垂体機能低下症、クッシング病、尿崩症など)、副腎疾患(クッシング症候群、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫など)、肥満症。

## 得意分野

糖尿病をはじめとする生活習慣病の診療を行います。糖尿病に関しては持続血糖測定システム(CGM)やCGM機能付きインスリンポンプ(SAP)治療など最新の医療デバイスを取り入れた血糖コントロールに加え、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士と連携した糖尿病サポートチームによる総合的アプローチを行い、チーム医療としての糖尿病治療を進めています。甲状腺疾患については内科的治療のほか、甲状腺エコー下穿刺も行っています。バセドウ病やプランマー病、甲状腺眼症の治療については放射線科と協力して内照射治療や球後照射を実施しています。また、下垂体や副腎など内分泌疾患全般にわたり診療を行います。専門性を保ちつつ患者様の生活を総合的にサポートする医療を目指します。

## 診療実績

外来患者数(延べ数)約32,000人/年、入院患者数(延べ数)約400人/年。

## 専門外来

糖尿病診療として、栄養指導やフットケアなど療養指導に積極的に取り組んでいます。内分泌診療として、甲状腺疾患、下垂体疾患、副腎疾患など全般にわたり、専門的な診断および治療を行っています。

## 先進医療・研究

中枢性尿崩症の研究、肥満・糖尿病の病態研究、視床下部・下垂体の再生医療に関する研究、免疫チェックポイント阻害薬による内分泌有害事象に関する研究、糖尿病・肥満症を中心とした臨床研究に取り組んでいます。

## Medical Care System

Our department has 31 consulting doctors, 13 diabetologists, 3 supervising doctors, 11 endocrine specialists, and 7 supervising doctors; 5 specialists of endocrinology, metabolism and diabetes we provide medical care every day in five examination rooms in the outpatient clinic and 16 beds in the inpatient department.

## Target Diseases

Diabetes, dyslipidemia, hyperuricemia, thyroid diseases (e.g., Graves' disease, Hashimoto's thyroiditis), pituitary diseases (e.g., acromegaly, hypopituitarism, Cushing's disease, diabetes insipidus), adrenal diseases (e.g., Cushing's syndrome, primary hyperaldosteronism, pheochromocytoma) and obesity.

## Strong Fields

We provide medical care for lifestyle-related diseases such as diabetes. For diabetes, we conduct blood glucose control that incorporates the latest medical devices such as continuous glucose monitoring (CGM) and sensor augmented pump (SAP). Also, we promote the treatment of diabetes through a comprehensive approach based on team medical care for diabetes in cooperation with nurses, pharmacists, registered dietitians and physical therapist. As for thyroid diseases, in addition to medical treatment, we perform echo-guided fine-needle aspiration cytology; for thyroid diseases including Graves' disease, autonomously functioning thyroid nodules (Plummer disease) and Graves' ophthalmopathy, we perform internal radiation therapy and retro-orbital radiation in cooperation with Radiology. Also, we perform diagnosis and treatment of all endocrine diseases including pituitary diseases and adrenal diseases. We aim to provide medical care that comprehensively supports the lives of patients with maintaining expertness.

## Clinical Results

The number of outpatients (total number) is about 32,000 a year; the number of inpatients (total number) is about 400 a year.

## Specialized Outpatient Clinic

For medical care of diabetes, we are actively involved in providing recuperation guidance such as nutritional guidance and foot care. For medical care for endocrine diseases, we perform professional diagnosis and treatments in all thyroid, pituitary and adrenal diseases.

## Advanced Medicine and Research

We are conducting basic and clinical researches on central diabetes insipidus, obesity, diabetes mellitus, regenerative medicine of hypothalamus and pituitary, and endocrine-related adverse events associated with immune checkpoint inhibitors.

## 腎臓内科 Nephrology

科長 丸山 彰一 (教授)  
Director MARUYAMA, Shoichi (Professor)①-1 腎臓に関するあらゆる疾患に  
最新の療法で取り組む

さまざまな腎疾患を正確な根拠に基づいた情報を慎重に検討し、患者さんと家族から十分理解を得て治療しています。

①-2 We provide medical care for all diseases related to  
the kidney with the latest therapies

We treat various renal diseases after carefully examining information based on accurate evidence and obtaining full understanding from the patient and family.



## 診療体制

約20名の常勤医および非常勤医で構成されています。腎臓内科専門医の教員が中心となり、診療に当たっています。週2回カンファレンスを行い、診療科として方針を決定しています。

## 対象疾患

腎炎・ネフローゼ症候群、慢性腎臓病(CKD)、急性腎障害(AKI)、高血圧性腎障害、糖尿病性腎症、多発性嚢胞腎などの腎疾患、自己免疫疾患・全身性血管炎症候群、および腎移植後の管理や電解質・酸塩基平衡異常に至るまで、腎臓に関するすべての疾患。

## 得意分野

腎病理診断、腎代替療法、難治性ネフローゼ症候群・膠原病・遺伝性疾患などに対して、MMF・リツキシマブなどによる新たな免疫抑制療法やαグルコシダーゼ補充療法などに積極的に取り組んでいます。

## 診療実績

年間入院患者463人、腎生検病理診断数806人(当院96人・関連施設710人)、新規透析導入患者54人(血液透析49人、腹膜透析5人)、PD+HD併用療法1人、その他(血漿交換療法や選択的白血球成分吸着療法、延べ人数124人)。

## 専門外来

腹膜透析外来、CKD外来、多発性のう胞腎外来、腎移植外来を併設。

## 先進医療・研究

ハイリスク患者に対する腹腔鏡下腎生検(泌尿器科との連携)、脂肪幹細胞による腎再生の研究、ネフローゼ症候群・急性腎障害・ループス腎炎に対する尿中バイオマーカーの開発、RAS抑制分子による降圧薬の開発、腹膜線維化の機序の解明を行っています。

## Medical Care System

Our department consists of about 20 full-time and part-time doctors. Medical care is provided mainly by professors who are nephrology specialists. We hold a conference twice a week and determine the course of treatment.

## Target Diseases

All diseases related to the kidney including renal disease such as nephritis, nephrotic syndrome, chronic kidney disease (CKD), acute kidney injury (AKI), hypertensive renal disorder, diabetic nephropathy, polycystic kidney disease, autoimmune disease disorder, systemic vasculitis syndrome and management after renal transplantation and electrolyte and acid-base balance disorder.

## Strong Fields

We are actively involved in renal pathological diagnosis, renal replacement therapy, and new immunosuppressive therapies using MMF, rituximab, etc. and alpha-glucosidase replacement therapy for diseases such as refractory nephrotic syndrome, collagen disorder, and hereditary diseases.

## Clinical Results

Annual number of inpatients: 463; number of pathological diagnoses by renal biopsy: 806 (our hospital: 96, affiliated facilities: 710); number of patients in whom dialysis was newly introduced: 54 (hemodialysis: 49, peritoneal dialysis 5); number of patients who underwent PD+HD combination therapy: 1; other patients (plasma exchange therapy and selective blood cell component adsorption therapy; total number of patients: 124).

## Specialized Outpatient Clinic

The outpatient clinic for peritoneal dialysis, the outpatient clinic for CKD, the outpatient clinic for polycystic kidney disease, and the outpatient clinic for kidney transplantation are now open to the public.

## Advanced Medicine and Research

We are involved in laparoscopic renal biopsy (in cooperation with Urology) for high-risk patients, research on renal regeneration using adipose stem cells, development of urinary biomarkers for nephrotic syndrome, acute renal disorders, and lupus nephritis development of antihypertensive drugs using RAS inhibitory molecules, and elucidation of the mechanism of peritoneal fibrosis.

## 消化器外科 — Gastroenterological Surgery 1

科長 江畑 智希 (教授)  
Director EBATA, Tomoki (Professor)腫瘍を中心とした疾患に  
ベテランスタッフが万全を期す

消化器外科一では胃、十二指腸、小腸、大腸などの消化管から肝臓、胆道(胆嚢や胆管)、膵臓などの腫瘍を中心に診療を行っています。

Experienced staff do their utmost to treat digestive  
diseases, mainly tumors

Digestive Surgery 1 provides medical care mainly for tumors in the gastrointestinal tract including stomach, duodenum, small intestine, large intestine, liver, biliary tract (gallbladder and bile duct), and pancreas.

## 診療体制

8年以上の経験をもつ外科医総勢30名で診療にあたります。外来は特に専門性を有するスタッフ外科医13名が週3回、月、水、金曜日に担当しています。入院の場合は主に2名の外科医が中心となりますが、治療方針や経過は常に部内で検討されます。

## 対象疾患

術前診断、手術治療、周術期管理および術後化学療法、再発癌に対する治療を行います。疾患としては、肝胆膵悪性腫瘍、慢性膵炎、良性胆道疾患(胆石など)、食道腫瘍、胃腫瘍、大腸・直腸腫瘍、骨盤腫瘍、後腹膜腫瘍などを取り扱います。

## 得意分野

高度進行胆道癌における肝臓同時切除術や血管合併切除を伴う肝切除術、骨盤内臓全摘出術、開胸開腹食道切除術などの高難度の手術を得意としています。特に、治療が難しい肝門部胆管癌の治療成績は国内外を問わず、最も優れています。最近では、腹腔鏡下肝切除術、腹腔鏡下膵切除術、単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術、腹腔鏡下ヘルニア根治術などの、体に優しい手術も積極的にを行っています。

## 診療実績

2022年の全手術件数は559例で、胆道癌肝切除42例、その他の肝切除43例、腹腔鏡下胆嚢摘出術41例、膵頭十二指腸切除術41例、膵体尾部切除術7例、食道癌手術25例(うち胸腔鏡下手術9例、ロボット手術10例)、その他の食道疾患手術4例、胃癌手術22例(うち腹腔鏡下手術14例)、結腸癌手術77例(うち腹腔鏡下手術64例)、直腸癌手術52例(うち腹腔鏡下手術39例、骨盤内臓全摘出術8例)、後腹膜腫瘍手術56例。肝門部胆管癌の切除数は国内最多。

## 先進医療・研究

大腸癌肝転移切除例を対象としたTS-1術後補助化学療法臨床第II相試験。肝外胆管切除を伴う大量肝切除術における肝切除前ステロイド投与の術後肝障害抑制効果に関する研究。

(独自ホームページ) <https://www.med.nagoya-u.ac.jp/tumor/>

## Medical Care System

A total of 30 surgeons with eight years or more of experience provide medical care. In the outpatient clinic, 13 surgeons with special expertise provide medical care three times a week (Monday, Wednesday, and Friday). In the inpatient department, at least two surgeons mainly provide medical care for each patient, but the treatment strategy and clinical course are always discussed with all members in our department.

## Target Diseases

We perform preoperative diagnosis, surgical therapy, perioperative management, postoperative chemotherapy, and therapy for recurrent cancer. We treat diseases such as hepatobiliary and pancreatic malignant tumor, chronic pancreatitis, benign biliary tract disease (such as gallstones), esophageal tumor, stomach tumor, large intestine / colorectal tumor, pelvic tumor, and retroperitoneal tumor.

## Strong Fields

We are confident in performing difficult surgery such as hepatopancreatoduodenectomy, hepatectomy with combined vascular resection for far-advanced biliary cancer and pelvic exenteration, and thoracolaparotomic esophagectomy. Especially, our department has the best treatment results for hilar cholangiocarcinoma regardless of whether in or outside of Japan. Recently we have also actively conducted non-invasive surgeries, such as laparoscopic liver resection, laparoscopic pancreatic resection, single incision laparoscopic cholecystectomy, and laparoscopic hernia repair.

## Clinical Results

The total number of surgeries in 2022 was 559. Of those, hepatectomy for biliary cancer: 42; other hepatectomies: 43; laparoscopic cholecystectomy: 41; pancreaticoduodenectomy: 41; distal pancreatectomy: 7; surgery for esophageal cancer: 25 (of those, 9 are thoracoscopic surgery, and 10 are robotic surgery); other esophageal surgery: 4; gastric cancer: 22 (of those, 14 are laparoscopic surgery); surgery for colon cancer: 77 (of those, 64 are laparoscopic surgery); surgery for rectal cancer: 52 (of those, 39 are laparoscopic surgery, and 8 are pelvic exenteration). Surgery for retroperitoneal tumor: 56. The number of resections for hilar cholangiocarcinoma is the largest in Japan.

## Advanced Medicine and Research

A phase II clinical study of postoperative adjuvant chemotherapy with TS-1 in patients who underwent resection for liver metastasis resulting from colorectal cancer. The study for the hepatoprotective effect of steroid administration before hepatectomy in major hepatectomy with extrahepatic bile duct resection.

(Website of the Department) <https://www.med.nagoya-u.ac.jp/tumor/>

## 血管外科 — Vascular and Endovascular Surgery

科長 坂野 比呂志 (教授)  
Director BANNO, Hiroshi (Professor)血管疾患の専門医が常勤し、  
高い専門性を誇る

血管疾患(動脈、静脈、リンパ管など)、動脈瘤や末梢動脈疾患の診断および治療(外科治療、ステントグラフト、血管内治療)を行っています。

Vascular specialists hold a full-time position and  
have high expertise

We perform diagnosis and treatment of vascular diseases (e.g. arteries, veins, lymph vessels), aneurysm, and peripheral arterial diseases (surgical treatment, stent graft, and endovascular treatment).

## 診療体制

血管疾患全般の診断、診療を行っています。外来日は月、水、金曜日であり、治療日は月、火、木曜日ですが、緊急の患者さんにも対応しています。

## 対象疾患

血管疾患全般が対象です。動脈疾患では、大動脈瘤(胸部、胸腹部、腹部)、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症、パーズジャー病や腎動脈狭窄症。静脈疾患では、下肢静脈瘤、深部静脈血栓症、リンパ管疾患ではリンパ浮腫などです。

## 得意分野

胸部、腹部大動脈瘤に対し外科手術だけではなく多数のステントグラフト内挿術を施行しています。末梢動脈疾患に対し病態に適したバイパス術、血管内治療を行い、また、血行再建困難例には血管新生療法を行っています。静脈瘤に対するレーザー治療も行っています。

## 診療実績

2022年には腹部(腸骨)大動脈瘤70例(ステントグラフト内挿術35例)、胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術43例。末梢動脈疾患69例(うちバイパス術23例)、静脈瘤治療14例施行。

## 専門外来

血管外科専門医はすべての病院に存在する科ではないので、その専門性は非常に高くなっています。当科には心臓血管外科専門医4名、脈管専門医3名、ステントグラフト指導医4名が常勤しています。

## 先進医療・研究

胸部大動脈ステントグラフト内挿術後の脊髄障害発症機序の解明と予防戦略の検討、大動脈ステントグラフト後のタイプ2エンドリークに対する診断および治療戦略の検討、などの臨床的研究に加え、大動脈瘤抑制のための血流改変モデルの解析、動脈硬化性病変に対する新規血管病治療の探索、などの基礎的研究も行っています。

## Medical Care System

We perform diagnosis of and provide medical care for all vascular diseases. The outpatient clinic days are Monday, Wednesday and Friday, and treatment days are Monday, Tuesday and Thursday; however, we also accept emergency patients every day.

## Target Diseases

All vascular diseases. Arterial disease includes aortic aneurysm (thoracic, thoracoabdominal, and abdominal), aortic dissection, arteriosclerosis obliterans, Buerger's disease, and renal artery stenosis; venous disease includes varicose veins of the lower extremities and deep vein thrombosis; lymphatic disease includes lymphedema.

## Strong Fields

For thoracic and abdominal aortic aneurysm, we have performed stent graft implantations as well as surgery. For patients with peripheral arterial disease, we perform bypass surgery and endovascular treatment suitable for the clinical conditions; for patients in whom revascularization is unfeasible, we perform angiogenic therapy. We also conduct laser therapy for varicosis.

## Clinical Results

In 2022, we treated 70 patients with abdominal (iliac) aortic aneurysm (stent graft implantation: 35 patients), performed stent graft implantation for thoracic aortic aneurysm in 43 patients, PAD in 69 patients (of whom 23 patients received bypass surgery), and treated varices in 14 patients.

## Specialized Outpatient Clinic

The expertise of vascular surgery specialists is extremely high because not all hospitals have the department of vascular surgery: 4 cardiovascular surgery specialists; 3 vascular specialists; and, 4 stent graft supervising doctors hold full-time positions in our department.

## Advanced Medicine and Research

As for clinical research, we are investigating the mechanism of spinal cord injury after thoracic endovascular aortic repair and its prevention strategy, and the diagnosis and treatment strategy for type 2 endoleak after endovascular aortic repair. As for basic research, we are analyzing blood flow modification models for aortic aneurysm suppression and exploring novel vascular disease therapies for atherosclerotic lesions.



## 消化器外科二 Gastroenterological Surgery 2

科長 中山 吾郎 (准教授)  
Director NAKAYAMA, Goro (Associate Professor)

### 国内外が注目する がん集学的治療と内視鏡手術の取り組み

消化器外科二では、消化器がん全般にわたり患者さんの状態に応じた外科治療を行っています。

### Globally acclaimed for expertise in multidisciplinary approach and minimally invasive approach in all fields of gastrointestinal and hepatobiliary-pancreatic surgery

Multidisciplinary treatment with surgery at the core for neoplasms of the digestive system has been tailored for each patient and delivered with care.



#### 診療体制

教員17名、医員14名体制で外来および入院診療を行っています。外来は食道、胃、大腸、肝胆膵、内視鏡外科、肥満外科それぞれに精通する専門のスタッフが月、火、水、木、金曜日の診療日を担当しています。入院診療は教員、医員がチームを組み、チーム医療を行っています。

#### 対象疾患

食道がん、胃がん、大腸がん、膵がん、肝がん、胆道がんなど消化器がん全般を扱っています。また、潰瘍性大腸炎、クローン病などの炎症性腸疾患も多く扱っています。内視鏡手術やロボット手術も積極的に取り入れています。

#### 得意分野

食道、胃、大腸など消化管のがんに対しては根治性の追求とともに内視鏡手術・ロボット支援手術を積極的に用いることにより低侵襲手術を目指しています。膵がん手術における門脈カテーテルバイパス法を用いた門脈合併切除は世界でも有数の症例数を持ち、安全な術式として確立しています。

#### 診療実績

2021年の切除症例は、食道癌60例(うち開胸手術41例、胸腔鏡下手術19例)、胃癌48例(うち開腹手術17例、腹腔鏡下手術17例、ロボット支援手術14例)、大腸癌65例(うち開腹手術12例、腹腔鏡下手術41例、ロボット支援手術12例)、炎症性腸疾患54例(うち開腹手術25例、腹腔鏡下手術29例)、膵疾患70例(うち開腹手術60例、腹腔鏡下手術10例)、肝切除38例(うち開腹手術27例、腹腔鏡下手術11例)。

#### 先進医療・研究

当科では、大学外の関連病院も含めた多施設において、多くの化学療法臨床研究を胃がん、大腸がん、膵がん分野で積極的に行っています。

〈独自ホームページ〉

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/surgery2/clinical/>

#### Medical Care System

17 academic and 14 medical members provide outpatients and inpatients medical care. The outpatient clinic is open on Mondays, Tuesdays, Wednesdays, Thursdays, and Fridays, staffed by specialists in esophageal, gastric, colon, hepatobiliary pancreatic, endoscopic surgery, and metabolic surgery. For inpatients, professors and doctors collaborate to provide medical care as a team.

#### Target Diseases

Patients with neoplasms and other intractable disorders of the digestive system including esophagus, stomach, colon, rectum, pancreas, liver and biliary system are treated. This would include cancer of all stages, gastroesophageal reflux disease, achalasia, Crohn's disease and ulcerative colitis. Laparoscopic and robotic approach has been selected where applicable.

#### Strong Fields

For esophageal, gastric, colon, and other digestive tract cancers, we take a minimally invasive approach like endoscopic and robotic surgery whenever possible, as well as pursuing radical cure. We are one of the world's leading institutions in the combined resection of the pancreas and portal vein in pancreatic surgery using portal vein catheter bypass. A significant number of operations have been performed and it is now established as a safe procedure.

#### Clinical Results

The numbers of resections performed in 2021 are as follows: esophageal cancer: 60 (of those, 41 are open surgery, 19 are thoracoscopic surgery); gastric cancer: 48 (of those, 17 are open surgery, 17 are laparoscopic surgery, 14 are robotic surgery); colorectal cancer: 65 (of those, 12 are open surgery, 41 are laparoscopic surgery, 12 are robotic surgery); IBD: 54 (of those, 25 are open surgery, 29 are lapa-roscoptic surgery); pancreatic disease: 70 (of those, 60 are open surgery, 10 are laparoscopic surgery); hepatectomy: 38 (of those, 27 are open surgery, 11 are laparoscopic surgery).

#### Advanced Medicine and Research

Our department actively conducts clinical studies on surgery and chemotherapy in the fields of gastric cancer, colorectal cancer, and pancreatic cancer at many facilities including hospitals affiliated to Nagoya University Hospital.

〈Website of the Department〉

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/surgery2/clinical/en/>

## 移植外科 Transplantation Surgery

科長 小倉 靖弘 (病院教授)  
Director OGURA, Yasuhiro (Clinical Professor)

### 日々進化する移植医療に対応する 最善のシステム

脳死・生体肝移植を中心に進行肝臓病の治療を行います。ドナーの健康管理やその他の移植相談も受けています。

### The best system accommodating the ever-growing transplantation therapy

We treat advanced liver disease mainly by liver transplantation from live and brain-dead donors. We also provide management of donors and transplantation counseling.



#### 診療体制

診療情報とご本人、ご家族との面接に基づいて、移植治療の必要性・安全性・効果を評価します。各領域との連携と移植コーディネーターの支援のもとで生体・脳死肝移植治療を行い、生涯に渡る診療体制を作っています。

#### 対象疾患

肝移植では、劇症肝炎・肝硬変・肝細胞癌・原発性胆汁性肝硬変・原発性硬化性胆管炎・進行性肝内胆汁うっ滞症・多発性嚢胞肝・胆道閉鎖症・カロリー病・先天性代謝性肝疾患・アラジール症候群・バッドキアリ症候群など。

#### 得意分野

成人および小児の肝移植治療の技術は高く評価され、血液型不適合移植をはじめ、他施設からの相談も少なくありません。一方で、生体ドナーの身体面ばかりでなく心理・社会面に配慮したケア・システムを作っています。

#### 診療実績

生体肝移植施設であると同時に脳死肝移植認定施設(全国25施設)であり、多彩な肝臓病に対して定期的に肝移植治療を行っています。治療成績は病状によって異なりますが、最近では1年生存率90%を超えています。

#### 専門外来

「肝移植レシピエント術後外来」の他、「生体肝ドナー術後外来」では他施設で手術を受けられた方も受けられています。また、通常外来の他に予約制の「移植相談外来」を設け、1件2時間程度の枠で相談を受けています。

#### 先進医療・研究

移植医療自体が先進医療であり、例えば手術の技術面に加え、移植感染症制御、移植後ワクチン、移植後ウイルス肝炎制御、肝細胞癌再発制御、移植肝臓の線維化制御、血液型不適合移植、抗ドナー抗体をもつ肝移植などの研究を行っています。

#### Medical Care System

Based on the treatment information and interviews with the patient and family, we evaluate the necessity, safety, and efficacy of transplantation therapy. In cooperation with the personnel in each field and with the support of transplant coordinators, we perform liver transplantation from live and brain-dead donors, establishing a lifelong medical care system for donors.

#### Target Diseases

Liver transplantation for fulminant hepatitis, hepatic cirrhosis, hepatocellular carcinoma, primary biliary cirrhosis, primary sclerosing cholangitis, progressive intrahepatic cholestasis, multiple hepatic cysts, biliary atresia, Caroli's disease, congenital metabolic liver disease, Alagille syndrome, Budd-Chiari syndrome, etc.

#### Strong Fields

Our technique of liver transplantation therapy for adults and children is highly evaluated, and we receive many inquiries from other facilities regarding issues such as blood type incompatible transplantation. We provide a care system that takes into account mental and social aspects as well as physical aspects of living donors.

#### Clinical Results

Our department is a certified facility for liver transplantation from brain-dead donors (25 facilities nationwide) as well as a facility for liver transplantation from live donors, and we regularly perform liver transplantation therapy for various liver diseases. Although treatment results differ depending on the condition of the disease, recently, the one-year survival rate has been more than 90%.

#### Specialized Outpatient Clinic

In addition to the "postoperative outpatient clinic for liver transplant recipients," we have a "postoperative outpatient clinic for living liver donors," where we accept patients who underwent surgery at other facilities. In addition to the ordinary outpatient clinic, our department has a reservation-based "outpatient clinic for transplantation counseling" and provides counseling of about two hours for each session.

#### Advanced Medicine and Research

Transplantation therapy itself is advanced medicine; in addition to making efforts to improve the technical aspects of surgery, for example, we conduct research on issues such as control of implant infection, post-transplant vaccination, control of post-transplant viral hepatitis, control of recurrence of hepatocellular carcinoma, control of fibrosis of transplanted liver, blood type incompatible transplantation, and liver transplantation with donor specific antibody.

## 乳腺・内分泌外科 Breast and Endocrine Surgery

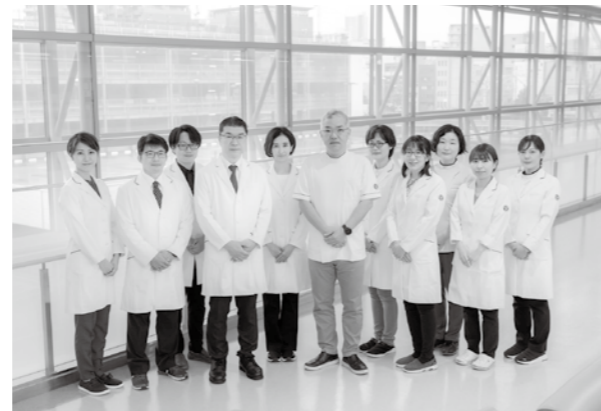
科長 増田 慎三 (教授)  
Director MASUDA, Norikazu (Professor)

### ①-1 他分野の協力も得た大学病院ならではの最善の治療法

乳癌、甲状腺、副甲状腺、副腎などの腫瘍性病変に対する外科的治療を主に行っている科です。

### ①-2 We provide optimum treatment in cooperation with other fields, which is only possible in university hospitals

Our department mainly performs surgical treatment for breast cancer and neoplastic lesions in sites such as the thyroid gland, parathyroid gland and adrenal gland.



#### 診療体制

世界的に標準とされる治療法を基本として、大学病院ならではの最先端の技術を織り交ぜて最善の治療を提供できるよう努力しています。また、クリニカルパスを積極的に取り入れて、治療の効率化、均一化を図っています。

#### 対象疾患

乳癌、甲状腺癌、クッシング症候群、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫、副腎癌、副腎腫瘍、原発性および続発性副甲状腺機能亢進症、多発性内分泌腫瘍症。

#### 得意分野

乳癌においては大学病院ならではの、多分野の専門家の協力による高度な画像診断、手術療法、薬物療法を行っています。乳房再建手術、遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対する予防医療にも積極的に取り組んでいます。甲状腺癌に対する甲状腺全摘術、副腎腫瘍に対する腹腔鏡手術件数は日本有数です。

#### 診療実績

直近1年間の手術症例数は乳癌243例、甲状腺癌55例、副腎腫瘍23例、副甲状腺疾患20例です。低侵襲乳腺生検術であるマンモトーム生検は毎週3件以上施行しています。

#### 専門外来

乳腺・内分泌外科外来  
乳癌・内分泌外科におけるセカンドオピニオン外来

#### 先進医療・研究

よりよい治療成績とQOL改善を目的に、多施設臨床研究や薬剤開発治験に積極的に取り組んでいます。

〈独自ホームページ〉

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/nyusen/>

#### Medical Care System

We make efforts to provide optimum treatment based on global standard therapy and the most advanced techniques that are only possible in university hospitals. In addition, we actively use a clinical path to ensure efficiency and equalization of treatment.

#### Target Diseases

Breast cancer, thyroid cancer, Cushing's syndrome, primary hyperaldosteronism, pheochromocytoma, adrenal cancer, adrenal tumor, primary and secondary hyperparathyroidism, and multiple endocrine neoplasia.

#### Strong Fields

For breast cancer, we perform a high level of diagnostic imaging, surgical treatment, and drug therapy in cooperation with specialists of many fields, which is only possible in university hospitals. We are also engaged in breast reconstruction surgery and preventive care for Hereditary Breast and Ovarian Cancer Syndrome (HBOC). We have performed an outstanding number of total thyroidectomies for thyroid cancer and laparoscopic surgeries for adrenal tumors in Japan.

#### Clinical Results

In the previous year, we performed surgery on 243 patients with breast cancer, 55 patients with thyroid cancer, 23 patients with an adrenal tumor, and 20 patients with parathyroid disease. We perform a mamotome biopsy, which is a minimally invasive mammary gland biopsy, three or more times a week.

#### Specialized Outpatient Clinic

Breast and endocrine surgery outpatient clinic  
Second opinion outpatient clinic of Breast and Endocrine Surgery

#### Advanced Medicine and Research

We are actively involved in multicentre clinical research and investigational trials to achieve better outcomes and improve quality of life.

〈Website of the Department〉

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/nyusen/>

## 整形外科 Orthopedic Surgery

科長 今釜 史郎 (教授)  
Director IMAGAMA, Shiro (Professor)

### ①-1 多岐にわたる保存治療と高度な技術に基づく手術治療

当科は運動器、すなわち骨、軟骨、靭帯、筋肉、神経の疾患について、専門的で高度な医療技術とともに治療を行っています。

### ①-2 A wide range of conservative treatment and surgical treatment with advanced clinical techniques

We provide the specialized and the advanced surgical treatments for musculoskeletal diseases, which are bone, cartilage, muscle, and nerve system.



#### 診療体制

当院には、脊椎、リウマチ、股関節、膝関節、小児整形、腫瘍、そして手の外科の7つのグループがあり、それぞれ専門的な最先端の治療に取り組んでいます。

#### 対象疾患

7つの専門グループが協力して、脊椎疾患、関節リウマチ、関節疾患、スポーツ障害、小児整形外科疾患、骨軟部腫瘍、外傷など、整形外科の全領域を網羅する専門的診療を行っています。また、外科的治療のみならず、内科的治療、リハビリテーションまで含み、その対象疾患・治療内容は多岐に渡り、幅広く対応しています。

#### 得意分野

運動器の機能温存・改善を目的に治療を行っています。低侵襲手術をはじめ、関節機能や神経機能を改善・温存するよう手術を施行しており、手術だけではなく薬物による治療やリハビリテーションも積極的に進めています。なお、再生医療の技術を用いた治療方法も進めています。

#### 診療実績

脊椎除圧固定術や脊髄腫瘍摘出術、人工関節、関節形成手術、関節鏡下手術、小児整形外科手術、骨軟部腫瘍手術、上肢機能再建手術など、年間数百件の難治性疾患に対する高度な手術を施行しています。

#### 専門外来

脊椎、リウマチ、股関節、膝関節、小児整形、腫瘍、そして手の外科の7つのグループの専門医が、それぞれ外来を行っています。

#### 先進医療・研究

先進医療としては再生医療技術を用いた細胞培養・移植による治療法を行っており、骨再生、神経再生、疼痛治療など、各種臨床治験を施行しています。また、他大学や企業との共同研究も多数行っています。

#### Medical Care System

We consist of the seven specialized team: spine, rheumatology, hip, knee and shoulder, pediatric orthopedics, oncology, and hand surgery.

#### Target Diseases

Spinal diseases, rheumatoid arthritis, joint diseases, sports disorders, pediatric orthopedics, and tumor. We provide specialized care for each disease.

#### Strong Fields

We provide the various treatment to improve the function of the musculoskeletal system. We provide the advanced minimal invasive surgeries but also the medication and the rehabilitation.

#### Clinical Results

Spinal decompression fusion, spinal tumor resection, joint replacement, arthroscopy, and pediatric orthopedic surgery. We performed over hundreds of high-level surgeries a year.

#### Specialized Outpatient Clinic

We provided the specialized outpatient service by each group as above.

#### Advanced Medicine and Research

As an advanced medical treatment, we provide cell therapy as regenerative medicine technology. We are conducting various clinical trials for nerve regeneration and pain treatment. We also conduct a lot of joint research projects with universities and companies.



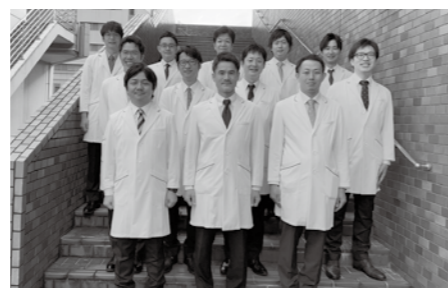
## リウマチ科 Rheumatology

科長 今釜 史郎 (教授)  
Director IMAGAMA, Shiro (Professor)①-1 リウマチ治療の情報発信をするなど  
多角的に対応

関節をはじめとする運動器に障害を起こすリウマチ性疾患を対象に治療を行っています。

## Diversified actions include providing information on the treatment of rheumatism

We treat patients with rheumatic diseases that cause damage to motor organs such as joints.



## 診療体制

リウマチ性疾患に対する手術療法薬物治療を行っています。また、血友病関節症に取り組む数少ない施設のうちのひとつで血液内科との連携で安全に手術を行っています。呼吸器、腎臓、消化器内科などの連携も十分に取れており合併症、副作用についても十分に対処できる体制があります。

## 対象疾患

関節リウマチ (外来通院患者数約1,200例)、血友病関節症 (外来通院200例)、脊椎関節炎 (130例) です。

## 得意分野

手術については低侵襲かつ正確な手術を目指しており、積極的に手術療法を行っています。薬物治療についてはメトトレキサートを基本として、生物学的製剤の使用も積極的に行っています。実臨床下での治療成績を多角的に検討し、病態の理解、治療方針のために役立てています。

## 診療実績

リウマチに対して人工関節30例、足趾関節形成術15例/年、生物学的製剤使用症例は約400例です。

## 専門外来

リウマチ外来、血友病外来です。

## 先進医療・研究

積極的に薬剤開発治験に取り組んでおり、現在も2種類の抗リウマチ薬開発治験が進行しています。当科では軟骨基質に着目し、関節破壊の病態解明を進めています。新しい治療法につながるものと期待しています。複数の多施設共同臨床研究を中心施設として行っています。

## Medical Care System

We perform surgical therapy and drug therapy for patients with rheumatic diseases. In addition, our department is one of the few facilities that are committed to the treatment of hemophilic arthropathy, and we safely perform surgeries in cooperation with Hematology Department. We cooperate closely with departments such as Respiriology, Nephrology, and Gastroenterology and Hepatology, and are ready to manage complications and adverse drug reactions.

## Target Diseases

Rheumatoid arthritis (about 1,200 registered patients), hemophilic arthropathy (about 200 registered patients) and spondyloarthritis (about 130 registered patients).

## Strong Fields

We aim at minimally invasive and precise surgery and actively perform surgical therapy. For drug therapy, we basically use methotrexate and actively use biologic drugs as well. In addition, we examine the outcome of treatments in real clinical practice from perspective to help understand pathological condition and determine treatment strategies.

## Clinical Results

We perform implantation of joint prosthesis in 30 patients and forefoot joint arthroplasty in 15 patients a year and use biologic drugs in about 400 patients a year.

## Specialized Outpatient Clinic

Rheumatism outpatient clinic and hemophilia outpatient clinic.

## Advanced Medicine and Research

We actively conduct clinical studies for drug development; we are conducting clinical studies for the development of two antirheumatic drugs. We are focusing on cartilage matrix and elucidation of the pathology of joint destruction, and expect to develop new methods of treatment. We are conducting multiple multicenter collaborative clinical studies as a central institute.

## 手の外科 Hand Surgery

科長 山本 美知郎 (教授)  
Director YAMAMOTO, Michiro (Professor)①-1 手に特化した専門性の高い  
最新治療や研究・開発

肩甲帯から手に至る上肢の筋骨格系障害や外傷、神経麻痺、循環障害、先天奇形などの治療を専門に行っています。

## The latest treatment and research and development specialized on the hands based on high expertise

We specialize in the treatment of conditions such as musculoskeletal disorders of the upper limbs including the shoulder girdle and hands, injury, nerve paralysis, circulatory disorders, and congenital malformations.



## 診療体制

上肢の疾患や外傷に習熟した6名の医師が、週5日間の専門外来と年間約400例の手術を実施しています。4名の作業療法士が医師とのカンファレンスを通じて個々の患者さんに対応した後療法を実践しています。

## 対象疾患

骨折・脱臼、腱・靭帯損傷、上肢作業関連性疾患・スポーツ傷害、絞扼性神経障害、外傷性神経損傷、痙攣性麻痺手、上肢関節疾患・拘縮、四肢切断、骨関節感染症、循環障害および骨無腐性壊死、腫瘍、腫瘍性病変。

## 得意分野

上肢の難治性骨関節障害の治療、末梢神経障害による麻痺、手の再建や疼痛治療、拘縮手に対する拘縮解離および筋骨格再建、上肢循環障害の治療、小関節障害に対する低侵襲手術、先天奇形、手の機能再建。

## 診療実績

内視鏡、手術用顕微鏡を駆使した低侵襲手術に力を入れており、手関節鏡視下手術の実績は1,000例を超え日本屈指の件数を誇っています。末梢神経麻痺の治療でも最新治療技術の導入を進めています。

## 専門外来

月曜日から金曜日まで限なく専門外来を開いています。専属の医師は6名であり、愛知県内外からの紹介患者を受け付けています。

## 先進医療・研究

複合組織移植による上肢機能再建を実施しており、研究では末梢神経障害治療材料、人工骨、骨折治療材料、上肢リハビリテーション支援機器の開発を進めています。

## Medical Care System

Six doctors who specialize in diseases and injuries of the upper limbs provide medical care in the specialized outpatient clinic five days a week and perform about 400 surgeries a year. While holding conferences with doctors, four occupational therapists perform post-treatment adapted to each patient.

## Target Diseases

Fractures and dislocations, tendon and ligament injuries, work-related upper limb diseases, sports injuries, entrapment neuropathy, traumatic nerve injury, spastic hand, joint diseases and contracture of the upper limbs, quadruple amputation, osteoarticular infection, circulatory disorders and aseptic bone necrosis, tumors, and neoplastic lesions.

## Strong Fields

Treatment of intractable osteoarthopathy of the upper limbs, paralysis due to a peripheral nerve disorder, hand reconstruction and treatment of pain, contracture removal and musculoskeletal reconstruction for contracted hands, treatment of circulatory disorders of the upper limbs, minimally invasive surgery for small joint disorders, congenital anomaly, and functional reconstruction of hands.

## Clinical Results

We are committed to minimally invasive surgery utilizing endoscopy and operating microscopes, and we have performed more than 1,000 endoscopic wrist surgeries, which is an outstanding number in Japan. We introduce the latest treatment techniques for the treatment of peripheral nerve palsy as well.

## Specialized Outpatient Clinic

We provide medical care in the specialized outpatient clinic from Monday through Friday. There are six exclusive doctors, and we accept referred patients in and outside of Aichi Prefecture.

## Advanced Medicine and Research

We perform functional reconstruction of upper limbs using composite tissue transplantation. In the field of research, we promote the development of materials for the treatment of peripheral nerve disorders, artificial bone, materials for the treatment of fractures, and upper limb rehabilitation supporting devices.

## リハビリテーション科 Rehabilitation

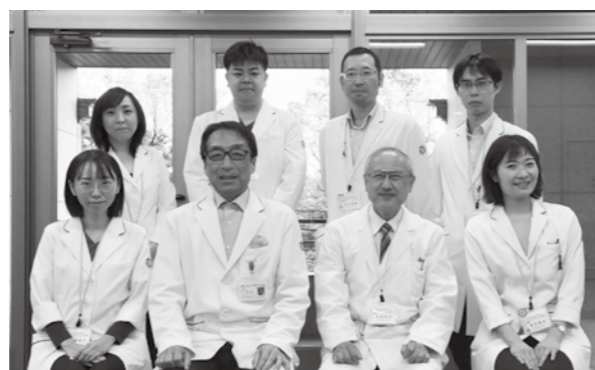
科長 西田 佳弘 (病院教授)  
Director NISHIDA, Yoshihiro (Clinical Professor)

## チーム医療で様々な障害を持った患者さんに生きがいのある生活を

難治性、稀少疾患が集約される名大病院で多様な障害を持つ患者さんにチーム医療で取り組み、生きがいのある生活に復帰していただきます。希少疾患や悪性腫瘍患者さんに対するリハビリに積極的に取り組みます。

## A worthwhile life for patients with disabilities by team medical care

We support patients with various disabilities, particularly due to refractory or rare diseases, by team medical care to readjust to their worthwhile life. Many patients with rare diseases and malignancies are important medical attention of rehabilitation in Nagoya University Hospital.



### 診療体制

教授1名、教員1名、他に常勤医5名と非常勤医4名にて診療を行っています。他診療科からの依頼を受けて診療を行い、リハビリテーションを開始しています。現在は入院患者さんに対するリハビリテーションを中心に実施しています。

### 対象疾患

名大病院の特徴から悪性腫瘍、難治性・希少疾患、高度な技術を要する手術前後の患者さんを多く診療しています。入院治療を受けている脳血管障害、股関節・膝関節・脊椎など整形外科疾患の手術前および後、その他の神経・運動器疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、高齢者のサルコペニア等、全診療科にわたる幅広い疾患を対象としています。

### 得意分野

がんゲノム医療中核拠点病院や小児がん拠点病院として役割を担うがんのリハビリテーション、指定難病を初めとする希少疾患、未熟児や早産児、先天性疾患をもつ新生児のリハビリテーション等があります。

### 診療実績

新規にリハビリテーションを開始する患者さんは年間約5,000例です。

### その他の取り組み

多職種を含む各種カンファレンスの運用を通して院内の全ての科の診療に関わっています。臨床・研究・教育で名古屋大学医学部保健学科理学療法専攻・作業療法専攻と協働体制があります。

### Medical Care System

One professor, one lecturer, five full-time doctors and four part-time doctors provide rehabilitation medicine, particularly inpatient treatment.

### Target Diseases

As a distinguishing characteristics of Nagoya University Hospital, many patients with malignant neoplasms, intractable or rare diseases are target of rehabilitation therapy. Wide range of patients including cerebrovascular, orthopedic, neurological, respiratory, cardiovascular, and geriatrics disorders are treated by inpatient basis.

### Strong Fields

As a hub institution for cancer genome medical care and for pediatric cancer care, we have an emphasis on rehabilitation for patients with malignant neoplasms. Rehabilitation for rare diseases, neonatal immature or preterm infant, infant with a congenital disorder.

### Clinical Results

The annual number of new patients with rehabilitation care is approximately 5,000.

### Other Undertakings

We get involved in patients with all specialty through conferences with multidisciplinary medical care team. We have a sufficient cooperative structure for clinical, educational, and research activities with Department of Physical Therapy and Occupational Therapy, Nagoya University School of Health Sciences.

## 産婦人科 Obstetrics and Gynecology

科長 梶山 広明 (教授)  
Director KAJIYAMA, Hiroaki (Professor)

## 全国有数の症例数が安心をもたらす

婦人科腫瘍、周産期、生殖医療、女性医学の主要領域に加え、産婦人科全域をカバーする診療を行っています。

## We provide high-quality care to outstanding number of patients

In addition to the main fields of obstetrics and gynecology (gynecologic oncology, perinatal medicine, reproductive medicine and women's health), we provide medical care for all fields of obstetrics and gynecology.



### 診療体制

教授以下教員18名、診療医員16名にて、一般外来および専門外来、11E病棟(婦人科)・4E病棟(周産期)・総合周産期母子医療センター(MFICU、生殖医療)での入院診療を行っています。当直は万全の体制で分娩および緊急手術に対応しています。

### 対象疾患

悪性腫瘍(子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌など)、絨毛性疾患(胎状奇胎、絨毛癌など)、ハイリスク妊娠(妊娠高血圧症候群、合併症妊娠、前置胎盤、胎児異常など)、不妊症、ロボットを含む内視鏡下手術適応婦人科疾患(子宮体癌、子宮内膜症、子宮筋腫)、更年期障害、女性医学。

### 得意分野

卵巣癌治療においては、全国有数の症例数を有しています。初期子宮体癌における腹腔鏡下手術、若年者の初期悪性腫瘍での妊孕性温存治療にも力を入れています。その他、絨毛性疾患、胎児異常、前置癒着胎盤、内視鏡下手術、体外受精・顕微授精の症例も豊富です。

### 診療実績

子宮頸癌100例(上皮内癌含む)、子宮体癌(子宮内膜増殖症含む)86例、卵巣癌65例、絨毛性疾患8例、分娩448例(うち帝王切開230例)、母体搬送64例、内視鏡下手術133例、体外受精86採卵周期。

### 専門外来

中部地区の基幹病院として、腫瘍、ハイリスク妊婦、生殖医療、内視鏡下手術、更年期の各専門外来を設置し、最先端の診療を行っています。また、セカンドオピニオンにも対応しています。

### 先進医療・研究

初期浸潤子宮頸癌に対し、妊孕性温存術式である広汎性子宮頸部切除術を施行しています。腹腔鏡下広汎子宮全摘術も実施しております。子宮全摘出術にロボット支援腹腔鏡下手術を導入しています。

### Medical Care System

18 academic personnel including professors and 16 consulting doctors provide medical care in the general outpatient clinic, specialized outpatient clinics, 11E ward (gynecology), 4E ward (perinatal medicine), and center for maternal-neonatal care (MFICU and reproductive medicine). Expert doctors are on-duty 24-hours a day for childbirth and emergency surgery.

### Target Diseases

Malignant tumor (e.g. cervical cancer, endometrial cancer, ovarian cancer), trophoblastic disease (e.g. hydatidiform mole, choriocarcinoma), high-risk pregnancy (e.g. pregnancy-induced hypertension syndrome, complicated pregnancy, placenta previa, fetal abnormality), infertility, gynecologic disease for which endoscopic surgery is indicated (endometrial cancer, endometriosis and uterine myoma), menopausal symptoms and women's health.

### Strong Fields

We have treated an outstanding number of patients with ovarian cancer in Japan. We also make efforts for endoscopic surgery of early-stage endometrial cancer and fertility preservation treatment of early-stage malignant tumor in younger patients. We also have broad experience in trophoblastic disease, fetal abnormality, placenta previa accreta, endoscopic surgery, and in vitro fertilization / microinsemination.

### Clinical Results

Cervical cancer (including intraepithelial carcinoma): 100, endometrial cancer: 86, ovarian cancer: 65, trophoblastic disease: 8, childbirth: 448 (cesarean section: 230), maternal transport admissions: 64, endoscopic surgery: 133, in vitro fertilization: 86 egg retrieval cycles.

### Specialized Outpatient Clinic

As a core hospital in the Chubu District, we provide the most advanced medical care in each of the following specialized outpatient clinics: tumor, high-risk pregnancy, reproductive medicine, endoscopic surgery, and menopause. We also provide second opinions.

### Advanced Medicine and Research

We perform radical trachelectomy, which is a fertility preservation surgery, for early invasive cervical cancer. We also perform laparoscopic radical hysterectomy. We have introduced robot-assisted laparoscopic surgery for hysterectomy.



## 眼科 Ophthalmology

科長 西口 康二 (教授)  
Director NISHIGUCHI, Koji (Professor)優れた治療成績が物語る  
最先端治療の取り組み

当科では眼科診療の全分野に対し専門外来を設置しており、中でも、加齢黄斑変性、糖尿病網膜症、網膜剥離など網膜硝子体疾患や重症緑内障症例に対して最先端で良質な治療を積極的に行っています。年間700件を超える網膜硝子体手術件数とともに高い治療成績を誇っています。

Efforts in the most advanced treatment demonstrated  
by excellent treatment results

Our department has established specialized outpatient clinics for all areas of ophthalmology, and actively performs advanced, high-quality treatment for diseases such as age-related macular degeneration, diabetic retinopathy, and retinal detachment. We have achieved excellent treatment results including more than 700 retinal and vitreous, and glaucoma surgeries in a year.



## 診療体制

教授1名、准教授1名、講師1名、助教4名、病院助教6名、非常勤医師21名。

## 対象疾患

網膜硝子体疾患、加齢黄斑変性、網膜変性、緑内障、白内障、ぶどう膜炎、ドライアイ、角膜疾患、斜視・弱視、小児眼科、眼腫瘍、眼形成。

## 得意分野

糖尿病網膜症、網膜剥離、黄斑円孔、黄斑前膜などの網膜硝子体手術。加齢黄斑変性、黄斑浮腫に対する抗VEGF薬をはじめとする分子標的薬などの新しい薬物治療など。

## 診療実績

初診患者数は年間約3,000人、再診患者数は年間延べ約45,000人。(コロナ禍前)総手術数は年間約1,700件、うち700件は網膜硝子体疾患です。加齢黄斑変性の薬物注入による治療実績は年間約6,000件で優れた治療成績を挙げています。

## 専門外来

網膜硝子体疾患、緑内障、角膜疾患、斜視・弱視、小児眼科疾患、ぶどう膜炎、眼腫瘍、眼形成、ロービジョン、神経眼科。

## 先進医療・研究

加齢黄斑変性や糖尿病網膜症、網膜色素変性などの疾患の病態解明と新規治療法の開発を推進しています。硝子体手術は極小切開や内視鏡を用いて行い、手術中に記録できる光干渉断層計(OCT)を備えています。また、最新のOCT angiographyも導入しています。特に網膜疾患を網膜電図の手法を用いて診断・評価する分野では国際的に高い評価を得ています。

## Medical Care System

One professor; one associate professor; one lecturers; four assistant professor; six clinical assistant professors, and twenty-one part-time doctors.

## Target Diseases

Retinal and vitreous disease, age-related macular degeneration, retinal degeneration, glaucoma, cataract, uveitis, dry eye, corneal disease, strabismus / amblyopia, pediatric eye disease, eye tumor and ophthalmoplasty.

## Strong Fields

Retinal and vitreous surgery for diseases such as diabetic retinopathy, retinal detachment, macular hole, and epiretinal membrane. New drug therapies including molecular targeted drugs such as anti-VEGF agents, and so forth, for age-related macular degeneration and macular edema.

## Clinical Results

The annual number of first-visit patients is about 3,000, and the annual total number of revisit patients is about 45,000. The annual total number of surgeries is about 1,700, of which 700 surgeries are for retinal and vitreous diseases. We have achieved excellent treatment results for about 6,000 patients a year with age-related macular degeneration who are treated with drug infusion.

## Specialized Outpatient Clinic

Retinal and vitreous disease, glaucoma, corneal disease, strabismic / amblyopia, pediatric eye disease, uveal disease, eye tumor, ophthalmoplasty and low vision, neuroophthalmology.

## Advanced Medicine and Research

We promote elucidation of the pathology of diseases such as age-related macular degeneration, diabetic retinopathy, and retinitis pigmentosa and the development of new therapies. We perform vitreous surgery with microincisional vitrectomy technique and endoscope. Our operation room is equipped with a microscope with optical coherence tomography which enable us to record and confirm retinal structures during surgery. We use various latest machinery such as OCT angiography in our clinic. Also, we are highly reputed worldwide in the fields of diagnosis and assessment of retinal disease using electroretinograms.

## 精神科 Psychiatry

科長 池田 匡志 (教授)  
Director IKEDA, Masashi (Professor)年々増加する患者数と症例に  
多面的な治療で向き合う

青年期・成人期のこころの問題について、精神医療の立場から適切な判断とアドバース・治療を提供します。

We provide multidimensional treatment for patients  
and cases that have been increasing every year

From the standpoint of mental health care, we provide an appropriate assessment, advice, and treatment of patients with psychological problems in adolescence and adulthood.



## 診療体制

十分な診察・面接時間を確保するため、初診および再診の患者さんについて完全予約制システムをとっています。はじめて受診する患者さんは、当科の外に電話もしくは来院して、予約を取る必要があります。

## 対象疾患

統合失調症、うつ病、双極性障害、認知症、不安症、摂食障害、自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、睡眠障害などさまざまなこころの問題に対応します。

## 得意分野

青年期から高齢期までの各ライフステージにおけるこころの問題に精通したスタッフが揃っています。薬物療法、心理・精神療法など、多面的な治療を行っています。脳MRIやSPECTなどの神経画像検査、心理検査、睡眠検査などによる脳機能の評価も積極的に実施しています。

## 診療実績

年々需要が増加するこころの問題に対し、最新の医療を、入院(50床)や外来で提供しています。また、市中のメンタルクリニックや精神病院との病診連携や病病連携にも力を入れています。

## 専門外来

特に疾患を限定した専門外来は設けていませんが、初診時に患者さんから状態などを聞いて、最も適切な初診医に予約を入れるようにしています。

## 先進医療・研究

「現在の診断・治療法で最も妥当なもの何か」を検討するとともに、「病態をつきとめ、病態に即した治療・予防法の開発を目指す」ことを基本方針としています。こころの問題に関する最新の知見を日々の臨床に還元すべく、診療スタッフの医療水準を最高に維持するように日々研鑽に励んでいます。

## Medical Care System

To ensure sufficient time for consultation and interview, we have introduced a complete appointment system for first-visit and revisit patients. All first-visit patients are required to either telephone or visit the outpatient clinic of our department to make an appointment.

## Target Diseases

We accept patients with various psychological problems such as schizophrenia, depression, bipolar disorder, dementia, anxiety disorder, eating disorder, autism spectrum disorder, ADHD and sleep disorder.

## Strong Fields

Our staff is familiar with psychological problems in each life stage from adolescence to older age. We perform multidimensional treatment consisting of drug therapy, psychotherapy, and so forth. Also, we actively perform assessment of the brain function using neuroimaging tests such as brain MRI and SPECT, psychological tests, sleep polysomnography, etc.

## Clinical Results

We provide the latest medical care for psychological problems, whose demand for medical support is increasing year by year, in the inpatient department (50 beds) and outpatient clinic. In addition, we also make efforts in hospital-clinic cooperation (with mental clinics in the community) and cooperation between hospitals (with mental hospitals in the community).

## Specialized Outpatient Clinic

Although we do not have specialized outpatient clinics for specific diseases, we will make an appointment with the most appropriate doctor after asking about the patient's condition and other information at the time of initial consultation.

## Advanced Medicine and Research

Our basic policy is "to determine the most appropriate diagnostic and therapeutic techniques" and "to identify the pathology and to aim at developing treatment and prevention methods appropriate for the pathology." We work and study hard every day to maintain the medical care we provide at the highest level so that we can utilize the most recent findings on psychological problems in daily clinical settings.

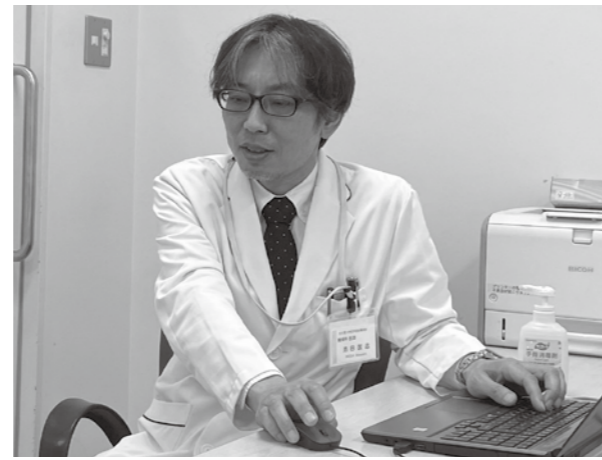
## 親と子どもの心療科 Child and Adolescent Psychiatry

科長 池田 匡志 (教授)  
Director IKEDA, Masashi (Professor)子どもたちのこころの健康を促し、  
その発達を支えます

12歳以下の子どものメンタルヘルスや発達の課題について、児童青年精神医学の見地からの確かな診断と多面的な治療を提供します。

Facilitating mental health and supporting development  
of youths

We provide psychiatric diagnosis and comprehensive treatment for children and adolescents under 13 with mental health problems and developmental matters.



## 診療体制

十分な診察・面接時間を確保するため、初診および再診の患者さんについて、完全予約制のシステムをとっています。

## 対象疾患

言葉・発達の遅れ、多動、集団へのなじめなさ、同世代と上手く関われない、という乳幼児期～児童期の発達の問題、学校へ行けない、食事が食べられない、などの児童期のこころの問題に対応します。

## 得意分野

乳児期から児童期までの各ライフステージにおけるメンタルヘルスや発達の課題について診断と治療に精通したスタッフが担当します。薬物療法、精神療法など多面的な支援を行っています。心理検査、睡眠検査などによる評価も積極的に実施しています。最新の医学研究に基づいて病態を理解し、臨床研究の成果を積極的に臨床に活かすように努めています。

## 診療実績

年々需要が増加する子どものこころの問題に対し、根拠に基づく確かな医療を提供しています。また、子どものこころの問題を扱うクリニックや病院、さまざまな支援機関との連携にも力を入れています。

## 先進医療・研究

「現在の診断・治療法で最も妥当なものは何か」を検討するとともに、「病態をつきとめ、病態に即した治療・予防法の開発を目指す」ことを基本方針としています。子どものこころの問題に関する最新の知見を日々の臨床に還元すべく、診療スタッフの医療水準を最高に維持するように日々研鑽に励んでいます。

## Medical Care System

To ensure sufficient time for consultation and interviews, we have implemented a reservation only system for new and returning patients.

## Target Diseases

We provide psychiatric care for developmental disorders such as language delay and other developmental matters, hyperactivity, poor adaptation to peer groups, and inability to establish a good relationship with peers about the same age as well as mental health problems in childhood such as the inability to go to school or eat normally.

## Strong Fields

Our staff members specialize in diagnosis and treatment for developmental matters and mental health problems which occur in the life stages from infancy to childhood. We provide comprehensive treatment including pharmacotherapy, psychotherapy, and other psychosocial interventions. We also evaluate patients through measures such as psychological tests, sleep polysomnography, etc. We maintain a vigorous interest in the current research findings and clinical evidence for the complete range of issues facing our patients.

## Clinical Results

We provide evidence-based treatment for the increasing number of emotional and developmental issues that youths face as they get older. In addition, we are actively cooperating with medical care facilities and other support systems where children's mental problems are handled.

## Advanced Medicine and Research

While investigating the best diagnosis and treatment methods at present, our basic policy is to seek to identify the pathology and develop treatments and preventive methods based on the pathology identified. In order to translate the latest advances in knowledge about children's mental problems into clinical practice, we keep our medical staff trained to the highest medical level.

## 小児科 Pediatrics

科長 高橋 義行 (教授)  
Director TAKAHASHI, Yoshiyuki (Professor)全国有数の造血幹細胞移植など  
高度専門治療が充実

小児科における各医師の専門分野を生かした高度医療を中心にを行っています。

Promotion of multidisciplinary treatments for rare  
diseases in children

We provide medical care, mainly an intensive care medical service, utilizing the expertise of each doctor's specialized pediatric field.



## 診療体制

外来は予約制の専門外来(血液・腫瘍、神経、先天性免疫不全、新生児、感染症・予防接種、循環器、内分泌、遺伝、血液・腫瘍長期フォローアップ)と一般外来を設けています。入院は血液・腫瘍性疾患、新生児、神経疾患などを中心に診療を行っています。

## 対象疾患

白血病、リンパ腫、再生不良性貧血などの血液疾患や神経芽腫などの腫瘍性疾患、低出生体重児や先天性横隔膜ヘルニアなどの新生児疾患、難治性てんかんなどの小児神経疾患、先天性免疫不全症、先天性サイトメガロウイルス感染症などです。

## 得意分野

造血幹細胞移植は全国でも有数の症例数を行っている小児施設のひとつです。「小児がん拠点病院」に全国上位の評価で認定されています。新生児では先天性横隔膜ヘルニアなど新生児外科疾患に力をいれ、難治てんかんの患者さんではビデオ脳波同時記録や高解像度MRI解析を用いて診断を行っています。また、脳神経内科、脳神経外科、精神科などと共同でてんかんセンターとして診療しています。

## 診療実績

2022年の血液・腫瘍性疾患の新患の患者数は60人で、造血幹細胞移植は42人です。てんかんなどの神経疾患の新患の患者数は131人、通院患者数は約1,000人、新生児のNICU入院患者数は年間338人で先天性横隔膜ヘルニアは14人です。

## 専門外来

小児血液・腫瘍外来、小児神経外来、先天性免疫不全症外来、新生児外来、感染症・予防接種外来、小児循環器外来、小児内分泌外来、染色体・遺伝性疾患外来、血液・腫瘍長期フォローアップ外来を設けています。

## 先進医療・研究

細胞を使って再発、難治の白血病や小児がんに対する治療を行う臨床研究、新生児のけいれん発作の脳波モニタリング、新生児脳症の脳低温療法や、高磁場MRI、脳波-fMRI同時記録、脳磁図、PETによるてんかん焦点同定の臨床研究、先天性サイトメガロウイルス感染症に対する抗ウイルス薬の第Ⅲ相治験を行っています。

## Medical Care System

We have two types of outpatient clinics: reservation-based specialized outpatient clinics (hematology/oncology, neurology, infectious diseases, neonatology, cardiology, endocrinology, genetic and hematology and oncology long-term follow up) and a general outpatient clinic. For inpatients, we mainly provide medical care to patients with hematologic and neoplastic disease, neonates, patients with neurological disorders, etc.

## Target Diseases

Blood diseases, such as leukemia, lymphoma, and aplastic anemia; neoplastic diseases, for example, neuroblastoma; neonatal diseases, for instance, congenital diaphragmatic hernia; pediatric neurologic disorders, such as intractable epilepsy; and other conditions, including congenital immunodeficiency, congenital cytomegalovirus diseases, etc.

## Strong Fields

Our department is among the pediatric institutions that have performed the highest number of hematopoietic stem cell transplantations in Japan. Nagoya University Hospital is the nation's designated Childhood Cancer Hub Hospital and is the high-rated among the 15 selected facilities nationwide. For neonates, we focus on neonatal surgical diseases such as congenital diaphragmatic hernia. For patients with intractable epilepsy, we utilize simultaneous video-EEG recording and high-resolution MRI analysis to aid diagnosis. In Nagoya University Epilepsy Center we provide comprehensive medical care for children with epilepsy in collaboration with the Department of Neurology, Neurosurgery and Psychiatry.

## Clinical Results

In 2022, we provided medical care to 60 new patients with hematologic and neoplastic disease and performed 42 hematopoietic stem cell transplants. Annually, we treat 131 new patients and about 1,000 outpatients with neurological disorders such as epilepsy. In 2021, 338 neonatal inpatients were received into the NICU and 14 patients with congenital diaphragmatic hernia.

## Specialized Outpatient Clinic

We provide outpatient medical care in pediatric blood and tumor, pediatric neurologic, congenital immunodeficiency, neonatal, virus, pediatric cardiovascular, pediatric endocrine, genetic and hematology and oncology long-term follow up disease outpatient clinics.

## Advanced Medicine and Research

We are involved in clinical research in the following areas: overcoming complications associated with clinical study of immune cell therapy for relapsed / refractory childhood leukemia and cancer, research of mesenchymal stem cell electroencephalographic monitoring in neonatal epilepsy, brain hypothermia therapy for neonatal encephalopathy, the identification of epileptic seizure focus by PET and high magnetic field MRI, and Phase III clinical trial of antiviral therapy in infants with congenital cytomegalovirus diseases.



## 皮膚科 Dermatology

科長 秋山 真志 (教授)  
Director AKIYAMA, Masashi (Professor)

## | 皮膚に関する問題はすべてが守備範囲

皮膚に現れた症状や変化はすべて皮膚科医の守備範囲です。たとえそれが全身性疾患により発症したものであっても、皮膚に関しては当科が治療にあっています。



## | All skin problems are within our field

All the symptoms and changes on the skin fall within the domain of dermatologists. Even if such symptoms or changes are the result of systemic diseases, our department will treat them as long as they are on the skin.

## 診療体制

一般外来:月～金曜日。皮膚腫瘍外来:月午後、火、水、金曜日。膠原病外来:月、木曜日。魚鱗癬・遺伝性角化異常症外来:水曜日。炎症性角化症・膿疱性乾癬外来:火曜日。(いずれも初診)

## 対象疾患

皮膚癌(悪性黒色腫、有棘細胞癌、乳房外Paget病、血管肉腫など)、膠原病(エリテマトーデス、皮膚筋炎、強皮症、シェーグレン症候群など)、遺伝性皮膚疾患(角化異常症・魚鱗癬、表皮水疱症)、炎症性角化症(膿疱性乾癬など)、アトピー性皮膚炎、じんま疹、その他皮膚疾患一般。

## 得意分野

皮膚癌の診断と手術、抗がん剤や免疫チェックポイント阻害薬などの全身治療、集学的治療。治験治療、がん遺伝子パネル検査を用いた個別化医療、先進医療。膠原病の診断と治療。遺伝性皮膚疾患の遺伝子診断。アトピー性皮膚炎の発症因子(フィラグリン遺伝子変異)や膿疱性乾癬の発症因子(IL36RN遺伝子変異)の検索。

## 診療実績

皮膚腫瘍の手術件数は年間350件程度。抗がん剤治療は30名以上が通院中。がん遺伝子パネル検査は累計20症例以上。エリテマトーデス、皮膚筋炎、強皮症などの膠原病患者が200名以上通院中。難治性遺伝性皮膚疾患の遺伝子診断は累積300例。

## 専門外来

皮膚腫瘍、膠原病、魚鱗癬・遺伝性角化異常症外来、炎症性角化症・膿疱性乾癬、皮膚科一般。

## 先進医療・研究

皮膚悪性腫瘍のがん遺伝子パネル検査を用いた先進医療や、多施設共同の治験。フィラグリン遺伝子変異の検索によるアトピー性皮膚炎のテーラード医療。さまざまな自己抗体の膠原病発症に果たす役割の研究や、診断用自己抗体の測定キットの開発。難治性遺伝性皮膚疾患(魚鱗癬、炎症性角化症・膿疱性乾癬、表皮水疱症)の遺伝子診断、出生前診断。

## Medical Care System

General outpatient clinic: Monday through Friday  
Skin tumor outpatient clinic: Monday afternoon, Tuesday, Wednesday, and Friday  
Collagen disorder outpatient clinic: Monday and Thursday  
Outpatient clinic for ichthyosis and inherited dyskeratosis: Wednesday  
Inflammatory keratosis and generalized pustular psoriasis outpatient clinic: Tuesday (All these indications are for the first visit.)

## Target Diseases

Skin cancers (e.g., malignant melanoma, squamous cell carcinoma, extramammary Paget's disease, angiosarcoma), collagen disorders (e.g., lupus erythematosus, dermatomyositis, scleroderma, Sjogren's syndrome), genetic skin diseases (e.g., dyskeratosis, ichthyosis, epidermolysis bullosa), inflammatory keratosis (e.g., generalized pustular psoriasis), atopic dermatitis, urticaria, and other skin diseases.

## Strong Fields

Diagnosis and treatment of skin cancers (systemic and multidisciplinary treatments including chemotherapy and immune checkpoint inhibitors, clinical trials, personalized medicine using cancer multi-gene panel testing, and advanced medical care), diagnosis and treatment of collagen disorders, genetic testing of a variety of genetic skin diseases, and detection of pathogenic factors of atopic dermatitis (filaggrin gene mutations), pustular psoriasis (IL36RN gene mutation).

## Clinical Results

We operate on 350 skin tumor cases per year. More than 30 patients are currently undergoing chemotherapy treatment on an outpatient basis. Cancer multi-gene panel testing has been performed on more than 20 cases so far. The cumulative number of cases that have undergone sentinel lymph node biopsy is 200. Currently, the department has more than 200 outpatients affected with collagen disorders, such as lupus erythematosus, dermatomyositis and scleroderma. The cumulative number of genetic tests conducted on patients with intractable genetic skin diseases is 300.

## Specialized Outpatient Clinic

Skin tumor, collagen disorder, ichthyosis and inherited dyskeratosis, inflammatory keratosis and generalized pustular psoriasis, and general dermatology.

## Advanced Medicine and Research

Advanced medical treatment using cancer multi-gene panel testing for skin cancers, and multi-center clinical trials; tailor-made care of atopic dermatitis by detection of filaggrin gene mutations; research on the roles of various autoantibodies in the onset of collagen disorders; development of assay kits for diagnostic autoantibodies; and genetic testing and prenatal diagnosis for intractable genetic skin diseases, such as ichthyosis, inflammatory keratosis and generalized pustular psoriasis, epidermolysis bullosa.

## 泌尿器科 Urology

科長 赤松 秀輔 (教授)  
Director AKAMATSU, Shusuke (Professor)| 幅広い症例に対応する  
豊富な実績と専門性

尿路性器(腎、尿管、膀胱、尿道、前立腺、陰茎、精巣)疾患の診療を、診断から治療まで包括的に実施しています。



## | Extensive achievements and expertise to treat patients with various diseases

We provide comprehensive medical care including diagnosis and treatment of urogenital (kidney, ureter, bladder, urethra, prostate, penis, and testis) disease.

## 診療体制

教授、准教授、講師(2名)、助教(6名)、医員(7名)にて診療を実施しています。外来は月曜日から金曜日の毎日。手術日は月、火、木、金曜日の週4日行っています。

## 対象疾患

当科領域の良性・悪性腫瘍、先天奇形、機能的・器質的疾患全般、女性泌尿器科領域疾患(骨盤臓器脱)、排尿障害(神経因性膀胱、前立腺肥大症、尿失禁)、性同一性障害・男性不妊症を含めた性生殖疾患、尿路結石。

## 得意分野

尿路性器癌(腎癌、前立腺癌など)の腹腔鏡手術・ロボット手術、前立腺癌小線源治療、骨盤臓器脱・腹圧性尿失禁の手術治療、腎移植、神経因性膀胱・前立腺肥大症・尿失禁などの排尿障害診療、尿路結石、癌化学療法。

## 診療実績

1日外来患者数120～130名、1日平均入院患者数30名、年間手術件数約600件、うち腹腔鏡下手術29件(腎悪性腫瘍手術29件)、腎移植15件、年間小線源治療(前立腺癌)13件。ロボット支援手術では、ロボット支援前立腺全摘除術84件、ロボット支援腎部分切除術60件、ロボット支援膀胱全摘除12件。ロボット支援手術 計156件。

## 専門外来

当科一般外来に加え、腎移植、尿失禁・排尿障害、前立腺癌に対して専門外来を実施しています。

## 先進医療・研究

精巣癌に対する腹腔鏡下後腹膜リンパ節郭清術を先進医療として実施しています。

## Medical Care System

One professor, one associate professor, two lecturers, six assistant professors, and seven doctors provide medical care. Outpatient days are Monday through Friday. Surgery days are Monday, Tuesday, Thursday, and Friday.

## Target Diseases

Benign and malignant tumors within the scope of our department, congenital malformation, all functional and organic diseases, diseases in the field of female urology (pelvic organ prolapse), urinary disturbances (neurogenic bladder, prostatic hyperplasia, and urinary incontinence), sexual and reproductive diseases including gender identity disorder and male infertility, and urinary calculus.

## Strong Fields

Laparoscopic surgery and robotic surgery for urogenital cancer (e.g. renal cancer, prostate cancer), brachytherapy for prostate cancer, surgical treatment of pelvic organ prolapse and stress urinary incontinence, renal transplantation, medical care for urinary disturbances including neurogenic bladder, prostatic hyperplasia, and urinary incontinence, urinary calculus, and cancer chemotherapy.

## Clinical Results

The daily number of outpatients is 120 to 130; the daily average number of inpatients is 30; the annual number of surgeries is about 600 (of those, 29 are laparoscopic surgeries [surgery for renal cancer: 29]), the annual number of renal transplantations is 15; the annual number of brachytherapy procedures (for prostate cancer) is 13. Robot-assisted surgery included 84 radical prostatectomy, 60 partial nephrectomy and 12 radical cystectomy. Robot-assisted surgery 156 at our hospital.

## Specialized Outpatient Clinic

In addition to medical care in the general outpatient clinic, we provide medical care in the specialized outpatient clinics for renal transplantation, urinary incontinence, impaired urination, and prostate cancer.

## Advanced Medicine and Research

For advanced medicine, we perform laparoscopic retroperitoneal lymph node dissection for testicular cancer.

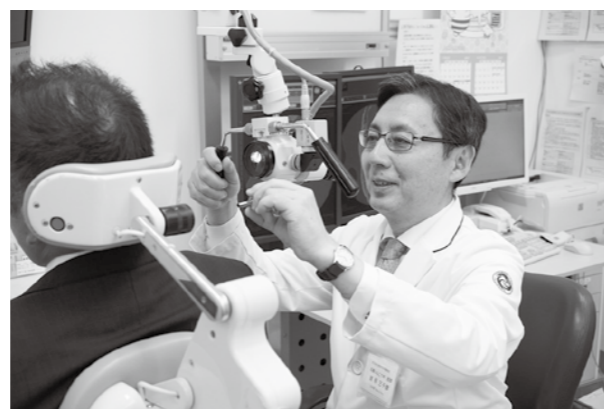
## 耳鼻いんこう科 Otorhinolaryngology

科長 曾根 三千彦 (教授)  
Director SONE, Michihiko (Professor)①-1 身近な症例にも専門性の高い  
先進的治療

当科は五感のうち聴覚、嗅覚、味覚、触覚を担当し、発声と聞き取りのコミュニケーションに関与しています。

## ①-2 We perform advanced treatment based on a high level of expertise even for common diseases

Of the five senses, our department deals with hearing, smell, taste, and touch and is involved in communication by vocalization and hearing.



## 診療体制

病棟はAグループ(耳手術、副鼻腔内視鏡手術、突発性難聴、メニエール病などの内耳疾患、炎症性疾患など担当)とBグループ(頭頸部腫瘍など担当)の2グループ制の診療体制をとっています。

## 対象疾患

耳、鼻、のどの腫瘍、炎症、奇形、外傷にかかわる疾患や、嚥下障害、頭蓋底腫瘍とも深くかかわっています。耳性めまいも守備範囲であり、めまいの鑑別に関与します。補聴器適合も行っています。

## 得意分野

難聴の鑑別診断(特に3テスラMRIを用いた画像診断による内外リンパ腔サイズや血液迷路関門の把握)と鼓室内薬剤投与による内耳疾患の治療を行っています。

頭頸部癌における機能温存を目指した治療を得意とします。

## 診療実績

突発性難聴、前庭水管拡大症など内耳疾患における診療実績は多数の論文業績に記されています。機能温存を目指した頭頸部腫瘍の治療や睡眠時無呼吸治療についても種々の観点からのデータを基に業績を挙げています。

## 専門外来

腫瘍外来、エコー外来、突発性難聴外来、鼻外来、めまい外来、補聴器外来、デカ注外来(内耳疾患に対する鼓室内デキサメサゾン注入)など専門外来を設けています。

## 先進医療・研究

3テスラMRIを用いた内耳画像検査、耳手術時の血流の測定、ナビゲーション手術、音声変換技術を用いた音声の再獲得の取り組みなど先進的治療を行っています。

## Medical Care System

Our inpatient department consists of Group A (in charge of endoscopic paranasal sinus surgery, ear surgery, inflammatory disease, inner ear disease including sudden deafness and Meniere's disease, etc.) and Group B (in charge of head and neck tumor, dysphagia, etc.).

## Target Diseases

We are deeply involved in diseases related to tumors, inflammation, malformation, and injury of ear, nose, and throat, dysphagia, and skull base tumors. Otologic vertigo is also within our field, and we are involved in the differentiation of vertigo. We also perform hearing aid fittings.

## Strong Fields

We perform differential diagnosis of deafness (especially, measurement of endolymphatic and perilymphatic space sizes and identification of the blood-labyrinth barrier by diagnostic imaging using three-Tesla MRI) and treatment of inner ear disease with intratympanic medication. We have confidence in performing treatment of head and neck cancer aiming at functional preservation.

## Clinical Results

Our clinical results of inner ear disease such as sudden deafness and large vestibular aqueduct syndrome are published in many journals. For treatment of head and neck tumors aiming at functional preservation and treatment of sleep apnea as well, we make achievements examining data from various viewpoints.

## Specialized Outpatient Clinic

We provide medical care in specialized outpatient clinics including: tumor outpatient clinic, ultrasonography outpatient clinic, sudden deafness outpatient clinic, nose outpatient clinic, dizziness outpatient clinic, hearing aid outpatient clinic, and dexamethasone infusion outpatient clinic (intratympanic dexamethasone infusion for inner ear disease).

## Advanced Medicine and Research

We perform advanced treatment such as imaging study of the inner ear using three-Tesla MRI, measurement of blood flow during ear surgery, endoscopic sinus surgery with navigation, and voice restoration using a voice conversion system. We will make an application for approval of inner ear MRI after intratympanic gadolinium administration as advanced medicine.

## 放射線科 Radiology

科長 長縄 慎二 (教授)  
Director NAGANAWA, Shinji (Professor)あらゆる疾患を対象とし  
豊富な実績を誇る

さまざまな画像診断、放射線診断技術に応用した低侵襲治療(IVR)、癌に対する放射線治療を担当しています。

## ①-2 Our department provides medical imaging and radiation therapy for various diseases

We are responsible for diagnostic imaging, interventional radiology (IVR) and radiation therapy for cancer.



## 診療体制

画像診断グループと放射線治療グループにわかれています。画像診断グループには、CT、MRI、IVR、超音波、アイソトープを担当する医師が所属しており、それぞれの専門医が検査を施行し、画像診断報告書を作成しています。

## 対象疾患

CT、MRI、核医学、IVRは炎症、腫瘍、先天異常など、全身のあらゆる疾患が対象となります。超音波は当院では乳腺疾患が中心です。放射線治療は悪性腫瘍(がん)や一部の良性疾患(ケロイド、甲状腺眼症など)が対象となります。

## 得意分野

中枢神経や内耳疾患のMRI診断、胆道・膵臓のCT診断、胸部画像診断、PET診断(メチオニンなどを含む)、甲状腺癌・甲状腺機能亢進症に対するヨード内用療法、内臓動脈瘤の血管内治療、乳腺画像診断、高精度放射線治療。

## 診療実績

当施設では年間約55,000件のCT検査、19,000件のMRI検査、4,100件の超音波検査(乳腺・甲状腺)、4,600件のRI/PET検査、700件のIVR(放射線実施分)を行っています。

放射線治療は年間約850人に行っています。

## 専門外来

IVRの外来を月・水・金曜日午前、甲状腺癌に対するヨード内用療法の外来を火・金曜日午前、甲状腺機能亢進症に対するヨード内用療法の外来を木曜日午後開設しています。放射線治療は毎日、専門医による外来があります。

## 先進医療・研究

内耳の高分解能MRI、仮想気管支鏡、FDG以外の核種によるPET、乳腺非触知病変における超音波検査。定位照射や強度変調放射線治療(IMRT)

## Medical Care System

Our department consists of the diagnostic imaging group and the radiation therapy group. In the diagnostic imaging group, each specialist interprets radiological images CT, MRI, angiography, ultrasonography, and radioisotope (RI) examination and prepares diagnostic reports. In the radiation therapy group, each specialist plans and performs irradiation mainly for malignant tumors.

## Target Diseases

CT, MRI, RI (including PET), and IVR are performed for various diseases of the entire body such as inflammation, tumor, and congenital anomaly. In our hospital, ultrasonography is performed mainly for breast and thyroid disease. Radiation therapy is performed for many malignant tumors and a few benign diseases.

## Strong Fields

MRI diagnosis of central nerve system and inner ear diseases, CT diagnosis of biliary tract and pancreas, diagnostic imaging of the breast, PET diagnosis (including methionine), radioiodine therapy for thyroid cancer and hyperthyroidism, endovascular therapy of visceral artery aneurysm, diagnostic imaging of mammary glands, and high-precision radiation therapy.

## Clinical Results

The approximate numbers of diagnostic imaging testing performed per year are as follows: CT: 55,000; MRI: 19,000; Ultrasonography: 4,100; RI/PET: 4,600; and Interventional procedures (conducted by radiologists): 700. We performed radiotherapy for about 850 patients per year.

## Specialized Outpatient Clinic

We provide medical care in the IVR outpatient clinic on Monday, Wednesday, and Friday morning, the outpatient clinic of radioiodine therapy for thyroid cancer on Tuesday and Friday morning, and the outpatient clinic of radioiodine therapy for hyperthyroidism on Thursday afternoon. Radiation therapy is performed by specialists every day in the outpatient clinic.

## Advanced Medicine and Research

High-resolution MRI of the inner ear, virtual bronchoscopy, PET using nuclides other than FDG, ultrasonography for nonpalpable mammary gland lesions, stereotactic lung irradiation, and prostate cancer IMRT.



## 麻酔科 Anesthesiology

科長 西脇 公俊 (教授)  
Director NISHIWAKI, Kimitoshi (Professor)手術麻酔、外科系集中治療のみならず  
疼痛治療も充実

手術麻酔、周術期全身管理と慢性疼痛を中心としたペインクリニック診療を行っています。

Extensive pain treatment as well as surgical  
anesthesia and surgical intensive care

We perform surgical anesthesia and perioperative systemic management and provide medical care in the pain clinic mainly targeting chronic pain.



## 診療体制

手術・検査時の全身麻酔、硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔を休日・時間外も含めて全例行っています。ペインクリニックは月・水・金曜日の外来と入院診療を行っています。外科系集中治療部の管理運営も主体となって行っており、総勢48名のスタッフで診療にあたっています。

## 対象疾患

手術麻酔は、それを必要とする疾患すべてが対象となります。ペインクリニックは、帯状疱疹後神経痛、CRPS、三叉神経痛などの慢性疼痛を中心に疼痛のある疾患全般を対象としています。外科系集中治療部門では主に周術期の重症患者の全身管理を行っています。

## 得意分野

手術麻酔・ペインクリニックともに、超音波ガイド下末梢神経ブロックを積極的に取り入れています。ペインクリニックでは、脊髄電気刺激療法、高周波熱凝固法による神経ブロック、各種神経ブロックを行っています。

## 診療実績

麻酔科管理の手術麻酔は2022年度で6,293例を行っています。ペインクリニックは外来約30人/日・入院2床で診療を行っています。

## 専門外来

専門外来として疼痛治療を行っています。術前診察も行っていきます。

## 先進医療・研究

神経原性肺水腫、麻酔薬の血管内皮細胞に対する影響、心拍変動、超音波ガイド下末梢神経ブロック、術後鎮痛に関する臨床研究などを行っています。

## Medical Care System

The department consists of 48 members. We provide general anesthesia, epidural anesthesia, and spinal anesthesia for all patients undergoing surgery or examinations for 24 hours. The pain clinic is open for outpatients on Mondays, Wednesdays, and Fridays and the clinic also provides inpatient medical care. We also play an active role in the management of the Surgical Intensive Care Unit.

## Target Diseases

Surgical anesthesia is provided for all diseases that require it. The pain clinic treats patients with all diseases with pain, mainly chronic pain, such as postherpetic neuralgia, CRPS, and trigeminal neuralgia. The surgical intensive care unit provides systemic management of severely ill patients, mainly during the perioperative period.

## Strong Fields

We actively perform peripheral nerve block under ultrasonographic guidance both in surgical anesthesia and in the pain clinic. In the pain clinic, we perform spinal cord electric stimulation therapy, nerve block using high-frequency thermocoagulation, and various other nerve blocks.

## Clinical Results

The number of cases where this department was in charge of the surgical anesthesia was 6,293 in fiscal year 2022. The pain clinic treated 30 outpatients a day and two inpatients at one time.

## Specialized Outpatient Clinic

We provide pain treatment at a dedicated outpatient clinic as well as preoperative patient assessment.

## Advanced Medicine and Research

We conduct many research such as neurogenic pulmonary edema, the effect of anesthetics on vascular endothelial cells, heart rate variability, and postoperative pain control with peripheral nerve block under ultrasonographic guidance.

## 歯科口腔外科 Oral and Maxillofacial Surgery

科長 日比 英晴 (教授)  
Director HIBI, Hideharu (Professor)再生医療の研究や  
インプラント治療などの先端医療も

再生医療をはじめ先端医療の歯科臨床への応用に取り組んでいます。また、口腔外科疾患全般に対応しています。

Research on regenerative medicine and advanced  
medicine such as implant treatments

We address the application of advanced medicine including regenerative medicine in dental practice. We accept patients with all oral diseases.



## 診療体制

初診・再診ともに平日は毎日診察しています。初診受付は午前11時までです。診察は基本的に予約制となっています。

## 対象疾患

歯槽骨萎縮・欠損、口腔腫瘍(歯肉癌、舌癌など)、口唇口蓋裂、顎変形症(下顎前突症、小下顎症など)、顎関節症、嚢胞性疾患、顎顔面領域の外傷、埋伏歯、全身管理を要する歯科治療、その他(顎骨周囲炎など)を対象としています。

## 得意分野

歯槽骨萎縮・欠損に対する骨再生治療、歯の喪失に対するインプラント治療、顎変形症に対する顎骨形成術、口腔癌に対する集学的治療です。

## 診療実績

骨造成術、インプラント埋入術、顎変形症手術、口唇口蓋裂手術、良性腫瘍、悪性腫瘍、外傷の実績があります。

## 専門外来

月・火曜日の午後は埋伏歯抜歯などの口腔外科小手術、木曜日午後はインプラント外来を設けています。なお、午前中は各歯科医師がそれぞれの専門分野に応じて診察しています。

## 先進医療・研究

骨髄幹細胞を用いた骨造成術をはじめとする再生医療の研究を積極的に進めています。

## Medical Care System

Both new patients and revisit patients are accepted on weekdays. New patients are accepted until 11:00 a.m. Consultation with a dentist basically requires a prior appointment.

## Target Diseases

Atrophy and defect of the alveolar bone, oral neoplasia (e.g. gingival cancer, tongue cancer), cleft lip and palate, jaw deformity (e.g. mandibular prognathism, microgenia), temporomandibular disorders, cystic disease, injury of the maxillofacial area, impacted tooth, dental treatment requiring systemic management, and other diseases (e.g. perimaxillary inflammation).

## Strong Fields

Bone regenerative treatment for atrophy and defects of the alveolar bone, implant treatment for loss of teeth, mandibuloplasty for jaw deformity, and multimodality therapy for oral cancer.

## Clinical Results

Osteoplasty, implant placement, surgery for jaw deformity, cleft lip and palate surgery, benign tumor, malignant tumor, and trauma.

## Specialized Outpatient Clinic

Minor oral surgeries such as impacted tooth extraction are conducted on Monday and Tuesday afternoons. Implant outpatients are accepted on Thursday afternoons. Dentists provide medical care related to his/her specialized field in the morning.

## Advanced Medicine and Research

Research on regenerative medicine such as osteoplasty using bone marrow stem cells has been actively conducted.

## 脳神経外科 Neurosurgery

科長 齋藤 竜太 (教授)  
Director SAITO, Ryuta (Professor)進化型手術室“Brain Theater”を擁し、  
超難度の手術に挑む

当教室の歴史は古く、日本脳神経外科学会の創設者・齋藤眞教授より始まりま  
した。その後、常に脳神経外科の先駆的開発に挑戦し続けています。

Equipped with an advanced operating room, Brain  
Theater, and performing complex surgery

Our department has a long history; it was established by Professor Makoto  
Saito, the founder of the Japan Neurosurgical Society. Since then, our depart-  
ment has always been challenging the pioneering development of neurosurgery.



## 診療体制

東海地区に多数の関連施設を擁し、脳神経外科領域の各種疾患に対して適切  
な、最新の治療を提供できる体制を構築しております。手術室には、術中MRI、  
内視鏡・外視鏡システム、手術ナビゲーションシステム、ロボット手術機器など  
最新鋭の機器を備え、万全の体制で治療にあたります。他科との連携も良く、  
小児科、放射線科、脳神経内科、内分泌内科など多くの科と連携しつつ、集学  
的な医療提供が可能となっています。また、最新鋭の脳外科手術機器の開発、  
産学連携による新規治療法の確立による治療成績の向上に努めています。

## 対象疾患

良性・悪性脳腫瘍、頭蓋底腫瘍、小児脳腫瘍、脳血管障害、てんかん等の脳  
機能障害、難治性疼痛、脊髄・脊髄疾患等、脳神経外科領域の疾患全般を対  
象としています。

## 得意分野

成人および小児脳腫瘍の高精度画像誘導ナビゲーション手術、術中MRI併  
用手術、脳卒中疾患の高度血管内手術および血管外科直達手術、神経内視  
鏡による下垂体腫瘍手術および脳室内手術、機能的脳外科によるパーキン  
ソン病・本態性振戦定位脳手術、難治性疼痛・てんかん手術、低侵襲脊髄脊  
椎手術、脊髄腫瘍に対する集学的治療、核酸医療等の先進医療開発。

## 診療実績

年間の手術数は544件。関連病院(54施設)を含めると12,987件。関連病院  
を含めた入院患者疾患別では、腫瘍3,010例、動脈瘤1,982例、脳出血  
3,153例、脳梗塞3,298例、頭部外傷5,298例、脊髄脊髄疾患3,177例、機能  
的脳外科疾患1,168例、その他疾患948例、総計23,363例(2021年実績)。

## 専門外来

脳腫瘍、遺伝子・再生医療・細胞療法、血管内手術、機能・てんかん外科、下  
垂体・内視鏡手術、脊髄・脊髄、末梢神経、脳卒中。

## 先進医療・研究

当科は生命科学・医用工学の進歩を取り入れ、本邦初の脳腫瘍遺伝子治療  
を実施。細胞・脳・脊髄の再生医療や、脳血管内治療の開拓に尽力するとと  
もに、コンピュータ・画像診断の新技術を導入し精巧な手術法を開発してい  
ます。術中MRIやアジア初の導入された高精度ナビゲーションロボ  
「NeuroMate」を駆使した進化型手術室(Brain Theater)を擁立しています。  
脳腫瘍に対する各種治療・共同研究、脳血管内治療に関する各種治療・共同  
研究等にも取り組んでいます。

## Medical Care System

With many associated hospitals in the Tokai area, we have built a system  
that can provide the latest and appropriate treatment for various diseases in  
the neurosurgery field. The operating room is equipped with state-of-the-art  
equipment such as intraoperative MRI, endoscope/exoscope system, surgi-  
cal navigation system, robotic surgical equipment, etc., and provides safe  
and optimal treatment. Cooperating with many other departments such as  
pediatrics, radiology, neurology, and endocrinology, etc., we provide multi-  
disciplinary medical care.

## Target Diseases

We target all neurosurgical diseases, including benign/malignant brain  
tumors, skull base tumors, pediatric brain tumors, cerebrovascular disorders,  
brain dysfunction such as epilepsy, intractable pain, and spine/spinal cord  
diseases.

## Strong Fields

High-precision image-guided navigation surgery for adult and pediatric brain  
tumors, intraoperative MRI combined surgery, advanced endovascular  
surgery and direct vascular surgery for stroke, neuroendoscopic pituitary  
tumor surgery and intraventricular surgery, functional neurosurgery for  
Parkinson's disease, stereotaxic neurosurgery for essential tremor, intracta-  
ble pain/epilepsy surgery, minimally invasive spinal cord surgery, multidisci-  
plinary treatment for spinal tumors. Advanced medical development such as  
nucleic acid medicine.

## Clinical Results

The annual number of surgeries was 544; the number amounts to 12,987 if  
surgeries performed in affiliated hospitals (54 facilities) were included. The  
breakdown of a total of 23,363 inpatients according to diseases, including  
inpatients in affiliated hospitals, was as follows: 3,010 patients with a tumor,  
1,982 patients with aneurysms, 3,153 patients with cerebral hemorrhage,  
3,298 patients with cerebral infarction, 5,298 patients with head trauma,  
3,177 patients with spinal disease, 1,168 patients with functional neurosurgi-  
cal disease, and 948 patients with other disease (results in 2021).

## Specialized Outpatient Clinic

Brain tumor; genetic, regenerative, and cell therapies; endovascular surgery;  
functional and epilepsy surgery; pituitary gland and endoscopic surgery;  
spinal cord and spine; peripheral nerve; stroke and, pediatric neurosurgery.

## Advanced Medicine and Research

Our department has adopted advancement in life science and medical engi-  
neering and performed the first gene therapy for brain tumor in Japan. In  
addition to making efforts to develop cellular and regenerative medicine for  
brain, spinal cord and cerebro-endovascular treatment, we introduce new  
technologies in computer and diagnostic imaging to establish sophisticated  
surgical methods. Our department is equipped with an advanced operating  
room (Brain Theater), which fully uses intraoperative MRI and the high-accu-  
racy navigation robot "Neuro Mate," which was introduced for the first time  
in Asia. We are also engaged in various clinical trials and joint research on  
brain tumors and on cerebrovascular treatment.

## 老年内科 Geriatrics

科長 梅垣 宏行 (教授)  
Director UMEGAKI, Hiroyuki (Professor)複数の慢性疾患を抱えた高齢者を  
総合的に診療

高齢の患者さん、特に内科的な多臓器疾患を持つ方を対象とし、総合的な  
診療を行っています。

## Comprehensive medical care for elderly people

Our department provides comprehensive medical care to elderly patients,  
especially to those with multiple medical conditions.



## 診療体制

高齢の患者さんを包括的に診療しています。外来は毎日2診～3診で対応し  
ています。毎日、初診も受け付けていますが、事前に病診連携システムを使  
用して予約をしないと診察時間が遅くなる可能性があります。

## 対象疾患

- 1) いくつかの症状や病気が重なって、総合的な評価、治療
- 2) 認知症の診断、評価、治療計画
- 3) 高齢者の生活習慣病に対する総合的な診療
- 4) 転倒しやすい、日常生活動作(ADL)の低下、栄養障害、誤嚥しやすい、  
など老年症候群、フレイル(虚弱)に対する総合的な評価、治療

## 得意分野

多数の慢性疾患を抱えた高齢者を総合的に診療することを専門としていま  
す。

## 診療実績

2020年度外来延べ患者数:5,024人  
2020年度入院延べ患者数:4,737人  
2020年度病床数:17床  
2020年度平均在院日数:23.3日

## 専門外来

もの忘れに関する外来は、月～金曜日まで毎日初診を受け付けています。

## Medical Care System

Our department provides comprehensive medical care to elderly people.  
Two or three outpatient specialists provide medical care to patients  
every day. We accept first-visit patients every day. We recommend you  
to make a prior appointment using the hospital-clinic cooperation  
system.

## Target Diseases

- 1) Comprehensive evaluation and treatment of multiple coexisting symp-  
toms and diseases
- 2) Diagnosis, evaluation, and treatment regimen for dementia
- 3) Comprehensive medical care for lifestyle-related diseases in elderly  
people
- 4) Comprehensive evaluation and treatment of geriatric syndrome and  
frailty including tendency to fall, decreased activities of daily living  
(ADL), malnutrition, and tendency of aspiration

## Strong Fields

Our department specializes in providing comprehensive medical care to  
elderly people with multiple chronic medical conditions.

## Clinical Results

The total number of outpatients in fiscal year 2020: 5,024 outpatients  
The total number of inpatients in fiscal year 2020: 4,737 inpatients  
The number of beds in fiscal year 2020: 17 beds  
The average length of stay in fiscal year 2020: 23.3 days

## Specialized Outpatient Clinic

At our outpatient clinic for those presenting forgetfulness, we accept  
first-visit patients from Monday through Friday.



## 脳神経内科 Neurology

科長 勝野 雅央 (教授)  
Director KATSUNO, Masahisa (Professor)①-1 超高齢社会に即し、  
多数の専門医が柔軟に対応

超高齢社会で増加が予想される神経変性疾患や認知症、三大死因の1つ脳卒中の診断と治療を行います。

## A large number of specialists flexibly provide medical care in response to the aging society

We perform activities such as diagnosis and treatment of neurodegenerative diseases and dementia, which will increase in the aging society, and stroke, which is one of the three major causes of death.



## 診療体制

40名を超える神経内科専門医が在籍し、通常外来、専門外来、入院診療を行っています。最先端の画像装置、豊富な実績を持つ各種生検や電気生理技術などを駆使することで正確な診断とより良い治療を行います。

## 対象疾患

アルツハイマー病、認知症、パーキンソン病、パーキンソン症候群、筋萎縮性側索硬化症、球脊髄性筋萎縮症、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、ギラン・バレー症候群、重症筋無力症、多発性筋炎、脳卒中、てんかん、頭痛、めまい、しびれなど。

## 得意分野

3テスラMRI、PET、SPECTを用いた認知症やパーキンソン病などの神経変性疾患の診断と治療。生検、電気生理検査、遺伝子検査を用いた末梢神経疾患、筋疾患、脊髄疾患、筋萎縮性側索硬化症などの診断と治療。

## 診療実績

年間外来患者数約22,000人、年間新患者数(当科疾患に限る)約1,000人、年間入院患者数約500人。

## 専門外来

球脊髄性筋萎縮症、筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病、認知症を対象とした専門外来をそれぞれ実施しています。また、セカンドオピニオン外来も行っていきます。

## 先進医療・研究

各種治療や臨床研究、運動ニューロン疾患、パーキンソン病、レビー小体型認知症などに対する全国多施設前向きコホート研究、各種難治性免疫性疾患に対する免疫グロブリン大量療法や血漿交換療法など。

## Medical Care System

More than 40 neurology specialists in our department provide medical care in the general and specialized outpatient clinic and inpatient medical care. We provide accurate diagnosis and better treatment by utilizing techniques, such as the most advanced imaging devices, and various biopsies and electrophysiological technologies in which we have made extensive achievements.

## Target Diseases

Alzheimer's disease, dementia, Parkinson's disease, Parkinsonism, amyotrophic lateral sclerosis, spinal and bulbar muscular atrophy, spinocerebellar degeneration, multiple sclerosis, Guillain-Barre syndrome, myasthenia gravis, polymyositis, stroke, epilepsy, headache, dizziness, and numbness, etc.

## Strong Fields

Diagnosis and treatment of neurodegenerative diseases such as dementia and Parkinson's disease using three-Tesla MRI, PET, and SPECT. Diagnosis and treatment of diseases such as peripheral nerve disease, muscular disease, spinal cord disease, and amyotrophic lateral sclerosis using biopsy, electrophysiological tests, and genetic testing.

## Clinical Results

The annual number of outpatients: about 22,000; the annual number of new patients (only those with neurological disease): about 1,000; the annual number of inpatients: about 500.

## Specialized Outpatient Clinic

We provide medical care in specialized outpatient clinics for spinal and bulbar muscular atrophy, amyotrophic lateral sclerosis, Parkinson's disease, and dementia. In addition, we are actively involved in the second opinion outpatient clinic.

## Advanced Medicine and Research

Several clinical trials and clinical research, multi-center prospective cohort studies of patients with neurological disorders such as motor neuron diseases, Parkinson's disease, and dementia with Lewy bodies, high-dose immunoglobulin therapy and plasma exchange therapy for various intractable immunologic diseases, etc.

## 呼吸器外科 Thoracic Surgery

科長 芳川 豊史 (教授)  
Director YOSHIKAWA, Toyofumi (Professor)①-1 進行がんに対する積極的治療と  
早期がんに対する低侵襲治療の優れた成績

胸部の悪性腫瘍(肺癌、胸腺腫、胸膜中皮腫など)や良性疾患(気胸、炎症性肺疾患など)に対する外科的治療を専門に行う診療科です。

## Excellent achievements in aggressive treatments for advanced disease and minimally invasive surgery for early-stage malignancy

Our department specializes in surgical treatment of thoracic diseases such as malignant tumors (e.g. lung cancer, thymoma, malignant pleural mesothelioma, etc.), benign tumors and benign diseases (e.g. spontaneous pneumothorax, inflammatory lung diseases, etc.).



## 診療体制

常勤医師14名(うち呼吸器外科専門医7名)。毎日外来診察しています(月・水は午後のみ)。治療方針は、呼吸器外科のみではなく、呼吸器内科および放射線科との合同カンファレンスで検討し決定します。

## 対象疾患

原発性肺癌、転移性肺腫瘍、胸腺腫、悪性胸膜中皮腫などの胸部悪性腫瘍、および胸部の良性腫瘍、重症筋無力症(胸腺切除を行います)、炎症性肺疾患、膿胸、気胸、胸部外傷、肺の先天奇形などの非腫瘍性疾患、慢性呼吸不全(肺移植)。

## 得意分野

内視鏡(胸腔鏡)手術から局所進行の肺癌や胸腺腫瘍および悪性胸膜中皮腫、専門的な周術期管理を要する重症の併存疾患(慢性閉塞性肺疾患、心疾患、糖尿病、人工透析など)を有する患者さんの手術。

## 診療実績

2022年の総手術件数は461件で、内訳は肺癌289例、縦隔腫瘍35例、転移性肺腫瘍53例、悪性胸膜中皮腫7例、その他77例でした。ロボット支援手術(RATS)は、161例に行い、日本有数の施設の1つです。2005年~2016年の肺癌手術症例(計2,478例)の全5年生存率は75.5%で、病理病期ではそれぞれIA期88%、IB期79%、IIA期58%、IIB期65%、IIIA期57%です。

## 専門外来

当科の特徴として肺癌、進行浸潤性胸腺腫、悪性胸膜中皮腫に対して極めて豊富な治療経験を有しています。セカンドオピニオン目的の受診も十分可能です。肺移植適応患者の相談なども可能です。

## 先進医療・研究

新たなエビデンス構築のために様々な基礎的研究や臨床試験を行っています。胸腺腫と悪性胸膜中皮腫の分子腫瘍学的特性を解明するため、細胞株の樹立を行っております。手術シミュレーションの臨床応用に向けた研究も行っております。また、術後補助化学療法や早期肺癌に対する縮小手術の多施設共同研究を進め、ロボット支援手術(RATS)についても、肺癌や胸腺腫に対し積極的に行っています。2023年3月に肺移植実施施設となりました。

## Medical Care System

Our department is consisted with fourteen full-time doctors including certified seven thoracic surgeons. We accept out patients for the first consultation every day. Treatment plans for the patient are discussed and determined at the joint conference of the departments of Thoracic Surgery, Respiriology, and Radiology.

## Target Diseases

Main target diseases are thoracic malignant tumors such as primary lung cancer, metastatic lung tumor, thymoma and malignant pleural mesothelioma. Non-neoplastic benign diseases such as myasthenia gravis requiring thymectomy, inflammatory lung diseases, empyema, pneumothorax, chest injury, and congenital pulmonary malformation are also our target diseases. Chronic respiratory failure requiring lung transplantation.

## Strong Fields

We have safely and successfully performed surgical treatment of patient with lung cancer, thymoma and malignant pleural mesothelioma, even in the locally advanced state. Patients with severe comorbidities (e.g. chronic obstructive pulmonary disease, heart disease, diabetes, dialysis, etc.) which require specialized perioperative management are also acceptable for surgical treatment in our department.

## Clinical Results

Total number of the patients with surgical treatment at our departments in 2022 was 461, which were 289 for lung cancer, 35 for mediastinal tumor, 53 for metastatic lung tumor, 7 for malignant pleural mesothelioma, 77 for other diseases. Robot assisted thoracic surgery (RATS) was performed in 161 patients. The 5-year survival in all resected lung cancer from 2005 to 2016 (n=2,478) was 75.5%. The 5-year survival rates according to pathological stage were 88% for I A, 79% for I B, 58% for II A, 65% for II B, 57% for III A, respectively.

## Specialized Outpatient Clinic

Our department is characterized by extensive experiences in treatment of lung cancer, advanced invasive thymoma and malignant pleural mesothelioma. We are always acceptable for patients seeking second opinion. We also accept consultations for patients who are eligible for lung transplantation.

## Advanced Medicine and Research

We conduct various basic research and clinical studies to establish new evidences. We have been culturing thymoma and malignant pleural mesothelioma and tried to establish the cell lines, in order to clarify their oncological characteristics. We conduct research on clinical application of surgical simulation. In addition, we have been conducting multi-institutional studies of postoperative adjuvant chemotherapy for locally advanced lung cancer and limited surgery for early lung cancer. We have also been vigorously applying robot assisted thoracic surgery (RATS), for lung cancer and thymoma. In March 2023, Nagoya University Hospital became one of the lung transplant centers in Japan.

## 心臓外科 Cardiac Surgery

科長 六鹿 雅登 (教授)  
Director MUTSUGA, Masato (Professor)24時間対応のチーム医療体制で  
心臓を守りきる

心臓弁膜疾患、虚血性心疾患などの後天性心疾患および胸部大動脈瘤などの心臓大血管手術を年間約300例行っています。

We protect your heart with our 24-hour-available  
team medical care system

We annually perform about 300 surgeries for acquired heart disease and thoracic aortic disease.



## 診療体制

スタッフ15名でチーム医療体制を敷き、日勤帯・夜勤帯ともに当番医が常勤し、24時間の迅速対応を行っています。

## 対象疾患

心臓弁膜症(大動脈弁狭窄症・逆流症、僧帽弁狭窄症・逆流症など)、虚血性心疾患(狭心症や心筋梗塞など)、大動脈疾患(胸部および胸腹部大動脈瘤、大動脈解離など)、成人の先天性心疾患、不整脈(ペースメーカーや心房細動根治手術など)、カテーテル式弁置換術、重症心不全(補助人工心臓、心臓移植)

## 得意分野

脳保護・脊髄保護を要する弓部大動脈手術や胸腹部大動脈手術、ステントグラフトを応用したハイブリット手術、自己弁を温存する大動脈基部再建術、僧帽弁形成術(右小開胸内視鏡下およびda Vinciを使用したロボット支援手術)、動脈グラフトを多用した冠動脈バイパス術(とくに人工心臓を使用しないオフポンプ冠動脈バイパス術)、心房細動に対するメイズ手術、重症心不全に対する補助人工心臓治療、心臓移植です。

## 診療実績

心臓弁膜症手術約100例、冠動脈バイパス術約100例、胸部大動脈手術約100例など、年間約300例の心臓・胸部大血管手術を施行しています。

## 専門外来

月～金曜日: 心臓・大動脈外科  
火曜日: 補助人工心臓外来  
第1、3木曜日: ペースメーカークリニック(成田講師)

## 先進医療・研究

重症心不全に対する補助人工心臓治療、心臓移植、胸部大動脈瘤に対する人工血管置換術とステント術を組み合わせたハイブリット治療、カテーテル式弁置換術を行っています。

## Medical Care System

We provide 24-hour quick response service with our team medical care system consisting of 15 staff members; an on-duty doctor is always available both during the day shift and the night shift.

## Target Diseases

Valvular heart disease (aortic stenosis / regurgitation, mitral stenosis / regurgitation), ischemic heart disease, thoracic and thoracoabdominal aortic aneurysm, adult congenital heart disease, arrhythmia, TAVI and heart failure (VAD, cardiac transplantation).

## Strong Fields

Aortic arch and thoracoabdominal aortic surgery requiring brain and spinal cord protection, hybrid surgery using stents and grafts, valve-sparing aortic root reconstruction, and mitral valvuloplasty (right open chest endoscopic and robot-assisted using da Vinci). Hybrid surgery using stents and grafts, aortic reimplantation, mitral valve plasty (total endoscopic or robot-assisted surgery using da Vinci), coronary artery bypass surgery using many arterial grafts (especially off-pump coronary artery bypass surgery without cardiopulmonary bypass), and Maze surgery for atrial fibrillation, and ventricular assist device and heart transplantation for severe heart failure.

## Clinical Results

We perform about 300 surgeries of cardiac and thoracic major vessels including surgeries for cardiac valvulopathy in about 100 patients, coronary artery bypass surgeries in about 100 patients, and surgeries of the thoracic aorta in about 100 patients.

## Specialized Outpatient Clinic

Monday through Friday: acquired heart disease and aortic disease  
Tuesday: VAD clinic  
The 1st and 3rd Thursday: pacemaker clinic (Dr.Narita)

## Advanced Medicine and Research

We use a ventricular assist device (VAD) for severe heart failure, we perform VAD induction, and heart transplantation and perform hybrid therapy for thoracic aortic aneurysm combining blood vessel prosthesis implantation with stenting, and TAVI.

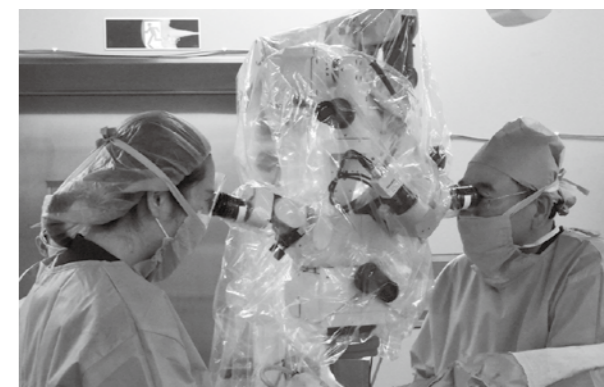
## 形成外科 Plastic and Reconstructive Surgery

科長 亀井 譲 (教授)  
Director KAMEI, Yuzuru (Professor)患者さんの未来のために  
一丸となって取り組む

腫瘍、外傷などにより正常とは異なる状態になったものを、可能な限り正常な状態に近づける診療科です。

## We make efforts as a team for the future of patients

Our department makes efforts to correct various conditions, whose appearance is different from normal because of reasons such as tumor and injury, to as close to normal as possible.



## 診療体制

教授1人、准教授1人、助教3人、医員4人により構成し、より高度で安全な医療を目指しています。新患をはじめ、すべての症例に対して検討会を行い、治療法などを決め、チーム医療体制で行っています。

## 対象疾患

悪性腫瘍切除後の再建、耳・手足の異常、唇裂、漏斗胸、外傷後の再建、あざ、ケロイド、傷跡、眼瞼下垂、臍ヘルニア、小耳症、乳房欠損などの再建外科を主として、QOL向上のための形成手術も行っています。

## 得意分野

悪性腫瘍切除後や外傷後のマイクロサージャリーを利用した再建、手術創・外傷後の治癒遅延、糖尿病などの難治性潰瘍、小耳症、手足の先天異常、漏斗胸、乳房再建などです。

## 診療実績

腫瘍切除後の再建、特にマイクロサージャリーを利用した再建は、年間140例以上行っており、98%以上の成功率を挙げています。放射線性潰瘍や骨髄炎など難治性潰瘍の再建を含めた治療も多く、良好な成績を収めています。

## 専門外来

腫瘍外来、難治性潰瘍外来、小児形成外来、内視鏡外来、乳房外来などです。セカンドオピニオンも受け付けています。

## 先進医療・研究

脂肪由来幹細胞、培養表皮移植、バイオマテリアルなどの再生医療研究や、皮弁血流に関する基礎研究、臨床ではマイクロサージャリーを用いた再建術に関する研究などを行っています。

## Medical Care System

Our department, consisting of one professor, one associate professor, three assistant professors, and four doctors, aims to provide more advanced and safer medicine. We provide team medical care: we hold a conference for each patient including new patients to determine therapeutic options.

## Target Diseases

We mainly perform reconstructive surgery including reconstruction after malignant tumor resection, abnormality of ears, hands and feet, cleft lip, funnel chest, reconstruction after injury, birth mark, keloid, scar, ptosis, umbilical hernia, microtia, and absent breast. We also perform plastic surgery for the improvement of QOL.

## Strong Fields

Reconstruction using microsurgery after malignant tumor resection or injury, delayed healing of surgical wound or after injury, intractable ulcer including intractable ulcer associated with diabetes, microtia, congenital anomaly of hands and feet, funnel chest, breast reconstruction, etc.

## Clinical Results

Yearly we perform 140 or more reconstructions after tumor excision, especially those using microsurgery, with a success rate of 98%. We have performed treatment including reconstruction of intractable ulcer such as radiation ulcer and osteomyelitis in a large number of patients and achieved excellent results.

## Specialized Outpatient Clinic

We have outpatient clinics such as a tumor outpatient clinic, intractable ulcer outpatient clinic, pediatric plastic outpatient clinic, endoscopy outpatient clinic, and breast outpatient clinic. We also provide second opinions.

## Advanced Medicine and Research

Our research interests are: Regenerative medicine with Adipose derived stem cells (ADSCs), Cultured skin graft and Biomaterials and Basic research regarding Flap blood flow and Clinical study regarding Microsurgical reconstruction cases.



## 小児外科 Pediatric Surgery

科長 内田 広夫 (教授)  
Director UCHIDA, Hiroo (Professor)

## 小児の外科的疾患に対する低侵襲手術に積極的に取り組む

昭和43年に研究グループとして誕生しましたが、診療科としての独立は平成9年と新しく、現在は東海地方唯一の大学院講座です。

## Actively involved in minimally invasive surgery for treatment of pediatric surgical diseases

Our department was established as a study group in 1968 and became an independent department recently (1997); currently, it is the only graduate course in the Tokai area.



## 診療体制

教授1、特任教授1、講師3、助教3の計8名で年間約500件の手術(新生児80件)と14床の病床を稼働させています。外来日は月曜日、水曜日、木曜日、金曜日の週4回です。

## 対象疾患

心臓、脳神経、整形外科を除く、子どもの頸部、胸部、腹部疾患のほかすべて、すなわち、呼吸器疾患、消化器疾患、泌尿器疾患の手術治療を行っています。また1,000gに満たない赤ちゃんから思春期の中学生を対象としています。代表的な疾患としては、胆道閉鎖症、先天性胆道拡張症、先天性食道閉鎖症、胃食道逆流症、先天性腸閉鎖症、ヒルシュスプルング病、鎖肛、嚢胞性肺疾患、神経芽腫、肝芽腫、リンパ管奇形、峯径ヘルニア、臍ヘルニア、停留精巣などが挙げられます。

## 得意分野

術後の著しい成長発達を妨げないように、体の負担が少なく、傷跡が目立たない内視鏡手術を積極的に行っています。胆道閉鎖症、先天性胆道拡張症などの肝・胆道系疾患をはじめとして、新生児外科疾患、肺疾患、小児悪性腫瘍、鼠径ヘルニアなども内視鏡を用いた最新の医療を積極的に行っています。多くの新生児外科疾患や小児悪性腫瘍も他科と共同して治療を行っており、日本を代表する施設です。

## 診療実績

2017年から2019年の3年間の総手術件数は1561件、そのうち新生児手術は211件、胆道閉鎖症32件(内視鏡手術32件)、先天性胆道拡張症54件(内視鏡手術54件)、食道閉鎖症18件(内視鏡手術15件)、横隔膜ヘルニア32件(内視鏡手術2件)、肺葉切除44件(43件)。

## 専門外来

木曜日午前中は胆道系疾患専門外来となっております。多岐にわたる疾患に対する内視鏡手術の相談は通常の月、水、金の外来で行っています。セカンドオピニオン外来は随時受け付けています。

## 先進医療・研究

新しい医療機器の開発、尿中の新規腫瘍マーカーの探求、効果的な内視鏡手術手技トレーニング方法の開発、さまざまな希少疾患に対する臨床研究など多くの研究を積極的に行っています。



〈独自ホームページ〉  
<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/pedsurg/>

## Medical Care System

A total of 8 staff members (one professor, one specially appointed professor, three lecturers, three assistant professors) perform about 500 surgeries (80 are for neonates) a year and have 14 beds to provide medical care to patients. The outpatient clinic is open on Monday, Wednesday, Thursday and Friday.

## Target Diseases

We perform surgical treatments for nearly all pediatric neck, thoracic, and abdominal disorders, excluding those involving the heart, cranial nerves, and orthopedic surgery. We treat illnesses of the respiratory, digestive, and urinary systems in children ranging from infants under 1,000g to junior high school students. Some examples of conditions we treat include biliary atresia, congenital biliary dilatation, congenital esophageal atresia, gastroesophageal reflux disease, congenital intestinal atresia, Hirschsprung's disease, anal atresia, cystic lung disease, neuroblastoma, hepatoblastoma, lymphangioma, inguinal hernia, umbilical hernia, cryptorchism, and so on.

## Strong Fields

We are proactive in using endoscopic surgical techniques that cause less physical strain and leave fewer scars, so as not to hinder growth and development. We actively employ endoscopic treatment for biliary atresia, congenital biliary dilatation, esophageal atresia, duodenal atresia, cystic lung disease, neuroblastoma, inguinal hernia, and so on. We treat patients with neonatal surgical disease and pediatric malignancy in cooperation with other departments and have provided medical care to an extensive number of patients.

## Clinical Results

Total number of operations over the three years from 2017 to 2019 was 1561. Newborn surgery 211, biliary atresia 32 (minimally invasive surgery 32), congenital biliary dilatation 54 (minimally invasive surgery 54), esophageal atresia 18 (minimally invasive surgery 15), diaphragmatic hernia 32 (minimally invasive surgery 2), pulmonary lobectomy 44 (minimally invasive surgery 43).

## Specialized Outpatient Clinic

We provide outpatient for hepatobiliary disease Thursday morning and consultation for minimally invasive surgery at any time of regular outpatient service on Monday, Wednesday, and Friday. We accept patients in the second opinion clinic as needed.

## Advanced Medicine and Research

Our main research themes include the development of new medical devices, the search for new tumor markers in urine, the development of training system for minimally invasive surgery, and clinical research for various rare diseases for pediatric patients.



〈Website of the Department〉  
<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/pedsurg/pg195.html>

## 総合診療科 General Medicine

科長 佐藤 寿一 (病院教授)  
Director SATO, Juichi (Clinical Professor)

## 何科を受診すべきかわからない場合でも心強い

当科は、身体と心、さらには家庭から社会まで視野に入れた全人的医療を提供します。

## The department where patients can seek for help whenever they are not sure which specialities are appropriate

Our department provides comprehensive medicine, which takes into consideration the physical and mental aspects of patients, patient's family, and community environment.



## 診療体制

教員7名(地域医療教育学寄附講座、卒後臨床研修・キャリア形成支援センター教員を含む)、医員2名、研修登録医4名が診療に従事し、毎日再診外来2~3診、初診外来2診、入院病床7床を運営しています。

## 対象疾患

どのような健康問題にも対応します。そして、専門的な診療が必要な場合は専門診療科に診療を依頼します。また、専門診療科からのコンサルテーションも受けます。

## 得意分野

患者さんが抱えるさまざまな健康問題を抽出し、それらを総合的に解釈し、問題解決へと導きます。予防と医療と介護・福祉を連続したものと捉え、そのすべてに関わっていきます。

## 診療実績

再診外来患者数は1日約40人、初診外来患者数は1日5~8人です。入院診療は主科7人前後、副科2~3人を担当しています。他科からのコンサルテーション依頼は30件/月前後です。

## 専門外来

漢方外来: 月曜日および木曜日  
慢性疲労外来: 火曜日

## 先進医療・研究

教育に関する研究、診療に関する研究、疫学研究など多岐にわたる研究に取り組んでいます。それらに共通することは、臨床あるいは医学教育を行うなかで生じた疑問やニーズに立脚していることです。

## Medical Care System

Seven academic personnel (including academic personnel of Department of Education for Community-Oriented Medicine and Center for Postgraduate Clinical Training and Career Development), two doctors and four registered trainee doctors provide medical care every day to patients in two to three revisit outpatient examination rooms and two first-visit outpatient examination rooms and seven inpatient beds.

## Target Diseases

We provide medical care to patients for whom a certain department cannot be specified. If a patient needs to see a specialist, we refer the patient to a specialized department. We also accept consultations from specialized departments.

## Strong Fields

We identify various health problems of patients, interpret them comprehensively, and finally solve them. We consider prevention, medical care, and welfare as a continuum and are involved in each component.

## Clinical Results

The daily number of revisit outpatients is about 40, and the daily number of first-visit outpatients is 5 to 8. For inpatient medical care, we are in charge of around seven beds and see two to three patients as a consultant. We accept about 30 consultations from other departments a month.

## Specialized Outpatient Clinic

Kampo Medicine: Monday and Thursday  
Chronic Fasting: Tuesday

## Advanced Medicine and Research

We conduct various researches such as research on education, research on medical care, and epidemiological research. What is common among these researches is that it is based on questions and the needs arising in clinical settings or medical education.

## 救急科 Emergency and Critical Care Medicine

科長 山本 尚範 (講師)  
Director YAMAMOTO, Takanori (Lecturer)

## |安心して受診できる救急診療体制を

救急外来は、救急科と各専門診療科の専門医により、24時間体制で運用されています。一次から三次救急患者まで、すべての救急患者を対象とし、緊急度・重症度に応じて適切な診療を行います。救急科の医師は、救急・内科系集中治療部の診療も担っており、連携して重症患者を受け入れています。

## |An emergency medicine care system that enables patient to receive safe and secure treatment

A 24-hour emergency department is operated under the direction of emergency and critical care medicine physicians and specialist in each field. Provision of the best possible medical service to patients ranging from primary to tertiary emergencies in cooperation with all clinical department. We deal with patients in serious condition who need emergency care at the Department of Emergency and Medical Intensive Care Unit.



## 診療体制

救急外来は、救急科と各専門診療科の専門医により、24時間体制で運用されています。救急科の医師は、救急・内科系集中治療部(EMICU)の診療を担っており、EMICUと連携して重症患者を受け入れています。

名古屋市内最後の砦として約250台の新型コロナウイルス感染症の重症患者搬送を引き受けました。これは国立大学病院でトップクラスです。

## 対象疾患

一次から三次救急患者まで、すべての救急患者を対象とし、緊急度・重症度に応じて適切な診療を行います。当院に受診歴のある患者さんの急変は原則受け入れ、複雑な病態にも対応します。

## 特色

救急外来には、救急科および各専門診療科の医師が勤務しており、緊急性の高い患者さんに対応します。また専門治療が必要な病態に対しては、時間外であっても各専門領域の医師に診療を求められる体制となっています。

## 診療実績

2022年度総救急患者数は約6,100名、救急車搬入台数は約1,600台です。また、救急救命士の就業前・現任教育実習にも協力するとともに、災害拠点病院として大規模災害のために設備を整えるように工夫しています。

## その他の取り組み

普段かかりつけの専門診療科以外の病気であっても、緊急な状態であれば救急外来を受診頂けます。必要に応じて、専門診療科の診療を得られるシステムとしています。

## Medical Care System

A 24-hour emergency department is operated under the direction of emergency medicine physicians and specialists in each field. We deal with patients in serious condition who need emergency care at the Department of Emergency and Medical Intensive Care Unit.

## Target Diseases

Provision of the best possible medical service to patients ranging from primary to tertiary emergencies in cooperation with all clinical department. Our treatment policy is that in principle we accept any emergency patients who have consulted us before, prepared for complicated medical condition.

## Features

Emergency and critical care medicine physicians and specialists in each field are stationed in the emergency department, prepared for every kind of medical emergency. In addition, we have introduced an on-duty system in every medical department to provide medical care in each specialized field.

## Clinical Results

The number of emergency patients totaled about 6,100 in fiscal year 2022, and about 1,600 of them were brought in by ambulance. The department collaborates on pre-employment and in-service training for emergency medicine technicians. As a disaster base hospital, the facility actively prepares for major disasters.

## Other Undertakings

Even if a patient develops a medical emergency that is different from their regular medical problems, they can visit the emergency department to receive emergency care. This system allows patients to receive treatment at an appropriate specialized medical department.

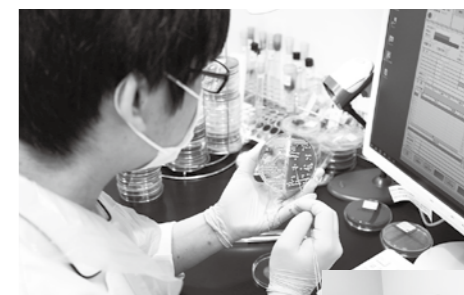
## 検査部 Department of Clinical Laboratory

部長 松下 正 (教授)  
Director MATSUSHITA, Tadashi (Professor)|より安全で良質な診療支援のために  
さらなる向上を目指す

医師および臨床検査技師で組織構成され、高度先進医療を担う大学病院にふさわしい検査部として最先端医療を支え、臨床側からの要望に柔軟に対応し、患者さんの救命に必要な検査を昼夜を問わず、迅速に提供することを目標としています。

## |We aim to make further improvements to support safer and higher-quality medical care

Our department consists of doctors and clinical laboratory technologists. We aim to support the most advanced medical care as a clinical laboratory department of a university hospital, which is responsible for providing highly advanced medical treatment, to respond to the demand of the staff working in clinical settings, and to quickly perform lab tests any time as patients demand.



## 業務体制

時間外(夜間・休日)も、平日の日勤帯と全く同様の検査依頼を受け付けており、特殊検査や外注検査を除くすべての検査のリアルタイム(迅速)報告を行っています。入院患者の回診前検査結果報告および外来患者の診察前検査結果報告を心掛け、また、生理機能検査は安全で良質な医療サービスを提供しています。2009年5月から中央採血室の開始時刻を30分早めて午前8時から開始し、採血待ち時間の短縮化を図っています。

## 業務内容

一般検査、血液検査、臨床化学検査、免疫・血清検査、遺伝子検査、微生物検査などの検体検査のほか、循環生理検査、呼吸生理検査、神経生理検査などの生理機能検査を実施しています。

## 特色

国際的に標準化された臨床検査法を導入し、かつ精度の高い大型の自動分析装置で正確な検査結果を迅速に臨床側に報告しています。また、生理機能検査室では高性能な最新の医療機器を用いて患者さんに安全で良質な医療を提供しています。

## その他の取り組み

より良質な医療を患者さんへ提供することこそが、当部の最大の責務と考え、さらなる向上を目指し、2015年度にISO15189:2012認定(「臨床検査室-品質と能力に関する特定要求事項」を充たした検査室に与えられる認定)を取得しました。

## Operation System

We accept requests for tests made off-hours (nights and holidays) as well as requests made in the day shift of weekdays, and we provide real-time (quick) reporting of all tests except for special tests or outsourced tests. We aim to report the test results of inpatients before the doctor's round and to report the test results of outpatients before consultation. The physiology laboratory provides safe and high-quality medical services. In May 2009, we moved the opening time of the central blood sampling room back 30 minutes to 8:00 a.m. to shorten the waiting time for blood sampling.

## Scope of Medical Services

In addition to laboratory tests such as general tests, hematology, chemistry, immunology and serology tests, gene tests, and bacteriology, we conduct physiologic tests such as circulatory tests, respiratory tests, and neurophysiological tests.

## Features

We have introduced an internationally standardized clinical test method and promptly report accurate results, using high-precision autoanalyzers, for the staff working in clinical settings. The physiological laboratory provides patients with safe and high-quality medical care using the latest high-performance medical devices.

## Other Undertakings

We considered that it is our greatest responsibility to provide higher-quality medical care to patients, aimed to make further improvements, and obtained ISO15189:2012 certification (a certification given to laboratories that meet the criteria of "Medical laboratories - Particular requirements for quality and competence") in fiscal year 2015.



## 手術部 Department of Surgical Center

部長 亀井 譲 (教授)  
Director KAMEI, Yuzuru (Professor)

## 安全性を確保しつつ、高度で先進的な手術医療を手掛ける

大学病院として求められる高度かつ先進的な手術医療を、十分な安全性を確保した上で、快適な環境下で行います。

## We provide high-level and advanced surgical medicine while ensuring safety

In a comfortable environment, we provide high-level and advanced surgical medicine required for university hospitals while ensuring utmost safety.



## 診療体制

平成30年から手術室を27部屋まで増やし、8時半から18時まで、週5日間ほぼ常時15例以上の全身麻酔下の手術と、数例の局所麻酔下の手術を同時に行えるだけの人員を確保しています。もちろん、夜間や休日の緊急手術にも常に対応可能な体制をとっています。スタッフは、当部教員4名で運営し、手術は、麻酔科、外科系各科、手術室看護師が協力し行っています。

## 診療内容

心移植、肝移植、補助人工心臓回路植込み、ダ・ヴィンチ手術、覚醒下脳腫瘍摘出術をはじめ、ほとんどありとあらゆる種類の手術を行っています。大学病院の特徴である高度で先進的な手術に加え、最近では地域のニーズに応えたより一般的な内容の手術も増えてきています。

## 特色

手術中にMRIを撮影して、腫瘍の残存が確認できるような設備や、手術中に手術室内で放射線照射ができる設備などがあります。また、近年増加してきている各種内視鏡下手術、ロボット支援手術にも対応した手術室を複数用意しています。

## 診療実績

手術件数は平成30年度は9,265件、令和元年度は8,649件、令和2年度は7,839件(COVID-19禍における影響あり)となっています。

## 先進医療・研究

術中のMRI撮影の設備や、術中照射の設備は良好に稼働しています。また、内視鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を2010年3月に導入しました。泌尿器科、産婦人科、消化器外科、呼吸器外科で使用されています。

## Medical Care System

We have increased the number of operation room up to 27 rooms since January, 2018 and perform 15 or more surgeries under general anesthesia and several surgeries under local anesthesia simultaneously almost all the time from 8:30 a.m. to 6:00 p.m.

## Scope of Medical Services

We perform almost all types of surgery, including cardiac transplantation, liver transplantation, implantation of ventricular assist devices, da Vinci surgery, and awake craniotomy. In addition to performing sophisticated and advanced surgeries, which is a characteristic of university hospitals, we have recently been performing an increasing number of surgeries for more common conditions, meeting the needs of the community.

## Strong Fields

Our department is equipped with a facility where MRI can be performed to detect remnant tumor during surgery, a facility with which radiation can be administered in the operating room during surgery, and so forth. In addition, our department has multiple operating rooms where various endoscopic surgeries, which have been increasing recently, and robot-assisted surgeries can be performed.

## Clinical Results

We performed 9,265 surgeries in the fiscal year of 2018, 8,649 in the fiscal year of 2019, and 7,839 in the fiscal year of 2020 (under the influence of COVID-19)

## Advanced Medicine and Research

Our facilities for intraoperative MRI scanning and intraoperative radiation are outstanding. The endoscopic surgery assisting robot "da Vinci" was introduced in March 2010. This robot is now used in the Urology, Obstetrics and Gynecology, Gastroenterological Surgery, and Thoracic Surgery Departments.

## 放射線部 Central Block of Radiology

部長 長縄 慎二 (教授)  
Director NAGANAWA, Shinji (Professor)

## 安全で高度な画像診断検査と放射線治療

最新の医療機器とチーム医療によって、安全かつ高度な画像検査や放射線治療を行っています。

## Safe and advanced diagnostic imaging and radiation therapy

Using the latest medical devices and team medicine, we perform safe and advanced diagnostic imaging tests and radiation therapy.



## 診療体制

部長(教授)1名、副部長(診療教授)1名、病院講師1名、助教1名、病院助教1名、診療放射線技師76名、看護師27名、事務8名から構成されています。これに、放射線科医師が加わり、各診療科の医師や看護師たちと協力して放射線診療業務に従事しています。

## 診療内容

一般X線撮影・血管造影・消化管造影・CT・MRIなどの画像診断検査、シンチグラフィ・SPECT・PETなどの核医学検査、直線加速装置・密封小線源等を用いた放射線治療を行っています。

## 特色

4台の3テスラMRI・術中MRIシステム、放射線治療計画用MRIを含む8台のMRI装置、2台のPET/CT、Dual Energy CT、320列CT、超高精細CT、ハイブリッド手術室の血管造影装置、3台の高精度放射線治療装置(サイバーナイフ、トモセラピーなど)など画像診断、核医学、放射線治療の各部門において最新の医療機器を導入しています。

## 診療実績

一般X線撮影(単純)129,099件、一般X線撮影(造影)6,278件、血管造影2,868件、CT 54,861件、MRI 19,220件、核医学検査4,649件、乳腺・甲状腺超音波検査4,085件、骨塩定量1,534件、放射線治療11,976件(2022年度)。

## 先進医療・研究

高磁場MRIの臨床撮像、高精度放射線治療、新規核医学診断法などの先端医療の開発に取り組み、国内外の学会や論文において研究発表を行っています。

## Medical Care System

The department consists of one director (professor), one deputy director (professor), one clinical lecturer, one assistant professor, one clinical assistant professor, 76 radiological technologists, 27 nurses, and eight administrative staff. Radiologists join this team and cooperate with doctors and nurses in each clinical department.

## Scope of Medical Services

Diagnostic imaging tests such as general X-ray photographs, angiograms, GI series, CT, MRI, nuclear medicine studies such as scintigraphy, SPECT, and PET and radiation treatment such as linear accelerator, and encapsulated sealed radioactive source.

## Features

The latest medical devices such as 8 units MRI apparatus including 4 units 3 Tesla MRI intraoperative MRI system, MRI for radiation treatment planning, 2 units PET/CT, Dual Energy CT, 320 row CT, Ultra high resolution CT, Angiography in a hybrid operating room intensity modulated radiotherapy (IMRT), cyber knife, tomotherapy etc. are introduced in clinical divisions including image diagnosis, nuclear medicine, and radiation treatment.

## Clinical Results

General X-ray photographs (simple) 129,099 cases, general X-ray photographs (contrast radiography) 6,278 cases, angiogram 2,868 cases, CT 54,861 cases, MRI 19,220 cases, radioisotope examination 4,649 cases, mammary gland and thyroid ultrasound 4,085 cases, bone mineral measurement 1,534 cases, radiation treatment 11,976 (in fiscal year 2022).

## Advanced Medicine and Research

The department is working on the development of advanced medicine such as clinical imaging using high field MRI, high precision radiation treatment, novel nuclear medicine diagnostic method, as well as our presenting research results at domestic and international academic conferences or in papers.

## 輸血部 Department of Blood Transfusion Service

部長 松下 正 (教授)  
Director MATSUSHITA, Tadashi (Professor)

## あらゆる業種のメディカルスタッフに開かれることを目指して

常勤医師2名、非常勤医師1名、検査技師6名、看護師2名で構成し、あらゆる業種のメディカルスタッフに開かれた輸血部を目指しています。

## Aiming at opening doors to medical staff in various fields

The department consists of two full-time doctors, one part-time doctor, six clinical technologists, and two resident nurses. Every time we, Department of Blood Transfusion Service, open a door for every medical staff in various fields.



## 業務内容

輸血用血液製剤の受注および支給、輸血に必要な検査業務、細胞治療に必要な幹細胞などの採取と保存及び骨髄濃縮、手術前患者の自己血採血と保存、その他、輸血療法に対する種々のコンサルテーション。

## 特色

手術中の大量出血に対する止血目的の血液製剤投与指針を提示しています。その他、DICをはじめとする凝固異常に対するコンサルテーション、アフエーシスによる末梢血幹細胞・リンパ球の採取・保存、CAR-T療法の原料採取・製品管理などを行っています。

## 取り組み

輸血療法のコンサルテーションにより血液製剤の適正使用を推進し、製剤(特に新鮮凍結血漿、血小板)の使用量を減少させています。未使用血液製剤の転用を促進し、廃棄製剤を大幅に減少させています。

## 先進医療・研究

先進的な再生医療の一環として、CAR-T療法や抗原特異的CTL療法の研究に対して支援を行っています。

## Scope of Medical Services

Accept transfusion orders and prepare blood for blood transfusions, examination required for transfusion, collection and storage of stem cells required for cell therapy and bone marrow concentration, collection and storage of autologous blood donation of preoperative patients, and other various kinds of consultation for blood transfusion therapy.

## Features

The department provides guidelines for the administration of blood products for massive bleeding during surgery. We also provide consultation for DIC and other coagulation abnormalities, collect and preserve peripheral blood stem cells, mononuclear cells, and lymphocytes by apheresis and manage products for CAR-T therapy.

## Undertakings

Promoting proper use of blood products through consultation for blood transfusion therapy, and reducing amount of preparations (especially, fresh frozen plasma and blood platelets). Promoting the conversion of unused blood product, and planning to largely reduce dispose of preparations.

## Advanced Medicine and Research

As part of advanced regenerative medicine, we provide support for research on CAR-T therapy and antigen-specific CTL therapy.

## 病理部 Department of Pathology and Laboratory Medicine

部長 加留部 謙之輔 (教授)  
Director KARUBE, Kennosuke (Professor)

## 病気の診断に必要不可欠な病理診断を正確に提供する

当院の病理診断センターとして、正確で質の高い病理診断を通じ、安心・安全な医療の提供に努めます。

## Accurately providing pathological diagnosis indispensable for diagnosing diseases

As a pathological diagnosis center, we provide reliable, safe medical services through an accurate and high-quality pathological diagnosis.



## 診療体制

常勤医師6名・非常勤医師2名(うち日本病理学会認定病理専門医8名、日本臨床細胞学会細胞診専門医5名)、臨床検査技師12名(うち細胞検査士6名)、事務員3名で構成されています。

## 診療内容

生検・手術や細胞診検査で取られた組織を顕微鏡で観察して、病理診断を行います。病理診断は病気の診断に必要不可欠であり、治療方針の決定や予後推定にも重要な情報を提供します。不幸にして亡くなられた場合の病理解剖は、病気の全貌を明らかにするのみならず、新しい治療開発への重要な手がかりとなります。

## 得意分野

年間約1,000件と多数の術中迅速診断を行っています。術中迅速診断では、手術中に取られた検体を短時間で病理診断することにより、新たな情報を提供し、治療方針の決定に役立てることができます。

## 診療実績

昨年は年間、約14,000件の病理組織診断、約7,700件の細胞診断、また9件の病理解剖を行いました。医療水準の均てん化のため、他施設で診断された標本のセカンドオピニオン診断も積極的に受け付けています。

## 先進医療・研究

悪性リンパ腫をはじめとする造血器腫瘍など、特殊疾患に対しても診断・研究を行っています。

## Medical Care System

The department consists of six full-time doctors and two part-time doctors (including eight doctors specialized in Clinical Pathology certified by Japanese Society of Pathology, five doctors specialized in cytodiagnosis certified by Japanese Society of Clinical Cytology), twelve clinical laboratory technologists (including six cytoscreeners), and three administrative staff.

## Scope of Medical Services

The department performs a pathological diagnosis by observing tissues through a microscope during a biopsy, operation, or cytological examination. A pathological diagnosis is indispensable for diagnosis of a disease and provides important information for decision on a treatment policy or prognostic. An autopsy of a patient, who sadly passed away, not only reveals the whole aspect of disease but also affords clues for new developments in medical treatment.

## Strong Fields

The department performs as many as 1,000 intraoperative rapid diagnoses annually. An intraoperative rapid diagnosis is a pathological diagnosis of a sample collected during an operation over a short period of time to provide new information, and to use that information to make a decision on treatment policy.

## Clinical Results

About 14,000 histological assessments, about 7,700 cytological diagnoses, and 9 autopsies were performed last year. We accept a second opinion diagnosis of sample diagnosed in other facilities to provide equal standards of medical care.

## Advanced Medicine and Research

The department diagnoses and researches rare diseases such as hematopoietic tumors including malignant lymphoma.



## 外科系集中治療部 Surgical Intensive Care Unit

部長 鈴木 章悟 (講師)  
Director SUZUKI, Shogo (Lecture)完全クローズド制のICUで、  
世界最高水準の医療の提供を

すべての最重症患者に対し、診断・治療・看護面から集学的かつ横断的の全身管理・医療サービスを提供します。

## Providing the world's highest standard of medical services in a completely closed ICU system

The department provides multimodality and cross-sectional systematic control and medical care services to all patients with severe diseases from a diagnostic, therapeutic and nursing aspect.



## 診療体制

当ICUは、麻酔科専門医および集中治療専門医の指導の下、ICU専従医師が24時間常駐し、専門診療科の協力を得て、朝夕カンファレンスを実施し、昼夜を問わず診療を行う完全クローズド制12床とセミクローズド制8床のICUであり、看護スタッフも患者さん2人につき1~2人の割合で配置されています。

## 対象疾患

多大な侵襲が加わる心臓手術、大血管手術、腹部外科などの大手術の術後、多臓器の障害や重症感染症を有する外科系の患者さんを対象とし、特に人工呼吸管理、循環管理、感染管理、栄養管理などの全身管理を行っています。

## 特色

全国の国立大学附属病院でも完全クローズド制のICUは稀であり、診療のパフォーマンスはトップの成績を収めています。医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士とも安全管理、業務の質改善および先進的医療の推進に積極的に取り組んでいます。

## 診療実績

2021年度の入室患者数は1,593名で、死亡率は4.08%でした。2020年度の標準化死亡率(Standardized Mortality Ratio:SMR)は0.24(APACHE II)、0.31(APACHE III)でした。院内外の外科系重症患者を積極的に受け入れています。

## その他の取り組み

世界標準に準拠する標準的医療を提供することを目指し、EBMを取り入れ、思いつきの医療は排除しています。また、救急・内科系ICUとも常に連携し、大学病院ICUとして難治症例の治療法開発にも積極的に取り組んでいます。

## Medical Care System

Our ICU has a completely closed system(12 beds)and semi-closed system(8 beds), in which doctors are exclusively stationed in the ICU for 24 hours under the direction of anesthesiologists and intensive care specialists. They hold conferences in the morning and the evening and provide medical care around the clock with support from specialized clinical departments. The nursing staff ratio is one to two nurses per two patients.

## Target Diseases

The department implements systemic controls, such as artificial respiration control, circulatory management, infection control, and nutrition management; after highly invasive cardiac surgery, great vessel surgery, abdominal surgery, and any other major surgical operations; or for patients with multi-organ disorders and severe infections.

## Features

Among hospitals affiliated with national university medical schools, a completely closed ICU system is rare, and we achieve the highest level of medical care. Doctors, Nurses, Pharmacists and Clinical Engineers work to improve safety management and service quality and promote advanced medicine.

## Clinical Results

In 2021, we received 1,593 patients and the death rate was 4.08%. In 2020, SMR (Standardized Mortality Ratio) is 0.24 (APACHE II) and 0.31 (APACHE III) We actively accept severely-ill surgical outpatients and inpatients.

## Other Undertakings

The department aims to provide medical services compliant with world standards. By introducing Evidence-Based Medicine (EBM), we eliminate ad hoc medical services. In addition, working closely with the Emergency and Medical Intensive Care Unit, we are developing therapies for refractory diseases as a university hospital ICU.

## 救急・内科系集中治療部 Emergency and Medical Intensive Care Unit

部長 沼口 敦 (病院講師)  
Director NUMAGUCHI, Atsushi (Clinical Lecturer)東海地方随一の重症患者が集まる  
Closed-ICU管理

Closed-ICUで内科系および小児の急性期診療を担います。救急外来と連携し、学内の専門診療科とともに最重症例に対する最後の砦の役割を果たします。

## Emergency and Medical Intensive Care Unit

The Emergency and Medical ICU (EM-ICU) provides the most intensive acute-phase treatment for adult and pediatric patients, in closed settings, cooperating with emergency department and any other specialist in each field.



## 診療体制

救急・内科系集中治療部は、最重症例の管理を担うClosed ICUシステムとして運用されています。救急外来と連携して重症患者を受け入れ、各専門家と協働して集学的治療にあたります。

## 対象病態

心肺停止後症候群、重症敗血症、急性薬物中毒、急性心筋梗塞、心不全、新型コロナウイルス感染症(Covid-19)を含む急性呼吸不全、肝性脳症などの全身管理から、心臓移植に向けたECMOや補助人工心臓での循環管理、呼吸補助のための膜型人工肺(VV-ECMO)、肝移植前のHigh-flow High volume CHDF管理、小児血液腫瘍患者の急変など当院ならではの病態も対象としています。

## 特色

全身を多角的かつ総合的に捉える急性期管理を得意とする救急科のスタッフを中心とした専従医が、各専門家と協働して、重症例・急性期疾患の診療を行います。敗血症を代表とする全身性炎症反応症候群および播種性血管内凝固症候群の治療成績は高く、心臓移植を念頭においた患者の補助循環管理や、小児患者の診療を行なっていることも特色です。

## その他の取り組み

大学病院ならではの最先端の急性期医療を提供し、治療内容についての臨床研究も行なっています。

## Medical Care System

EM-ICU accepts patients with the most severe medical conditions from all over the hospital, including the emergency department. The exclusive staffs including specialists of emergency and intensive medicine, cooperate with many experts to provide multidisciplinary treatment.

## Target Diseases

EM-ICU provides treatment for patients, who suffer from severe medical conditions such as post cardiac arrest syndrome, severe sepsis, acute drug intoxication, acute respiratory failure including Covid-19 as well as conditions dependent on intensive devices such as mechanical circulatory support devices, renal replacement therapies, or extracorporeal membrane oxygenation. We deal with severe pediatric patients as well as adult patients.

## Features

The exclusive staffs include physicians specialized in emergency and intensive medicine, who are good at managing acute conditions systematically and multilaterally. Cooperating with many experts in the hospital, the severest acute cases could be treated successfully, including systemic inflammatory syndromes such as sepsis and disseminated intravascular coagulation syndrome, severe heart failure aiming at heart transplantation, pediatric malignancies with multi organ failure, and so on.

## Other Undertakings

We provide state-of-art acute phase treatment, which is strength of university hospital that embraces multiple experts. And we also undergo clinical researches, which is strength of a research and educational hospital.

## 血液浄化部 Department of Blood Purification

部長 小杉 智規 (准教授)  
Director KOSUGI, Tomoki (Associate Professor)①-1 高まる需要に合わせ、  
血液浄化療法全般に取り組む

当院の血液浄化療法を担っている部門で、ICUとも連携しています。

①-2 Undertaking blood purification therapy that responds  
to the increasing demand

The department takes charge of the hospital's blood purification therapy in collaboration with the ICU.



## 診療体制

13病床あり、月・水・金曜日シフトは2クール、火・木・土曜日シフトは1クールを医師、臨床工学技士、看護師にて運用しています。HD・HDFのほかPE、DFPP、L/G-CAPなど各種血液浄化療法を施行しています。

## 対象疾患

末期腎不全患者の血液透析導入のほか、維持透析患者の外科系周術期透析、あるいは薬剤や手術、自己免疫疾患、敗血症などによる急性腎不全や肝不全、炎症性腸疾患、神経疾患など広い範囲にわたる疾患に対し血液浄化療法を施行しています。

## 特色

重症感染症・多臓器不全・心血管系疾患・悪性疾患に対し、ICU管理や心臓外科・臓器移植手術、骨髄移植、癌化学療法など高度専門・先進医療を行う当院だからこそ、重症多発合併症患者における急性血液浄化、腹膜透析・血液透析併用療法、腹水濾過濃縮再静注法(CART)。

## 診療実績

年間延べ施行件数3,307件。血液透析3,162件。新規透析導入患者数:79名(いずれも2022年度)。

## その他の取り組み

高まる需要に合わせ2009年5月から火・木・土曜日シフトの運用を開始し、同年10月からは血液浄化部になりました。2018年10月から13床に拡張しました。2022年4月から外科系集中治療部門所属の看護師が当部門に加わりました。

## Medical Care System

There are 13 beds in the department. The department is open on Monday, Wednesday, and Friday for a morning and afternoon shift, and Tuesday, Thursday and Saturday for a morning shift, which are handled by doctors, clinical engineering technologists and nurses. Various blood purification therapies such as PE, DFPP, L/G-CAP in addition to HD/HDF are also performed.

## Target Diseases

Blood purification therapy is administered for diseases such as hemodialysis for patients with end-stage kidney disease, surgical perioperative dialysis of patients on maintenance hemodialysis, or acute kidney injury or hepatic failure due to medicine, an operation, auto immune disease or sepsis, inflammatory Bowel disease, and diseases of the nervous system.

## Features

Our hospital performs highly-specialized and advanced medical services protocol for ICU, cardiac surgery, organ transplantation, bone marrow transplant, cancer chemotherapy, severe infections, multi-organ failure, cardiovascular system, as well as for malignant diseases and acute blood purification for severe and multiple complications. Peritoneal dialysis and Hemodialysis combined therapy. Concentrated Ascites Reinfusion Therapy (CART).

## Clinical Results

Total number of cases: 3,307; hemodialysis 3,162 sessions. Total number of newly inducted dialysis patients: 79 (all numbers come from data in 2022).

## Other Undertakings

The department started Tuesday, Thursday and Saturday shifts in May 2009 to meet the increasing demand. In October 2009, the department was renamed Department of Blood Purification. The Department is renovated and increased bed number to 13 in October, 2018. In April 2022, nurses from surgical intensive care unit joined our department to play a part in highly advanced medical care.

## 中央感染制御部 Department of Infectious Diseases

部長 八木 哲也 (教授)  
Director YAGI, Tetsuya (Professor)①-1 感染症診療支援と感染管理を  
一手に引き受けるスペシャルチーム

当院において組織横断的な感染制御活動を行いながら、国公立大学附属病院感染対策協議会の事務局としても活動しています。

①-2 Multidisciplinary team for infection control &  
prevention and support for treating nosocomial  
infections in Nagoya University Hospital

This department specializes in promoting cross-departmental nosocomial infection control and prevention activities and officially manages the Japan Infection Prevention and Control Conference for National and Public University Hospitals.



## 診療体制

医師6名(うちICD4名)、看護師4名(うち感染管理認定看護師2名)、事務員1名の中央感染制御部員に加え、微生物検査技師2名、薬剤師4名、さらに微生物学研究者など様々な診療科、職種メンバー総勢31名からなる感染対策チームにより感染症診療支援、感染対策、および予防接種業務(外来週1回)を行っています。2018年度からは抗微生物薬適正使用支援チームを発足させ、抗微生物薬適正使用に関する取り組みを強化しました。また、国公立大学附属病院感染対策協議会の事務局としての統括業務も行っていきます。

## 対象疾患

薬剤耐性菌や各種医療関連感染症のサーベイランス、感染対策の立案と実践、難治感染症症例のコンサルテーション、抗微生物薬適正使用の推進、職業感染対策(針刺し・血液曝露対応、ワクチン接種など)です。

## 特色

チームワークの良さを生かして、当院の感染制御活動(感染症診療支援・感染管理)を職横断的に行っています。微生物検査室との連携により臨床微生物学的な情報を有効かつ迅速に臨床現場に還元しています。

## 診療実績

内視鏡管理一元化、予防接種外来、インフルエンザや薬剤耐性菌感染症などの感染対策(院内での対策の策定と地域でのリーダーシップ)、難治感染症症例コンサルテーションや血液培養陽性症例への診療支援(年間1,000例以上)などを行っています。病院内外でのCOVID-19対策でも大きく貢献しました。

## 先進医療・研究

薬剤耐性菌感染症および抗酸菌感染症の臨床的・細菌学的研究を行っています。また医療関連感染症及び抗菌薬使用についての疫学的調査研究を行っています。

## Medical Care System

Department consists of 6 doctors (including 4 ICDs), 4 nurses (including 2 certified infection control nurses), and 1 clerical staff. In addition to these members, 2 microbiological technicians, 4 pharmacists, and microbiology researchers, members from various medical departments and occupations (31 members in total) were included in infection control team in Nagoya University Hospital. We are working on infection control, providing infectious disease medical care supports, antimicrobial stewardship programs and vaccination services for HCWs and patients (outpatient clinic once a week). We enhance the activity toward antimicrobial stewardship with antimicrobial stewardship team since 2018. We coordinate as the secretariat of the Japan Infection Prevention and Control Conference for National and Public University Hospitals.

## Target Diseases

Surveillance for drug-resistant bacteria and various healthcare-associated infections, planning and implementation of infection control measures, consultation on cases of refractory infections, promotion of appropriate antimicrobial therapy, measures against occupational infections (management of needlestick injuries or blood exposure, and vaccinations, etc.).

## Features

Cross-sectional activities for planning and implementing infection control measures. Rapid feed back of clinical microbiological information to doctors in charge in cooperation with the microbiology laboratory.

## Clinical Results

Standardization in reprocessing endoscopes, vaccination outpatient clinic, infection control management for novel influenza and outbreak control of drug resistant bacteria, consultations for diagnosis and treatment of difficult-to-treat infectious diseases, and support in the treatment for positive blood culture cases (more than 1,000 cases annually). Significant contribution to the development and execution of COVID-19 control & prevention measures.

## Advanced Medicine and Research

Clinical and microbiological research on drug resistant bacterial infections and mycobacterial infections. Epidemiological research on healthcare associated infections and antimicrobial usage.



## 光学医療診療部 Department of Endoscopy

部長 中村 正直 (准教授)  
Director NAKAMURA Masanao (Associate Professor)①-1 各種内視鏡や超音波検査など、  
最高水準の医療を提供

専従医師8名(兼任55名)、専従看護師12名、専従臨床工学技士3名が検査部、放射線部と協力して安全で最高水準の医療を提供しています。

①-2 Providing the ultimate level of medical services such  
as various endoscopic or ultrasonic examinations

Providing the ultimate level of medical services in cooperation with the 8 exclusive doctors (concurrent 55 doctors), 12 exclusive nurses, 3 exclusive clinical engineers, the Department of Clinical Laboratory and the Central Block of Radiology.



## 診療体制

光学医療診療部は消化器内科と連携のもと、全ての消化器疾患において最新・最善の診療を行います。新光学医療診療部の総面積は国内外で屈指の規模となり、エックス線装置を有する検査室も備えました。患者さんの安全・安心に考慮し快適に検査・治療を受けて頂ける部門です。基本的に毎日午前8時30分から、上部内視鏡による診断・治療、下部内視鏡による診断・治療、胆膵系内視鏡による診断・治療および体外式超音波検査・治療(肝腫瘍に対する治療)を行っています。

## 対象疾患

胃・食道・十二指腸・小腸・大腸(上下部消化管)の良性疾患(炎症、潰瘍など)と悪性疾患(上皮性悪性腫瘍一癌、非上皮性悪性腫瘍)、肝癌、膵悪性腫瘍(膵癌)、膵良性腫瘍、胆嚢腫瘍、胆道腫瘍など。

## 得意分野

上部・下部消化管癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術、超音波内視鏡・腹部超音波による消化器疾患の診断と治療、内視鏡的逆行性胆管膵管造影手技を用いた膵・胆道疾患の診断と治療、カプセル内視鏡を用いた小腸・大腸疾患の診断などです。

## 診療実績

内視鏡検査は年間11,050件(上部5,364件、下部3,222件、胆膵1,460件、小腸487件、カプセル内視鏡216件)、そのうち治療内視鏡は2,412件実施しています。超音波検査および関連治療は年間6,368件実施しています。(2022年実績)

## ② 先進医療・研究

消化管腫瘍に対する新しい内視鏡治療手技・器具の開発、生検材料を用いた遺伝子発現プロファイルの研究、炎症性腸疾患の新たな診断・治療法の開発、超音波内視鏡・経腹超音波の新たな技術の開発と応用、消化器疾患と腸内細菌叢の関連の研究などを行っています。

## Medical Care System

The department of endoscopy carry out the latest and best practices for all gastrointestinal diseases in cooperation with the Department of Gastroenterology. The total area of the new department of endoscopy is one of the best in Japan and overseas, and also provide an inspection room with X-ray equipment. It is a department that can receive examination and treatment comfortably in consideration of patient's safety and security. Diagnosis and treatment using an upper endoscope; diagnosis and treatment using a lower endoscope, diagnosis and treatment using an endoscopic ultrasonography for the biliary tract and pancreatic disease and an external ultrasonic examination and treatment (treatment of liver tumor) are conducted basally from 8:30 a.m. daily.

## Target Disease

Benign tumors (inflammation and ulceration, and so forth) and malignancy (carcinoma, sarcoma) of the stomach, esophagus, duodenum, small intestine, colon (upper and lower gastrointestinal tract), hepatocellular carcinoma, pancreatic tumors (pancreatic cancer and so forth), gallbladder neoplasm, biliary tract tumors, and so forth.

## Strong Fields

Endoscopic submucosal dissection for the early cancer of gastrointestinal tract, diagnosis and treatment of digestive diseases using transabdominal US and EUS, diagnosis and treatment of biliary and pancreatic diseases using ERCP procedure and diagnosis of small and large intestine diseases using capsule endoscopy.

## Clinical Results

Endoscopic examinations totaled 11,050 cases last year (upper part: 5,364, lower part: 3,222, biliary and pancreas: 1,460, small intestine: 487, capsule endoscope: 216) of which endoscopic treatments accounted for 2,412 cases. Ultrasonography and related treatments were performed 6,368 cases annually (results during 2022).

## Advanced Medicine and Research

Development of new endoscopic treatment techniques and instruments for digestive tract tumor, research on gene expression profiling using a small amount of biopsy samples, development of new target therapy for inflammatory bowel diseases, development and application of new ultrasonic technology and research on association of intestinal microbiota and digestive diseases.

## リハビリテーション部 Department of Rehabilitation

部長 西田 佳弘 (病院教授)  
Director NISHIDA Yoshihiro (Clinical Professor)①-1 早期リハビリテーションによる  
早期復帰を目指す

原則的に、急性期リハビリテーションを中心に実施しています。

## ①-2 Targeting early recovery through early rehabilitation

In principle, we mainly perform rehabilitation in the acute stage.



## 診療体制

専任医師7名  
理学療法士36名  
作業療法士9名  
言語聴覚士5名

## 業務内容

診療報酬点数表の区分による脳血管疾患、運動器疾患、呼吸器疾患、心大血管疾患、がん患者のリハビリテーションおよび摂食機能療法、精神科作業療法、聴覚検査を行っています。

## 得意分野

当部門では、特定機能病院として急性期医療の充実及び先進医療の提供に向けて、周術期のリハビリテーションを中心に介入しています。対象も赤ちゃんから高齢者まで、診療科も多岐にわたっています。また、地域がん診療連携拠点病院としてがん患者のリハビリテーションにも積極的に介入しています。

## 診療実績

2022年リハビリテーション実施件数は理学療法71,590件、作業療法14,029件、言語聴覚療法9,142件。疾患区分別の内訳は、脳血管疾患31.7%、運動器疾患17.6%、呼吸器疾患20.3%、心大血管疾患9.7%、がんリハビリテーション17.4%、廃用症候群2.8%、摂食機能療法0.5%。

## その他の取り組み

各種疾患に対するリハビリテーションについて院内他部門への教育活動を行っています。また、実習生の受け入れにより、地域社会に貢献できる人材の育成にも力を入れて取り組んでいます。

## Medical Care System

7 exclusive doctors  
36 physical therapists  
9 occupational therapists  
5 speech-language-hearing therapists

## Scope of Medical Services

The department conducts physical therapy, occupational therapy and eating / swallowing therapy for cerebrovascular diseases, motor system diseases, breathing problems, cardiac macrovascular diseases, and cancer patients. In addition, We conducts psychiatric occupational therapy and hearing test.

## Strong Fields

In this department, we offer rehabilitation services during the perioperative period in order to provide the best possible acute care medicine befitting an advanced treatment facility. Our services are available to a wide range of departments offering treatment of a broad range of patients from infants to the elderly. In addition, as a designated cancer hospital we are also active in providing cancer rehabilitation interventions.

## Clinical Results

The department's rehabilitation services in 2022: physical therapy 71,590 sessions, occupational therapy 14,029 sessions, and speech-language-hearing therapy 9,142 sessions (31.7% of patients had cerebrovascular disease, 17.6% had locomotor disease, 20.3% had respiratory disease, 9.7% had heart and large vessel disease, 17.4% had cancer, 2.8% had disuse syndrome, and 0.5% had dysphasia).

## Other Undertakings

Education for other departments in the hospital about rehabilitation for various diseases. In addition, our intern program keeps us actively involved in the cultivation of talented human resources who can contribute to the regional community.



化学療法部 Department of Clinical Oncology and Chemotherapy

部長 安藤 雄一 (教授)  
Director ANDO, Yuichi (Professor)

がんの薬物療法の質の向上を目指して

がん薬物療法を専門とする部門です。外来化学療法室を中心に最適で安全な抗がん薬治療を行っています。



Aiming at improvement the quality of chemotherapy

The department performs high-level outpatient pharmacotherapy for cancers that occur in all organs.



診療体制

がん薬物療法を専門とする専任医師が配置され、病院全体のがん薬物療法の質の向上を目的に、各診療科の医師、看護部、薬剤部と連携して診療を行っています。各診療科からのコンサルテーションに加えて、専用の入院病床も運用しています。

業務内容

消化器がん、乳がん、肺がんなど臓器別のがんを専門とする診療科と連携して診療を行いながら、外来化学療法室、緩和ケアチーム、化学療法レジメンの整備、抗がん薬の臨床試験、がんゲノム医療、がん薬物療法に関わる教育・研修などの業務を行っています。

特色

世界標準の抗がん薬治療を臓器横断的に実施するとともに、がんゲノム医療、がんによる症状や治療の副作用に対する緩和ケアを実践しています。新規抗がん薬の開発試験や、院内外での多職種を対象としたがん薬物療法の教育・啓発にも積極的に取り組んでいます。

診療実績

外来化学療法室では現在1日50件の外来化学療法を行っています。緩和ケアチームは2022年4月から2023年3月までに計292件の依頼に継続的に対応してきました。

専門外来

専門外来として腫瘍内科、がんゲノム医療、希少がんと緩和ケアを行っています。

その他の取り組み・研究

地域がん診療連携拠点病院とがんゲノム医療中核拠点病院としての業務を行っています。研究では大学院生を中心に抗がん薬の副作用の個人差に着目した研究を進めています。

Medical Care System

With the presence of specialists in cancer pharmacotherapy, we perform medical care through cooperation among doctors, nurses and pharmacists of various departments in order to improve the quality of cancer pharmacotherapy throughout the hospital. In addition to receiving consultation from the staff of other clinical departments, we run special beds for inpatients.

Scope of Medical Services

The department performs medical care in cooperation with other clinical departments specializing in organ-specific cancers, such as digestive organ, breast and lung cancers, and runs chemotherapy rooms for outpatients, acts as a palliative care team, arranges for chemotherapy regimens, conducts clinical trials of anticancer drugs, cancer genomic medicine and provides medical staff training relating to chemotherapy.

Features

We provide global-standard chemotherapy for patients with cancers that occur in all organs, cancer genomic medicine and palliative care for patients with cancer symptoms or side effects of treatment. We are also engaged in the development and clinical trial of new anticancer drugs, as well as education and enlightenment on cancer pharmacotherapy for people in various professions working inside and outside the hospital.

Clinical Results

About 50 chemotherapy regimens per day are administered at the chemotherapy room for outpatients. The palliative care team has been responding to 292 requests in total between April 2022 and March 2023.

Specialized Outpatient Clinic

Medical oncology, Cancer genomic medicine, Rare cancer and Palliative care

Other Undertaking and Researches

The department serves as a Designated Cancer Hospital and Core Hospital for Cancer Genomic Medicine. The department promotes the study focusing on the differences of the side effects of anticancer agents among different individuals.

臨床工学技術部 Department of Clinical Engineering

部長 藤原 道隆 (病院教授)  
Director FUJIWARA, Michitaka (Clinical Professor)

臨床工学技士は生命維持装置の操作と医療機器の保守管理を行う

生命維持装置を始めとした、特定の医療器械の操作や処置・治療介助は臨床工学技士により行われています。臨床工学技術部ではこれら診療補助を行う他に、医療機器の保守として定期点検・日常点検を行っています。また、医療機器の操作方法などを、職員や関係者に対し教育を行う役割も担っています。どのような医療機器も、治療内容を知り、装置を良く理解し、正しく使用されることで安全な治療が行われます。確実な操作、抜かりない機械整備を行い、患者様に安全な処置・治療を受けて頂くことが我々の使命です。



Clinical engineering technicians perform operation of the life support device, maintenance and management of medical equipments

Specific medical equipment including life support devices is performed by a clinical engineer. We perform regular inspections and daily inspections as maintenance of medical equipment. In addition, it is a department that educates staff on maintenance and inspection of medical equipment and the correct operation method. With any medical device, knowing the contents of treatment, understanding the device well and using it properly will enable safe treatment. Our mission is to perform reliable operations and reliable machine inspections. We aim for everyone to receive safe treatment.



業務体制

41名の臨床工学技士により、生命維持装置の操作、医療機器の保守点検を行います。休日、夜間も継続する治療や、機器の異常に対応するため、臨床工学技士が常駐しています。また緊急手術、検査等の診療補助には待機者が対応できる体制を整えています。点検業務の一部は委託技術員の方にもお願いしています。

業務内容

透析、持続的腎代替療法、血漿交換、血液吸着療法などの血液浄化業務。人工呼吸器業務。心臓血管手術時の人工心臓業務。人工心臓等の循環補助業務。体外循環による呼吸補助(VV-ECMO)業務。心臓カテーテル検査、治療の介助。ペースメーカーや植込み型除細動装置などの植込みデバイスの手術介助及び、外来フォローアップ。不整脈治療のカテーテル検査、治療の介助。内視鏡検査や治療時の介助、医療機器の保守管理を行います。

特色

東海圏唯一の心臓移植認定施設であり、補助人工心臓(VAD)植込み症例も年々増加し、多くの患者様をフォローさせて頂いています。先端医療が行われる中で、高気圧治療以外の臨床工学技士業務全般をカバーしています。

業務実績

2022年の診療支援業務実績  
血液浄化部:入院血液透析(OHDF、IHDF含)2,966件、外来血液透析(OHDF、IHDF含)95件、血漿交換83件、選択的血漿交換0件、二重濾過血漿交換11件、血漿吸着7件、白血球除去療法44件、CART療法18件、吸着式漬瘍治療法11件  
腹膜透析:遠隔モニタリング加算4,077件、APD導入指導2件、災害指導2件、接合器管理指導18件、PD関連機器日常点検191件  
手術室における業務:成人の体外循環190件、小児の体外循環0件、VADの新規植込み5件、VADの交換3件、TAVI 106件、ダビンチ症例462件、内視鏡手術の準備1,852件、眼科領域業務 3件、自己血回収装置(人工心臓症例以外)105件、リード除去術27件、Ope室機器定期点検324件  
光学診療部:上部消化管5,950件、下部消化管3,334件、気管支鏡306件、ERCP802件、その他953件  
心血管カテーテル:CAG/成人(件)411件、CAG/小児(件)0件、PCI164件、FFR35件、RHCS18件、BPA88件  
不整脈関連デバイスにおける業務:植込み158件、外来検査1,200件、遠隔モニタリング10,552件  
カテーテルアブレーション業務:EPS5件、アブレーション416件  
ICU関連業務:ECMO37件、IMPELLA11件、IABP36件、アフエーシス47件、DHP(PMX含)6件、CBP(CHDF含)664件、血液透析(HDF、IHDF含)442件、NO62件、人工臓器211件  
病棟人工呼吸器業務:ラウンド1,397件  
NICU:ECMO1件、人工呼吸器ラウンド1,251件  
VAD業務:在宅環境指導4件、外来チェック489件  
中央管理業務:日常点検53,534件、定期点検6,556件、保守・修理1,589件

その他の取り組み・研究

血液浄化専門臨床工学、不整脈専門臨床工学、心・血管カテーテル関連専門臨床工学等の検定試験。学会認定試験(呼吸療法学会認定士、体外循環技術認定士、透析技術認定士、心血管インターベンション技師、消化器内視鏡技師認定、日本アフエーシス学会認定技師、臨床ME専門認定士)、各種医療機器個々の整備認定など、多くのメンバーがこれらの専門資格を複数取得しています。関連する学会や研究会へ積極的に参加し、最先端の情報を収集し、診療支援への提供を心がけています。

Operation System

Forty-one clinical engineers operate life-support systems and perform maintenance and inspections of medical equipment. Clinical engineers are on duty on holidays and during the night to respond to ongoing treatment and equipment malfunctions. A system is also in place to have a person on call to assist with emergency surgeries, tests, and other medical procedures.

Scope of Medical Services

Blood purification services such as dialysis, continuous renal replacement therapy, plasma exchange, and hemoabsorption therapy. Artificial respirator services. Cardiopulmonary operations during cardiovascular surgery. Circulatory support operations such as artificial heart. Respiratory support with extracorporeal circulation (VV-ECMO) Assistance for cardiac catheterization and treatment. Surgical assistance and outpatient follow-up for implanted devices such as pacemakers and implantable cardioverter defibrillators. Catheterization for treatment of arrhythmia. Assistance during endoscopy and treatment, and maintenance of medical equipment.

Features

We are the only facility in the Tokai area certified for heart transplantation, and the number of cases of ventricular assist device (VAD) implantation is increasing every year, and we follow up many patients. In the midst of cutting-edge medical care, we cover all aspects of clinical engineering work other than hyperbaric oxygen therapy.

Medical Service Results

Department of Hemodialysis : 2,966 hemodialysis (inpatient) (including OHDF and IHDF), 95 hemodialysis (outpatient) (including OHDF and IHDF), 83 plasma exchange, 0 selective plasma exchange, 11 dual filtration plasma exchange, 7 plasma adsorption, 44 leukocyte removal therapy, 18 CART therapy, 11 adsorption type ulcer treatment  
Peritoneal dialysis: the number of remote monitoring of cardiac implantable electronic devices (CIEDs) is 4,077. Instructions for APD (automated peritoneal dialysis) patients is 22, routine inspections of APD is 191.  
In the operating room : 190 adult extracorporeal circulations, 0 pediatric extracorporeal circulations, 5 new VAD implantations, 3 VAD replacements, 106 TAVI cases, 462 da Vinci cases, 1,852 endoscopic surgery preparations, 3 ophthalmologic procedures, 105 autologous blood collection devices (excluding artificial heart-lung cases), 27 lead removal procedures, 324 routine equipment checks  
Services in optical medicine : 5,950 upper gastrointestinal tract cases, 3,334 lower gastrointestinal tract cases, 306 bronchoscopy cases, 802 ERCP cases, 953 other cases  
Survives in cardiovascular catheterization : 411 CAG, 164 PCI, 35 FFR, 518 RHC, 88 BPA  
CIEDs related services : 158 implantations, 1,200 outpatient examinations, 10,552 remote monitoring  
Catheter ablation services : 5 EPS, 416 ablation cases  
ICU-related services : 37 ECMO, 11 IMPELLA, 36 IABP, 47 apheresis, 6 DHP (including PMX), 664 CBP (including CHDF), 442 hemodialysis (including HDF, IHDF), 62 NO, 211 artificial pancreas  
Ventilator-related services in hospital wards : 1,397 rounds  
NICU : 1 ECMO, 1,251 rounds  
VAD-related services : 4 home environment guidance, 489 outpatient checks  
Central management service : 53,534 daily checks, 6,556 periodic checks, 1,589 maintenance/repairs

Other Undertakings

Most members have advanced qualifications. We actively participate in relevant conferences and research meetings, constantly collect cutting-edge medical information, and try to provide medical care support.



## 栄養管理部 Clinical Nutrition

部長 安藤 雄一 (教授)  
Director ANDO, Yuichi (Professor)

### 安全でおいしく、治療にも役立つ食事を

「安全で満足度の高い食事サービス、治療に貢献する栄養管理」を理念に運営しています。

### Providing safe, delicious, and clinically beneficial food

This department aims at providing food paid attention to safety and catering with high quality patient service and engaging in clinically beneficial nutrition management for hospitalized patients.



### 業務体制

管理栄養士9名で組織される部門です。また、約80名の給食委託会社の職員により、食事提供のサービスを行っています。

### 業務内容

給食の管理、栄養食事指導、入院患者への栄養管理、チーム医療活動への参画などを行っています。栄養サポートチームにおける回診・カンファレンスでは、栄養アセスメントを実施し、栄養リスクの高い患者さんへの栄養介入を行い治療に貢献しています。

### 特色

患者給食では、①選択メニューの実施、②患者食堂での対面盛り付けによる食事の提供、③行事食の提供など、満足度の高い食事サービスを目指しています。また、昨今の取り組みとして、栄養食事指導室に加えて外来化学療法室での個別栄養食事指導を実施しています。

### 業務実績

【個別栄養食事指導件数(2022年度)】  
入院:1,086件 外来:1,023件

### Operation System

This department consists of 9 registered dietitians. In addition, about 80 staff of the outsourced companies provide food service.

### Scope of Medical Services

To increase the effects of medical treatment and patient's quality of life, our service includes hospital food service, dietary counseling, nutritional management for inpatients, participation in team medical activities, nutrition support team briefing, and a custom-tailored nutrition intervention based on the nutrition assessment for inpatients with nutritional risk.

### Features

This department provides high quality food-services featuring:

- ① Selection menu
  - ② Food provision with face-to-face service at patients' cafeteria
  - ③ Seasonal dishes for traditional annual events (exclude some food)
- In addition to the routine dietary counseling, as a new initiative, we have started dietary counseling for patients undergoing outpatient chemotherapy.

### Medical Service Results

【Number of individual dietary counseling (2022)】  
Inpatient : 1,086 cases    Outpatient : 1,023 cases

## 医療機器総合管理部 Department of Medical Equipment and Supplies Management

部長 藤原 道隆 (病院教授)  
Director FUJIWARA, Michitaka (Clinical Professor)

### より安全で安心な医療器材の提供と管理

安全で安心な医療環境を提供するために、院内で使用される医療機器の適切な供給と管理機器に関する職員教育を行うことが当部の役割です。

### Supply and control for safer and more reliable medical equipment

Our role is to provide appropriate supply and management of the medical equipment used in this hospital and provide staff training on them in order to develop safer and more reliable medical environment.



### 業務体制

当部の業務は、病院における、医療機器および消耗品の選定と購入、滅菌、搬送業務の一元化、点検、修理、更新計画立案と実行、医療機器が関与するインシデントの分析と機器に関する職員教育です。この業務を円滑に運用するために、臨床工学技術部、経理課調達グループ、患者安全推進部、メディカルxRセンターと緊密に協力しています。

所属する委員会として、医療機器総合管理部運営会議、医療機器選定委員会、内視鏡管理運営委員会、滅菌機器等運営委員会、SPD運営委員会が行われています。

### 業務内容

- ①MDI(Medical Device Information) : 病院内で使用される医療機器情報を収集し、当該情報を病院内の関係各部に周知しています。
- ②各種の医療機器および医療器具の洗浄、組立ておよび滅菌を行う中央材料室を運営し、内視鏡の洗浄、消毒および管理を行う内視鏡洗浄室の監督を行っています。
- ③医療機器、材料を透明性のある選定過程で購入するため、医療機器選定委員会を開催し審議しています。
- ④医療機器の安全な使用のため、適切な点検、修理、更新計画を立案し、実行します。
- ⑤SPD(Supply Processing&Distribution)を運営管理し、病院内におけるすべての医療用消耗品および医薬品の購買、供給、搬送、消費、ロット番号等を管理しています。
- ⑥医療機器に関わる不具合とインシデントを患者安全推進部とともに検討し、原因の分析と対策を該当部署にフィードバックしています。
- ⑦機器安全使用に関する職員教育を臨床工学技術部、メディカルxRセンターと共に行っています。

以上の取り組みにより、医療の質と安全性の向上、安定的な病院経営基盤の実現を図ることを医療機器総合管理部の目的としています。

### Operation System

Our goal is to centralize management of the selection, purchase, sterilization and conveyance of medical equipment, to plan and implement an appropriate inspection, repair and renewal of them, to analyze incidents related medical devices, and to provide staff training on the medical devices. In order to facilitate these operations, our department cooperates with Department of Clinical Engineering, Accounting Division (Procurement Office), Department of Patient Safety, and Medical xR Center. The following committees are affiliated: Steering Committee of Department of Medical Devices, Medical Device Selection Committee, Endoscope Management Committee, Sterilized Equipment and Supply Committee, Processing and Distribution (SPD) Steering Committee.

### Scope of Medical Services

- ① MDI (Medical Device Information) : Collect information on the medical equipment used in this hospital, and inform relevant information to all related departments.
- ② Operating the central medical supply department that cleans, assembles, and sterilizes the medical equipment and devices, and supervising the endoscope cleaning department that cleans, disinfects and manages endoscopes.
- ③ Medical device selection committee is held to purchase medical devices in transparent selection processes.
- ④ Developing and implementing an appropriate inspection, repair, and renewal plan for safe use of medical equipment.
- ⑤ Centralized management of purchase, supply, conveyance, usage, lot numbers, etc. of all disposable medical products and pharmaceuticals through the operational management of SPD (Supply, Processing and Distribution).
- ⑥ Malfunctions and incidents related to medical devices are analyzed with Department of Patient Safety, and the cause and countermeasures are fed back to the relevant departments.
- ⑦ Staff training programs on medical devices are provided in collaboration with Department of Clinical Engineering and Medical xR Center.

The objective of the department of medical devices is to enhance the quality and safety of our medical care, and achieve a stable management basis through the above activities.

## 総合周産期母子医療センター Center for Maternal - Neonatal Care

センター長 小谷 友美 (病院教授)  
Director KOTANI, Tomomi (Clinical Professor)お母さんと赤ちゃんの健康を  
高度医療でトータルサポート

ハイリスク分娩管理を含む産科医療、生殖医療、未熟児、病的新生児に対する集中治療を行っています。

Comprehensive support for the health of mothers  
and babies using advanced medicine

The Center performs obstetric medical care, reproductive medicine, intensive care for premature babies and newborn infants with complications including high risk childbirth.



## 診療体制

生殖周産期部門で10名、新生児部門で14名の医師により診療をしています。夜間、休日もそれぞれの部門で専任の担当医を置き、緊急の分娩、手術、緊急入院対応、重症新生児の管理などを行っています。

## 対象疾患

ハイリスク妊娠(妊娠高血圧症候群、合併症妊娠、前置胎盤、胎児先天性疾患など)、不妊症(子宮内膜症、子宮筋腫に対する内視鏡手術、卵巣・卵子凍結などの妊孕性温存治療を含む)、早産/低出生体重児、病的新生児(新生児仮死、外科疾患合併新生児など)を対象としています。

## 得意分野

胎児異常、前置癒着胎盤、体外受精・顕微授精などの補助生殖医療全般、体外式膜型人工肺、低体温療法などの高度医療を用いた重症新生児管理です。

## 診療実績

〈生殖周産期部門〉

分娩433例(うち帝王切開239例)、母体搬送74例、胎児先天性疾患46例、体外受精85採卵周期、胚移植113周期(2022年)

〈新生児部門〉

NICU入院数333人、超低出生体重児18例、先天性横隔膜ヘルニア9例、先天性食道閉鎖症7例の実績があります。(2022年度)

## 先進医療・研究

〈生殖周産期部門〉

早産、妊娠高血圧症候群、前置癒着胎盤の病態解明、胎児横隔膜ヘルニアの重症度予測の研究、卵巣凍結保存や卵巣組織培養

〈新生児部門〉

周産期脳障害、慢性肺疾患、胎児発育不全に対する幹細胞を用いた再生医療の研究などを行っています。周産期脳障害に対しては、医師主導治療「低体温療法を実施した新生児低酸素性虚血症に対するCL2020の安全性及び忍容性を検討する用量漸増臨床試験」を実施しました。

## Medical Care System

10 specialized doctors in the division of Reproduction and Perinatology and 14 specialized doctors in the division of Neonatology provide medical care. Even at night and on holidays, specialized doctors are assigned to the respective departments, who perform emergent childbirth delivery procedures and operations, handle emergent hospital admission, and monitor severe newborn infants.

## Target Disease

The Center targets high risk pregnancy (pregnancy induced hypertension, pregnancy complicated by maternal disorders, placenta praevia, fetal disorders, etc.), infertility (including treatment for endometriosis, endoscopic surgery for uterine myoma, and fertility preservation through ovarian/oocyte cryopreservation), premature/low birth weight infants, critically ill infants (neonatal asphyxia, newborn infants with surgical disease complications, etc.).

## Strong Fields

Fetal abnormality, placenta praevia accreta, total assisted reproductive techniques such as in vitro fertilization, microinsemination, monitoring of severe newborn infants needing advanced medical technology such as extracorporeal membrane oxygenation or hypothermia.

## Clinical Results

〈Division of Reproduction and Perinatology〉

Recorded the following numbers of clinical cases in 2022: childbirth delivery (433 cases including 239 cases of caesarean operation); maternal transport (74 cases); fetus with congenital diseases (46 cases); in vitro fertilization (85 oocyte retrieval cycles), and embryo transfer (113 periods).

〈Division of Neonatology〉

Neonatal intensive care unit (NICU) hospital admission (333 cases); extremely low birth weight infant (18 cases); congenital diaphragmatic hernia (9 cases), and esophageal atresia (7 cases)(2022).

## Advanced Medicine and Research

〈Division of Reproduction and Perinatology〉

Research on clinical conditions of preterm birth, hypertensive disorders of pregnancy placenta previa accreta, predicting severity of fetus' diaphragmatic hernia, ovarian tissue culture and cryopreservation.

〈Division of Neonatology〉

Research on regenerative medicine using stem cells for perinatal brain damage, chronic lung diseases and fetal growth restriction. Especially for the patients with hypoxic ischemic encephalopathy, an investigator-initiated clinical trial (The Evaluation of Safety and Tolerability of CL2020 in Neonatal Hypoxic Ischemic Encephalopathy Patients with Therapeutic Hypothermia in the Dose Escalation Clinical Trial; SHIELD Trial) has been completed.

## 脳卒中医療管理センター Stroke Care Managing Center

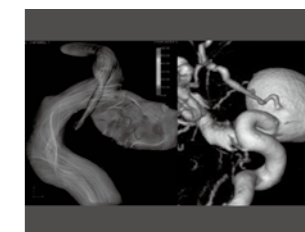
センター長 水野 正明 (病院教授)  
Director MIZUNO, Masaaki (Clinical Professor)

## 脳卒中医療の質の向上を目指す

東海地区の医療機関を情報化技術で連結し、患者・市民中心の脳卒中連携医療の確立を目指しています。

## Enhancement of the quality of stroke care

The department endeavours to link together with medical institutions in the Tokai region using information technology and establishing stroke association medical care centering on the patients and citizens.



## 業務体制

脳卒中医療担当医を中心に、脳卒中に対する新しい診断法および治療法の確立に努めるとともに、介護分野との連携を強化し、社会基盤としての在宅医療・福祉(介護)統合ネットワークの構築を進めています。

## 業務内容

1. 地域医療連携に関わるICT基盤を構築し、その普及に努めています。
2. 地域包括ケアに関わるICT基盤を構築し、その普及に努めています。
3. 2025年問題を解決するため、地域医療ビジョンに基づいた在宅医療・福祉(介護)統合ネットワークのあり方を発信しています。

## 得意分野

脳卒中医療分野を対象に、電子基盤上で医療情報の標準化(HL7,CDA, DICOM)および共有化(XDS)技術を開発し、脳卒中連携医療の有用性を国内で最初に実証しました。また、これらの技術を活用し、医療と介護をシームレスに連結する医療・福祉(介護)統合ネットワークを構築し、愛知県を中心に社会実装化を進めています。

## 業務実績

当センターで構築した、地域医療連携と地域包括ケアのICT基盤は、愛知県を中心に70市町村に導入され地域ネットワークがそれぞれ運用されています。2022年度は約19,000人の専門職(医療、介護、福祉、行政等)が参加し、登録患者数は32,000人以上になっています。

## その他の取り組み・先進医療

1. 愛知県医師会と協力し、医療・介護のデータ分析支援を行うことで地域医療ビジョン策定の支援を行っています。
2. 「地域ネットワーク支援窓口」を運営し、地域ネットワーク並びに個別をそれぞれ支援しています。

## Operation System

The doctor in charge of stroke medical care plays a central role in establishing new diagnostic and treatment methods for stroke, strengthens coordination with the nursing field, and furthers construction of an integrated home healthcare/welfare (nursing care) network for community benefits.

## Scope of Medical Services

1. Working to build and spread a foundation of ICT related to regional cooperative medical research.
2. Working to build and spread a foundation of ICT related to regional comprehensive care.
3. Facilitating the state of a comprehensive network for homehealthcare/welfare (nursing care) based on the regional healthcare vision in order to resolve the "2025 problem" (a MHLW initiative to handle healthcare for Japan's aging baby-boomer population, which will reach 8 million by the year 2025).

## Strong Fields

The center developed the standardization of medical information on an electronic basis (HL7, CDA, DICOM) and the technology of sharing (XDS) technology intended for the stroke medical field to demonstrate the effectiveness of the stroke association medical care system as a first in Japan. In addition, the center is using these technologies to build a comprehensive network of healthcare/welfare (nursing) that seamlessly combines medical care and nursing, and is promoting its implementation in the Aichi Prefecture area.

## Medical Service Results

The ICT infrastructure for regional medical cooperation and comprehensive integrated care established by this center has been introduced in 70 municipalities, mainly in Aichi Prefecture. In FY2022, approximately 19,000 professionals (medical care, nursing care, welfare, administration, etc.) participated and over 32,000 patients are registered.

## Other Undertakings / Advanced Medicine

1. In cooperation with the Aichi Medical Association, we support the formulation of a regional medical vision by providing medical and nursing care data analysis support.
2. We operates a "regional network support window" to support regional networks and individual.



## 排泄情報センター Continece Information Center

センター長 赤松 秀輔 (教授)  
Director AKAMATSU, Shusuke (Professor)

## | 高齢者の排泄障害対策に力を注ぐ

排泄管理向上による、特に高齢者のQOL改善を目指し、名古屋大学の知識・人材を活かした地域貢献を行っています。

## | Committing ourselves to the treatment of continence disorders

This center serves local communities by making full use of the expertise and human resources of Nagoya University with the aim of QOL improvement of elderly people through improvement in continence treatment.



## 業務体制

泌尿器科医師(兼務)2名、事務員1名の体制で以下の業務を行っています。

## 業務内容

行政、民間組織(NPO法人愛知排泄ケア研究会など)との連携のもと、種々の排泄管理向上事業を行っています。講習会、市民公開講座開催、インターネットによる相談業務、排泄専門コメディカル養成事業、研究など。

## 得意分野

特に高齢者の排泄障害に関し、啓蒙・教育・情報提供・排泄管理に関する地域ネットワークの構築、相談事業などを行っています。

## 特色

ホームページ(チャンネルまる: <https://www.med.nagoya-u.ac.jp/haisetsu/>)による情報の提供に加え、双方向相談システムの構築。排泄専門コメディカル(排泄機能指導士)の養成の実施。

## 業務実績

年1回の市民公開講座、年5回程度の地域講習会、2004年以降約350名の排泄機能指導士の養成、高齢者排泄ケアガイドラインの出版、インターネット相談、年1回の排泄ケア排泄機能指導研究会などを行っています。

## その他の取り組み

厚生労働省補助金長寿科学総合研究事業(2005~2007年度:後藤班)において、「老人施設・在宅における高齢者排泄リハビリテーションに関する施設評価基準の作成と地域モデルの開発」を行いました。また、当センターの支援のもと、愛知県碧南市において、地域包括支援センターを中心とした、病院、老人施設、訪問看護センター、医師会などによる地域排泄管理モデルの創設を行っています。

## Operation System

This center consists of two urologists (concurrent doctor) and one administrative staff member.

## Scope of Medical Services

This center provides various services and operations for continence control improvement in collaboration with municipalities and commercial establishment (e.g., NPO Aichi Continence Care Society). The services and operations include workshops, open lectures, counsel through the Internet, and training of paramedical staff specializing continence care.

## Strong Fields

This center provides promotion, training, information service, construction of local networks, and counsel regarding continence treatment.

## Features

The following efforts are made by this center:

- Provision of information through website: <https://www.med.nagoya-u.ac.jp/haisetsu/> (in Japanese)
- Building interactive consulting system
- Training of paramedical staff specializing continence care

## Medical Service Results

This center has conducted the following services:

- Public lectures (once a year)
- Local workshops (about five times a year)
- Education and training of about 350 Licensed Continence Nurses since 2004
- Publication of Guideline of Continence Care for the Elderly
- Internet counseling service
- Continence care and control training workshop (once a year)

## Other Undertakings

This center conducted the "Development of Care Site Evaluation Criteria and Local Models on Continence Rehabilitation for the Elderly at Care Site and Home" project, which is a "Comprehensive Research Project on Longevity Science" funded by the Ministry of Health, Labour, and Welfare (fiscal year 2005 to 2007: Prof. Gotoh's team). Moreover, the center created a local continence control model in cooperation with local comprehensive support centers, hospitals, elderly care facilities, home-visit nursing care service, and medical associations in Hekinan-city, Aichi Prefecture.

## 地域連携・患者相談センター Center for Community Liaison and Patient Consultations

センター長 鈴木 裕介 (病院准教授)  
Director SUZUKI, Yusuke (Clinical Associate Professor)

## | 地域と連携を取り、患者さんの生活の質を重視する

医療・看護・介護において地域との連携をサポートする病院の中核部門です。

## | Joining hands with communities, prioritising patients' quality of life

This core division of our hospital supports community liaison in medical services, nursing, and caregiving.



## 業務体制

多職種(医師2名、看護師8名、医療ソーシャルワーカー11名、がん相談員2名、苦情相談員4名、薬剤師1名、事務職員9名)で構成される横断的な連携部門で、地域と病院を繋ぐさまざまな支援業務を行っています。主な業務としては、患者さんの退院支援、地域からの患者さんの受け入れおよび紹介事務、患者さんのさまざまな相談事業、連携のための啓蒙プログラムの企画などです。

## 業務内容

退院支援業務は、地域支援看護師と医療ソーシャルワーカーが協同して患者さんの在宅療養、あるいは転院などの調整を行っています。病診連携室は、病診連携、病病連携(紹介、逆紹介など)に必要な連絡事務を担当しています。その他患者さんの療養に関するさまざまな相談業務や、療養に必要な医療福祉制度、社会資源の活用に関する情報提供および支援を行っています。

## 特色

地域との連携に必要なあらゆる機能に柔軟に対応するために、多職種が一体となり横断的な組織運営をしています。患者さんの生活者としての視点、生活の質を重視した支援体制をモットーとしています。

## 業務実績

退院支援件数は年々着実に増加しており、2022年度は年間1,854件の支援を行いました。地域の医療機関との連携推進のための登録医数/登録医療機関数も2023年3月時点で3,200を超えています。登録医を対象とした講演会/WEBセミナーの他、多職種による地域連携に関する研究会の開催、退院支援に関する院内勉強会も適宜開催しています。

## その他の取り組み

地域との連携をキーワードにしたさまざまなテーマに関するシンポジウムやセミナーの企画、運営を行っています。

## Operation System

The center is staffed by a multidisciplinary team of 2 doctors, 8 nurses, 11 medical social workers, 2 cancer counselors, 4 patient complaint clerks, 1 pharmacist, and 9 clerks. Cross-functional feature of the center enables it to provide various support programs that link hospitals and local communities. The main activities of the center are as follows:

- Supporting discharge plans for inpatients
- Supporting referrals of patients from / back to the community
- Providing information about available services
- Consultations with patients and families
- Providing opportunities for health promotion

## Scope of Medical Services

Local support nurses and medical social workers collaborate to coordinate homecare and hospital transfers for patients being discharged from our hospital. The Hospital-to-Clinic Collaboration Group makes the necessary arrangements for hospital-to-clinic collaboration and hospital-to-hospital collaboration (providing and accepting introductions). The center provides counseling on a wide range of issues, such as continued healthcare and the medical welfare system. In addition, it provides the information and support that patients need in order to utilize community resources.

## Features

The center is run in a cross-organizational manner bringing professionals from different fields together to flexibly execute the functions required for liaison with community healthcare. Our motto is to establish a Quality Of Life-based support structure to help patients accomplish the Activities of Daily Life.

## Medical Service Results

The number of patients who receive support before discharge has been steadily increasing, reaching a total of 1,854 in fiscal year 2022. The number of registered doctors / facilities promoting collaboration among medical facilities in the community exceeded 3,200 as of March 2023. This center proactively holds lectures / web seminars for registered doctors, workshops on community liaison by multidisciplinary teams, and in-house workshops for optimal discharge planning.

## Other Undertakings

The center plans and hosts a variety of symposiums and seminars aimed to promote liaison with communities.

## 小児がん治療センター Children's Cancer Center

センター長 高橋 義行 (教授)  
Director TAKAHASHI, Yoshiyuki (Professor)

## | 小児がん患者に最高の医療を

当院が小児がん拠点病院に選定されたことから、治療体制の充実を図るために当センターは設立されました。



## | Best medical care for all children with cancer

This Center is established to enhance medical status aiming to fulfill the task as the nation's designated Childhood Cancer Hub Hospital.

## 業務体制

小児がん治療センターは、センター長(兼任)のもと、小児がんの診療に関わる関連各科の教員(兼任)と、外科系、内科系専任教員のほか、小児がん診療に従事する内科系、外科系レジデントで構成されます。

## 業務内容

小児がんの診療に関わる小児科、小児外科、脳神経外科、整形外科、放射線科、外来化学療法部等が協力して、小児がん診療、研究を牽引する他、専門的知識を有する医療従事者の育成を行います。

## 特色

他院では治療困難な難治性小児がんの治療を行っています。それゆえ、入院患者の半数が造血幹細胞移植が必要です。県外からの紹介患者も多く、患者家族の滞在施設(ドナルド・マクドナルド・ハウス なごや)を併設しています。

## 業務実績

年間の造血器腫瘍、固形がんの新規入院患者数の総計は60名です。また、自家および同種造血幹細胞移植の症例数は35~45名です。とりわけ、神経芽細胞腫の紹介が多く、年間10名に達します。

## その他の取り組み

家族間HLAミスマッチ移植など、難易度の高い同種造血幹細胞移植の占める割合が多く、合併症の克服をめざし、ウイルス特異的細胞障害性T細胞療法や間葉系幹細胞療法などの先進医療を実施しています。

〈独自ホームページ〉

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/kyoten/ped-cancer/>

## Operation System

Children's Cancer Center is operated under the Director (concurrent post), followed by full-time faculties of sections related to childhood cancer including surgery and pediatrics. Residents who are related to childhood cancer are also included.

## Scope of Medical Services

Childhood cancer related departments namely Pediatrics, Pediatric Surgery, Neurosurgery, Orthopedic Surgery, Radiology, Clinical Oncology and Chemotherapy will collaborate to draw a lead in childhood cancer treatment, studies and medical staff training.

## Features

We mainly offered care and treatment for intractable cancers which are difficult to treat in other hospitals. More than half of the patients require stem cell transplantation. A large number of patients come from long distance away and we offer lodging facility for families with hospitalized children (RMH Nagoya).

## Medical Service Results

The total number of newly diagnosed patients with hematopoietic malignancy or solid cancer is 60 per year. Autologous or allogeneic stem cell transplantation cases are 35 to 45. Neuroblastoma cases take up the majority which adds up to 10 per year.

## Other Undertakings

We perform high-risk stem cell transplantation such as transplantation from a HLA-mismatched family donor. In order to cope with complications, we administer advanced medicine, for instance, virus-specific cytotoxic T lymphocyte cell therapy and mesenchymal stem cell therapy.

〈Website of the Department〉

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/kyoten/ped-cancer/>

## 重症心不全治療センター Heart Failure Center

センター長 六鹿 雅登 (教授)  
Director MUTSUGA, Masato (Professor)

## | 多科多職種チームで重症心不全に挑む

補助人工心臓・心臓移植を含めた高度心不全治療を提供します。



## | A multidisciplinary, multitalented team of experts battle severe heart failure

We provide advanced medical care including ventricular assist devices and heart transplantations to patients with heart failure.

## 業務体制

循環器内科医および心臓外科医、コーディネーター、人工心臓管理技術認定士を中心に、多科多職種にわたる包括的診療チームを構成し、円滑な重症心不全管理にあたっています。

## 業務内容

激増する難治性心不全に対し、心臓移植や補助人工心臓治療、緩和ケアを含めた包括的心不全治療を提供します。病気や治療に対する不安に対する精神面のケアも含め、多職種で構成されたチームで生涯にわたる患者さんの意思決定を支援します。

## 特色

県下最大件数の植込型および体外式補助人工心臓治療を行っています。また、中部地区唯一の心臓移植認定施設として、心臓移植医療を提供します。

## 業務実績

心臓移植11例、植込型補助人工心臓治療98例、体外式補助人工心臓治療82例 2023年4月現在

## その他の取り組み

ご紹介いただいた患者さんが来院できないご病状の場合には、当院のチームが紹介施設に赴き、治療法をご説明することがあります。その際、適切な血行動態の維持や迅速な治療の引き継ぎのため、紹介施設とともに最善の治療方針を提案します。また、紹介施設との情報の共有に努めます。

## Operation System

A multidisciplinary comprehensive clinical team comprising specialists from diverse disciplines such as cardiologists, cardiac surgeons, coordinators, and certified ventricular assist system technologists ensures smooth and efficient management of severe heart failure.

## Scope of Medical Services

In response to drastic increases in refractory heart failure, we provide comprehensive treatment ranging from heart transplantations and ventricular assist devices to palliative care. Our multidisciplinary team supports a patient's decisions throughout his/her life, and includes psychological support to deal with anxiety about the illness and treatment.

## Features

We currently conduct the largest number of implanted and extracorporeal ventricular assist device procedures in Aichi Prefecture. As the only certified heart transplantation institution in the Chubu (Central Japan) region, we can provide heart transplantations.

## Medical Service Results

We have been experienced 98 patients with implantable ventricular assist devices and 82 extracorporeal ventricular assist devices. We also have been experienced 11 heart transplants (as of April, 2023).

## Other Undertakings

If a referred patient cannot come to our hospital independently due to his/her illness, a team from our hospital may visit the referring institution to explain treatment options. We will propose an optimal treatment policy in cooperation with the referring hospital to ensure the patient can be transferred to our care swiftly, and with no compromise in hemodynamics. After transfer, we will try to keep the referring institution informed.



## ゲノム医療センター Medical Genomics Center

センター長 安藤 雄一 (教授)  
Director ANDO, Yuichi (Professor)結果の解釈・意味づけから、  
カウンセリングまでゲノム医療を広くカバー

センターのミッション:ゲノム医学の進展により、全診療科、全疾患と関わる時代が到来したゲノム医療と、院内外の関連部門・診療科、患者さんおよびそのご家族を繋ぎます。

## Covering a wide range of genomic medicine, from interpretation of the results to counseling.

We are to connect all the medical field and staff with proper genomic medicine to help patients and family members involved.



## 業務体制

がんゲノム医療部門、難病等ゲノム医療部門、ゲノム解析部門、遺伝カウンセリング部門の4つの部門から構成される横断的なセンターです。

## 業務内容

当院は厚労省の指定するがんゲノム医療中核拠点病院であると同時に、日本医療研究開発機構 (AMED) が主導する未診断疾患イニシアチブ (IRUD) 診断拠点及び解析拠点です。がんを含む多様な疾患を対象としたゲノム医療が、広く国民の手に届くものになるために、ゲノム医療をけん引する高度な医療を有する機関として認められ、指定されたものです。ゲノム医療を実践するために診療科を超えて各部署をつなぎ、患者さんの治療や予防に役立てるよう、ゲノム解析結果の意味づけなどを行います。二つのゲノム医療部門に加えて、遺伝カウンセリング部門においては多岐にわたる疾患に関連した遺伝カウンセリングを行う、総合的なゲノム医療の実践と発展を担うセンターです。

## 特色

センターとして院内すべての部門・診療科と連携がとれるよう努めており、各診療科に1名ずつ遺伝担当医を指定し、遺伝や遺伝子に関わる心配をお持ちの患者さんとそのご家族への支援体制を整えております。また院内外のゲノム解析研究機関や医療機関との連携により、先端的な解析と、患者・家族に資する医療体制を実現しております。

## 業務実績

## がんゲノム医療部門

保険診療のがん遺伝子パネル検査を中心に、がんの患者さんへのがんゲノム医療を提供しています。平成30年2月からはがんゲノム医療中核拠点病院として、地域のがんゲノム医療拠点病院/連携病院と協力しながら、東海地区のがんゲノム医療の推進に取り組んでいます。

## 難病等ゲノム医療部門

難病の本態解明を進め、早期診断や治療につなげるためのゲノム解析研究の推進を担う部門です。

## ゲノム解析部門

医学系研究科・環境医学研究所とも連携し、IRUD (未診断疾患イニシアチブ) 診断拠点として多様な疾患のゲノム解析を実施しております。

## 遺伝カウンセリング部門

院内患者さんを中心に、ご家族も含め年間約300件以上の遺伝カウンセリングを行っています。

## Operation System

This cross-sectional center consists of 4 sections: Cancer Medical Genomics section, Medical Genomics for Intractable Disease section, Genetic Counseling section, and Genomic Analysis section.

## Scope of Medical Services

This hospital is a Core Hospital for Cancer Genome Medical Care designated by the Ministry of Health, Labor and Welfare, as well as a diagnostic center and analysis center for the Initiative on Rare and Undiagnosed Disease (IRUD) led by the Japan Agency for Medical Research and Development (AMED). In order to make genomic medicine for various diseases, including cancer, widely accessible to the public, it has been recognized and designated as an institution with advanced medical care that leads genomic medicine. In order to practice genome medicine, the institute connects various departments beyond the medical departments and makes sense of the results of genome analysis for the treatment and prevention of patients. In addition to the two genome medicine departments, Genetic Counseling Department provides genetic counseling related to a wide range of diseases, and is a center for the practice and development of comprehensive genome medicine.

## Features

As a center, we strive to collaborate with all departments and clinics in the hospital, and one geneticist is designated in each department to provide support for patients and their families with genetic and gene-related concerns. In addition, by collaborating with genome analysis research institutes and medical institutions both inside and outside the hospital, we are able to realize advanced analysis and a medical system that contributes to patients and their families.

## Medical Service Results

## Cancer Medical Genomics section

The Division of Cancer Genome Medicine provides Cancer Genome Medicine to patients with cancer, focusing on cancer gene panel tests for insurance purposes. Since February 2018, we have been working to promote cancer genome medicine in the Tokai area as a Core Hospital for Cancer Genome Medical Care, in cooperation with Regional Base Hospitals for Cancer Genome Medicine and cooperating hospitals.

## Medical Genomics for Intractable Disease section

Medical Genomics for Intractable Disease section is newly established in the scope of promoting research and development to improve the treatment of rare and intractable diseases.

## Genomic Analysis section

We are a diagnostic center for IRUD (Initiative on Rare and Undiagnosed Disease) working together with Graduate school of Medicine, Research Institute of Environmental Medicine of Nagoya University and have experience in genome analysis for various diseases.

## Genetic Counseling section

We provide genetic counseling for more than 300 cases a year, mainly for patients in our hospital, but also for their families.

## 炎症性腸疾患治療センター Inflammatory Bowel Disease Center

センター長 中山 吾郎 (准教授)  
Acting Director NAKAYAMA, Goro (Associate Professor)潰瘍性大腸炎とクローン病患者さんの  
ための専門外来

潰瘍性大腸炎とクローン病を中心とした炎症性腸疾患 (Inflammatory bowel disease: IBD) の患者さんに対して、IBDの専門知識を有するIBDチーム (専門医、看護師、栄養士、薬剤師等) が、患者さんに寄り添う診療を行います。臨床経過や各種検査所見から、十分な時間を割いて、薬による治療のみならず、手術も含めた治療方針の提示を行います。手術が必要な患者さんには、内科と外科の密な連絡により手術がスムーズに受けられるよう致します。通常の診療では難しい病状の患者さんには、入院治療も含め当センターの総力で治療を進めます。患者さんの社会復帰、就学、妊娠出産を含めたサポートを行います。

## Out-patient clinic for the patients with ulcerative colitis and Crohn's disease

This clinic gives the time and knowledge for the patients suffering from inflammatory bowel disease (IBD) by an IBD team consisting of expert doctors and medical staffs including nurses, pharmacists and nutritionists. We provide multidisciplinary approaches for refractory IBD patients by internal and surgical aspects, and a patient will receive medicine, surgery and postoperative care comfortably by close connection between internal physicians, surgeons, and medical staffs. We make effort to support the rehabilitation into life events such as, going to school, getting pregnant, giving birth to a baby and so on.



## 業務体制

IBD外来として、火曜午後、木曜午後と金曜午後で患者さんを診察します。

## 業務内容

内科外科専門医師による診察です。

## 特色

内科外来と外科外来を設置、肛門病変や手術適応の相談が時間差無しでできること。  
ストーマ外来とリンクできること。

## 得意分野

大腸内視鏡、全小腸検査 (カプセル内視鏡、バルーン内視鏡)、腹腔鏡手術、骨盤・肛門手術

## 診療実績

潰瘍性大腸炎 約400名、クローン病 約300名の患者さんが通院されています。

## 手術実績

クローン病手術 約400例、潰瘍性大腸炎手術 約200例

## 先進医療・研究

治験、臨床研究、競争的資金獲得あり。臨床研究としてIBD患者さんと過敏性腸症候群患者さんへの便移植治療、IBD患者さんへの亜鉛とビタミンDの補充療法を行っています。

## その他の取り組み

IBD内科医とIBD外科医が同時に外来を担当するため、患者さんの情報共有をスムーズに行うことができ、シームレスな診療を提供できる点が優れています。

また、地域の中核病院として難治例の治療を受け入れ、センターの総力で治療にあたります。

## Operation System

On afternoons, Tuesday, Thursday, and Friday

## Scope of Medical Services

Consultation by expert doctors of inflammatory bowel disease

## Features

Closed connection between internal physicians, surgeons, and medical staffs

## Strong Fields

Endoscopy series, small bowel endoscopy (capsule endoscopy, double-balloon endoscopy), laparoscopic surgery, pelvic and anal surgeries

## Clinical Results

Ulcerative colitis about 400 patients, Crohn's disease about 300 patients.

## Operation Results

Crohn's disease about 400 cases, Ulcerative colitis about 200 cases

## Advanced Medicine and Research

This center has several clinical trials and clinical researches, obtaining competitive fund supports. We provide the fecal microbiota transplantation, and zinc and vitamin D supply treatment as the clinical trial.

## Other Undertakings

Internal physicians and surgeons see IBD patients at the same place and exchange information of patient and diseases timely.

## メディカルITセンター Medical IT Center

センター長 白鳥 義宗 (病院教授)  
Director SHIRATORI, Yoshimune (Clinical Professor)

### 情報管理の面から病院を支える

メディカルITセンターは、大学病院として診療録を中心とする情報の質の担保を支援し、さらにIoTデバイスやBig Dataを利用した技術開発を行う部署です。患者さんの個人情報を守り、全体最適化の観点から質の高い医療を推進できるような日々更なる開発を行っています。

### Support hospital administration from the viewpoint of information management

The medical IT center supports university hospital as collateral of quality of information centering on medical record, further supports IoT device and big data analytics. We keep developing medical information technologies and develop further day by day so that high quality medical care can be promoted from the viewpoint of overall optimization.



#### 業務体制

教員と技術系職員等が、協力して研究開発に取り組む体制を整えています。

#### 業務内容

AI・IoTなどを用いた診療を支援するシステムの開発、診療情報のみならず地域医療構想のための医療情報の質の管理・データ抽出・分析等に関するアドバイス業務に加え、全職員への情報リテラシー教育などを通して、臨床情報を用いた研究等の推進を行っています。

#### 特色

個人情報保護、医療情報のデータ活用、IT機器開発、臨床研究支援といった幅広い分野をカバーしているのが特徴です。

#### 業務実績

電子カルテと100を超える部門システムとの連携を行い、診療科の枠を超えて全ての診療情報を統合することに成功しました。これらのシステムの運用は“業務の見える化”としてUMLを公開しています。そして、精度の高い情報の創生のために監査体制をととのえ、医療情報の質を担保しています。

#### その他の取り組み

当院のデータだけでなく、愛知県内のデータ集約による解析や、ロボットなどの最先端IT技術の開発も合わせて行っています。

#### Operation System

Faculty staff works cooperatively in collaboration with medical information engineer and health information manager.

#### Scope of Medical Services

We promote development of systems that support medical care using AI / IoT, advice work on quality management, data extraction and analysis of medical information, and information literacy education for all officials.

#### Features

It is characterized by covering a wide range of fields such as personal information protection, medical information data utilization, IT device development, and clinical research support.

#### Medical Service Results

We have collaborated with electronic charts and more than 100 departmental systems and succeeded in integrating all medical information beyond the framework of the department. Operation of these systems publishes UML as "visualization of business". In order to create highly accurate information, we have established an audit system to guarantee the quality of medical information.

#### Other Undertakings

In addition to our hospital data, we are also conducting an analysis based on data aggregation within Aichi Prefecture and developing state-of-the-art IT technologies such as robots.

## 移植連携室 Transplant Coordination Service

室長 丸山 彰一 (教授)  
Manager MARUYAMA, Shoichi (Professor)

### 移植医療をめぐる 院内・病診連携と患者サービスの拠点

移植医療に必要な患者さんへの情報提供・相談対応と、院内関連部署・院外施設との連携調整を行う部門です。

### The center for organ transplantation in the hospital, or cooperation between hospital and local clinics, and patient services

The department provides patients requiring organ transplantation with information and advice and serves as a liaison between the related departments in the hospital and with outside institutions.



#### 業務体制

専任移植コーディネーター(看護師)が在籍し、院内関係診療科や部門、さらに地元医療機関と連携しながら、初診から移植待機・入院・手術・退院後の外来診療における身体面・心理社会面のケアを担当しています。

#### 業務内容

上記に加え、生体ドナー(臓器提供者)の保護、提供後生涯にわたる心理社会面の相談も重要な仕事です。増加する脳死移植では、待機中の病状管理を地元と連携して行っています。

#### 業務実績

当院では、肝臓移植、腎臓移植、心臓移植、造血幹細胞移植、そして肺移植開始の準備も行っています。移植医療に必要な様々な業務を行っており、特に心理社会面については、精神科医、臨床心理士、地域連携・患者相談センターなどと連携しています。

#### その他の取り組み

移植待機中に始まり、臓器提供から移植手術、その後の生涯にわたる診療における、技術面のみならず、倫理面・経済面・心理社会面のさまざまな課題に対処する最善のシステムを築くため、多職種と連携しながら日々活動しています。

#### Operation System

The full-time transplant coordinators (nurses) provide patients with physical and psychosocial care throughout the process, from initial consultation and waiting list, to hospital admission, surgery, and medical care after discharge from the hospital, while working closely with related clinics and departments in the hospital and with local medical institutions.

#### Scope of Medical Services

In addition to the above, another important role is to protect living donors (organ donors) and provide them with psychosocial care for life. For transplantation from brain-dead donors, which is now increasing, the department manages the conditions of patients waiting for donation in close liaison with local institutions.

#### Medical Service Results

We are also preparing for liver transplantation, kidney transplantation, heart transplantation, hematopoietic stem cell transplantation, and lung transplantation. We perform various business necessary for transplantation medicine. Especially in the psychosocial aspect, we cooperate with psychiatrists, clinical psychologists, Center for Community Liaison and Patient Consultations, etc.

#### Other Undertakings

We strive to establish the best system to address various issues regarding not only technical matters but also ethical, financial, and psychosocial aspects that arise during the period while the patient is waiting for a donor organ to when a donor is found and the patient undergoes the transplantation, and then while the patient is receiving lifelong care.



## 電子カルテ管理室 Electronic Medical Record Management Office

室長 松下 正 (教授)  
Manager MATSUSHITA, Tadashi (Professor)電子カルテの管理、課題対応を通して  
病院業務を支える

電子カルテ管理室は、病院情報管理システム及びカルテ情報の管理・運用等を行い、あらゆる診療情報を適切に管理し、安全な診療の提供及び医療の品質の向上のための支援を目的としたシステム管理部門です。電子カルテや診療情報に関する要望や課題を整理し、対応を推進することで病院運営を支えます。

Support hospital operations by managing and  
improving electronic medical records

The Electronic Medical Record Management Office is a system management department that manages and operates the Hospital Information Management System, the electronic medical record of Nagoya University Hospital to ensure effective management of all medical information and to support the provision of patient safety and improvement of the quality of medical care. It supports hospital operations by organizing requests and issues related to electronic medical records and medical information, and promoting responses.



## 業務体制

室長、副室長及び室員(教員・医療従事者等)が、医事課の医療情報技師及び診療情報管理士と連携し、協力して業務に取り組む体制となっています。

## 業務内容

- 電子カルテ(病院情報管理システム)の運用管理(ヘルプデスク対応含む)
- 各種部門システムに関する運用支援
- サーバ、端末、プリンター、ネットワーク機器等のハードウェア管理
- 病院情報管理システムへの改善要望に対する対応方針の決定と実施
- 情報セキュリティに関する管理と利用者への啓発活動
- 次期システムに向けた医療情報化の更なる推進のための企画、提案
- 診療情報の管理及び利活用に関する支援
- その他病院情報管理システムの管理及び診療情報に関すること

## 病院情報管理システムについて

現在は2018年1月に稼働した第7次病院情報総合システムの運用・管理に取り組んでいます。2024年度には次期(第8次)システムが稼働予定で、情報通信技術によりさらに安全で品質の高い医療の提供に貢献します。

## Operation System

The director, deputy director, and members of the office (faculty members, medical staff, etc.) work in collaboration with medical information engineers and medical information managers of the Medical Affairs Section.

## Job description

- Operation and management of electronic medical records (hospital information management system), including help desk support
- Operational support for various departmental systems
- Hardware management of servers, computers, printers, network equipment, etc.
- Determination and implementation of policies for responding to requests for improvements to the hospital information management system
- Management of computer information security and educational activities for users
- Planning and proposal for further promotion of medical informatization for the next system
- Support for the management and utilization of medical information
- Other issues related to the management of the hospital information management system and medical information

## About the hospital information management system

Currently, we are working on the operation and management of the 7th Hospital Information Comprehensive System, which started operation in January 2018. The next (8th) system is scheduled to start operation in 2024.

The next (8th) system is scheduled to go into operation in FY2024, and will contribute to the provision of safer and higher quality medical care through information and communication technology.

## 先端医療開発部 Department of Advanced Medicine

部長 水野 正明 (病院教授)  
Director MIZUNO, Masaaki (Clinical Professor)次代を担う新しい医療を開拓する  
先端医療開発部

次世代医療の開発を通して革新的医療技術創出拠点(臨床研究中核病院並びに橋渡し研究支援機関)の研究開発推進部門としての役割を果たします。

Department that explores new medical treatments to  
lead the next generation

We develop new medical services as a creative center for novel medical technology through the development of next-generation medical care.



## 業務体制

名古屋大学医学部附属病院は、2018年8月に先端医療・臨床研究支援センターの発展的改組を行い、データ品質管理部門を独立させ、データセンターを新設、2センターからなる先端医療開発部を立ち上げました。

## 業務内容

先端医療・臨床研究支援センターは、「トランスレーショナルサイエンスとレギュラトリーサイエンスの協調を通じて次代の医療を開発します。」をミッションに掲げ、先端医療支援部門、臨床研究支援部門の2部門が設置されています。先端医療支援部門は、主に基礎研究からファースト・イン・ヒューマンまでのプロセスを担っています。一方、臨床研究支援部門は、主に臨床試験開始後のプロセスを担っており、可能な限りICH-GCP下で管理し、先進医療や医師主導治験の信頼性の確保に努めています。

データセンターは、「データ品質管理を通じて、臨床試験の科学性ならびに信頼性を確保します。」をミッションに掲げ、研究者から独立した客観的な立場で、データ品質管理を通じて臨床試験の科学性や信頼性を確保することを目的に2部門が設置されています。モニタリング、データマネジメント、統計解析の機能を受け持つ専任の教職員を擁しており、臨床試験の立案計画への関与をはじめ、GCP・ER/ES指針に対応するEDCシステムの構築運用、モニタリングの実施や教育、統計解析の実施や報告書作成など様々な活動を行っています。

## 特色

名大病院は、2012年に橋渡し研究支援拠点、2016年に臨床研究中核病院、2018年にがんゲノム医療中核拠点病院そして2022年に文部科学大臣認定の橋渡し研究支援機関にそれぞれ選ばれました。また、名大病院は自らが核となり、中部11大学と3センターからなる中部先端医療開発円環コンソーシアムを組織し、他大学・他研究所との連携を強化して、先端医療を世界に届けようとしています。

## Operation System

Nagoya University Hospital reorganized the "Department of Advanced Medicine" in August 2018, by separating the Data Quality Control Division from the Clinical Research Division of the formerly the Center for Advanced Medicine and Clinical Research (CAMCR) and integrating these two centers.

## Scope of Medical Services

CAMCR strives to develop new medical services for the next generation through harmonization of translational science and regulatory science. It has 2 major divisions: Advanced Medicine Division and Clinical Research Division. Advanced Medicine Division is primarily in charge of the processes ranging from basic research to first-in-human clinical trials. On the other hand, Clinical Research Division is primarily responsible for the processes subsequent to the initiation of clinical studies and endeavors to manage the processes under ICH-GCP wherever possible in an attempt to ensure the reliability of advanced medicine and investigator-initiated clinical trials.

Data Coordinating Center also strives to secure scientific validity and reliability of clinical trials through the quality control process of clinical data. It is charged to secure scientific validity and reliability of clinical trials by performing quality control of clinical data. From an objective standpoint, specialists in the area of clinical data monitoring, clinical data management, and biostatistics support clinical researchers in building and managing EDC-based data collection systems, monitoring clinical data including instructions to researchers, planning and conducting data analysis, and creating reports.

## Features

Nagoya University Hospital has been designated as a Translational Research Center since 2012, a Core Clinical Research Hospital since 2016, and a Core Hospital for Cancer Genome Medical Care since 2018. In 2022, Translational Research Center became accredited by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology. Nagoya University Hospital is also at the heart of the 14 Chubu-area facilities, 11 university hospitals and 3 centers, which consist of the Chubu Regional Consortium for Advanced Medicine (C-CAM) aiming to dispatch novel medical treatment to the world.

## 卒後臨床研修・キャリア形成支援センター Center for Postgraduate Clinical Training and Career Development

センター長 錦織 宏 (教授)  
Director NISHIGORI, Hiroshi (Professor)

### 若手医療人の育成と未来のために

若手医師、歯科医師に対する卒後臨床研修のほか、全医療職に対する生涯教育やキャリア支援を行っています。



### For fostering young medical professionals

In addition to postgraduate clinical training for young doctors and dentists, we provide lifelong education and career support for all medical professionals.

### 業務体制

医学部附属総合医学教育センター、看護キャリア支援室とともに職員の教育を担当しています。初期臨床研修医は、本センターに所属する形でローテーション研修を行っています。さらに、各診療科の若手の教員11名が教育専任教員として本センターに所属しています。

### 業務内容

卒後臨床研修専門委員会(医師の卒後初期臨床研修)、歯科卒後研修専門委員会(歯科医師の卒後初期臨床研修)、病院職員教育部会(職員の生涯教育)の実務を担当しています。初期臨床研修の管理、研修医のサポートを行っています。教育専任教員は、各診療科において、臨床実習中の学生の教育、ローテーション中の研修医教育を行っています。看護キャリア支援室では、キャリア支援セミナーや認定看護管理研修など多彩な教育プログラムが行われています。

### 特色

当院の医師だけでなく全医療職を対象とした卒後教育やキャリア支援を行う機能が特色です。

### その他

名大と深く連携している関連病院とのネットワーク(名大ネットワーク)の事務局も本センターが所管しています。

### Organization Structure

This center is in charge of educating hospital staffs along with comprehensive medical education center, and nursing career support room. Clinical residents rotate each department belonging to this center. In addition, 11 young faculty members in each department belong to this center as educational staffs.

### Activities Features

This center functions as the secretariat of the medical and dental postgraduate training committee and the hospital staff education committee. We are managing the initial clinical training and supporting of the resident. Educational staffs of this center placed in each department are educating medical students and residents. Various educational programs such as career support seminar and certified nursing management training are carried out at the nursing career support room.

### Features

This center features a function of education and career support for not only medical doctors but also all medical professionals in this hospital.

### Other Undertaking

This center is also responsible for the secretariat of MEIDAI (Nagoya University) network with affiliate hospitals.

## 難聴支援・治療センター Speech and Hearing Center

センター長 曾根 三千彦 (教授)  
Director SONE, Michihiko (Professor)

### すべての難聴者に適切な支援と医療の提供を

難聴に対する遺伝子を含めた診断やMRIなどを利用した原因検索、補聴器の導入、人工内耳手術などを多科多職種連携のもと行います。



### Providing appropriate support and medical care for all patients with hearing impairment

Diagnosis of hearing loss, including genetic diagnosis, search for the cause of hearing loss using MRI, the introduction of hearing aids, cochlear implant surgery are performed in collaboration with various professionals from various departments.

### 業務体制

医師4名、言語聴覚士3名を中心としたチームで構成されています。当センターでは専門スタッフが横断的にチームを組み、より質の高い医療サービスを提供できる診療および支援を目指しています。

### 業務内容

当センターは聴覚障害をもつ患者さんの診断・検査・治療を一貫して行うとともに、難聴児・難聴者や人工内耳装用者に対する総合的支援を行うことを目的として設立されました。難聴の診断・原因検索・治療およびサポートを中心としております。

### 特色

#### 内耳画像評価

メニエール病や遅発性内リンパ水腫などでは、内リンパ水腫の存在が発症に関与していると考えられています。当院では世界に先駆け、造影剤を用いたMRI検査により内リンパ水腫の視覚化に成功して診療に役立てております。また突発性難聴などの内耳障害においても造影MRIにより予後評価に応用しています。

#### 人工内耳治療

当院では東海地区で最も人工内耳手術を行っており、小児から高齢者まで、両側同時手術にも対応しております。術後も当チームによりハビリテーションプログラムを提供し、言語発達を支援します。

#### 遺伝性難聴

先天性難聴の少なくとも50%は遺伝子に関与していると推測されています。進行性難聴の一部では原因遺伝子の存在が知られています。当院では難聴に関わる保険診療の遺伝子検査だけでなく、他医療機関と連携する形で追加の遺伝子検査にも対応しております。

### Operation System

The team consists of four physicians and three speech therapists. The center's cross-functional team of professional staff aims to provide medical care and support that will enable the center to provide higher quality medical services.

### Scope of Medical Services

The center was established to provide integrated diagnosis, testing, and treatment for patients with hearing impairment and comprehensive support for children and persons with hearing loss and cochlear implant users. The center focuses on diagnosing, searching for causes, treatment, and support for hearing loss.

### Features

#### Inner ear imaging

In Meniere's disease and delayed endolymphatic hydrops, endolymphatic hydrops are considered related. We are the first to successfully visualize endolymphatic hydrops using contrast-enhanced MRI scans and have used this information in our medical treatment. Contrast-enhanced MRI is also used to evaluate the prognosis of inner ear disorders such as sudden hearing loss.

#### Cochlear Implantation

We perform the most cochlear implant surgeries in the Tokai area, from children to the elderly, even bilateral simultaneous surgeries. After surgery, our team provides a rehabilitation program to support language development.

#### Hereditary Hearing Loss

It is estimated that at least 50% of congenital hearing loss is genetic, and the causative gene is known to exist in some cases of progressive hearing loss. We offer insurance-paid genetic testing for hearing loss and additional genetic testing in collaboration with other medical institutions.



## 小児循環器センター Children's Heart Center

センター長 六鹿 雅登 (教授)  
Director MUTSUGA, Masato (Professor)①-1 ①-1 患者安全推進部 医学研究倫理・臨床倫理推進室  
| 高度な先天性心疾患医療を目指して

名古屋大学医学部附属病院として、より高度で総合的な小児医療を目指し、2022年度から診療を開始します。

①-2 診療科  
| Aiming for advanced treatment of congenital heart disease

In the Nagoya University Hospital, we began to provide medical treatment in 2022 with the aim of delivering more advanced and comprehensive pediatric medical care.



## 診療体制

先天性心疾患医療を専門とする、おもに小児科医と心臓外科医が直接診療に携わり、関連する麻酔科医、集中治療医、新生児科医、小児外科医、産婦人科医などと密接な協力体制をとりつつ、大学病院の強みを活かして集学的な治療に当たります。

## 対象疾患

コロナ禍の影響で、センターの立ち上げが遅れ、2023年に小児心臓外科病院教授として櫻井一先生、小児循環器病院准教授として大橋直樹先生が着任し、4月より心室中隔欠損症などの軽症例、成人先天性心疾患の治療を開始しています。徐々に重症例や新生児の複雑心疾患の診療へと拡大していく予定であります。

## 業務内容

外来診察、あるいは妊娠中の胎児期から、小児循環器科医が診断と内科的治療に携わり、必要であれば、カテーテル治療や、小児心臓外科医による手術治療を行います。術中は小児心臓麻酔医が、術後は集中治療医が中心に管理をし、急性期以後は小児循環器科医が引き続き経過をみていくこととなります。

## Medical Care System

Pediatricians and cardiac surgeons who specialize in congenital heart diseases will directly provide medical care. Furthermore, they will work closely with anesthesiologists, intensivists, neonatologists, and obstetricians. By taking advantage of the university hospital, we can provide multidisciplinary treatment.

## Target Diseases

The launch of the center was delayed due to the COVID-19 disaster, and in 2023, Dr. Hajime Sakurai was appointed as Clinical Professor and Dr. Naoki Ohashi as Associate Professor at the Pediatric Heart Center. In April, we started surgery cases such as ventricular septal defects and adult congenital heart disease. Gradually, we plan to expand the treatment of severe cases and complex cardiac diseases in neonates.

## Scope of Medical Services

Pediatric cardiologists will perform outpatient diagnosis and medical treatment, if necessary, from the fetal period. If indicated, the pediatricians shall also provide catheterization, while the pediatric cardiac surgeons will provide surgical treatment. During surgery, pediatric anesthesiologists will manage the patients. After surgery, intensivists will manage them. After the acute phase, pediatric cardiologists will continue to follow-up with the patients.

## 希少がんセンター Rare Cancer Center

センター長 小寺 泰弘 (教授)  
Director KODERA, Yasuhiro (Professor)

## | わが国のがん患者の15%は「希少がん」にあてはまります。

希少がんは年間の罹患率が人口10万人当たり6名未満の稀ながんを指します。稀であるため、診療・研究面において多くの課題があります。名古屋大学では、これらの課題に取り組むため、診療科横断的なセンターを設置しました。

## | In Japan, 15% of cancer patients fall within the category of "rare cancer."

Rare cancer refers to cancers with an annual prevalence of less than 6 per 100,000 population. Because of its reality, there are many challenges in clinical medicine and research. Nagoya University has set up a multidisciplinary center to resolve these issues.



## 業務体制

患者さん、患者さんのご家族、地域の医療者の皆様からの希少がんに関する問合せに対応するため、専用の相談窓口「希少がんホットライン」を開設しています。当センターは、診療科の枠を超え、関係する診療科や診断・治療部門等との連携体制を敷いています。

## 業務内容

「希少がんホットライン」では、関係する診療科・中央部門等との連携のもと、相談内容に応じて、希少がんに関する情報提供および適切な診療科への紹介などニーズに対応したサポートを行います。希少がんは発生が稀であり、情報が少ないことが課題となっています。当センターでは、院内がん部門等と連携し患者さん、患者さんのご家族向けに公開講座、医療機関関係者向けの研修勉強会等を企画し、希少がんに関する理解や情報発信を行います。

## Operation System

We open a dedicated consultation desk "Rare Cancer Hotline" to respond to inquiries about rare cancer from patients, their families, and local medical professionals. This center goes beyond the boundaries of clinical departments and has a system of cooperation with related clinical departments and diagnostic / treatment departments.

## Scope of Medical Services

In the treatment of rare cancers, the lack of information about the disease and treatment is often a problem. We plan to disseminate information on rare cancers by holding open lectures for patients and their families and workshops for medical staff in collaboration with other cancer departments in our hospital.

## てんかんセンター Epilepsy Center

センター長 齋藤 竜太 (教授)  
Director SAITO, Ryuta (Professor)てんかん患者さんとそのご家族に  
最高の医療を！

当院が国のてんかんの地域診療連携体制の整備事業における愛知県てんかん診療拠点病院に選定されました。それをうけ診療の充実をはかるためてんかんセンターが整備されました。

## The best care for all epilepsy patients and families.

The Nagoya University Hospital has been designated as the Aichi Prefectural Epilepsy Medical Center Hospital in the national project to improve the regional medical care cooperation system for epilepsy. For this project, Nagoya University Hospital Epilepsy Center provides comprehensive medical care for patients with epilepsy in collaboration with the Departments of Neurology, Neurosurgery and Psychiatry.



## 業務体制

てんかんセンターはセンター長(兼任)のもとてんかん診療にかかわる関連各科の医師、看護師、臨床検査技師、薬剤師、作業療法士などのリハビリ関連の職種、精神保健福祉士、臨床心理士など多職種で構成されます。

## 業務内容

てんかん診療に関わる、脳神経外科、脳神経内科、小児科、精神科などの診療各科に加え、看護部、薬剤部、検査部などの多岐にわたる専門知識を有する医療部門による集学的な医療を行い、またその医療従事者の育成を行います。

## 特色

てんかんの診断、特に焦点診断には脳波検査、長時間脳波検査、高精度MRI、FDG-PET、SPECT、脳磁図、EEG-fMRI(脳波-機能的MRI同時記録)、硬膜下電極による脳波測定、深部電極による脳波測定など多くの高度医療機器を要しますが、名古屋大学医学部附属病院および脳とこころの研究センターでこれらを全て行うことができます。

また、てんかんセンターは名大病院内のみにとどまらず、愛知県てんかん治療医療連携協議会の拠点機関として活動しています。愛知県てんかん治療医療連携協議会は県内のてんかん診療を行う医療機関の連携をはかり、よりよい医療体制を整備するために行政、患者さん御自身および御家族から構成される組織です。

## 業務実績

年間てんかん患者さんは新生児から高齢者まであらゆる年齢で約2,500人(実人数)、そのうち新患は約150人です。また年間15-20件のてんかん外科手術を行っています。

毎月症例検討会を行い、特に難治てんかんの患者さんの治療方針を多職種で検討しています。

## その他の取り組み

てんかんの治療だけでなく、医療者、患者さん向けに講習会、公開講座を行い知識啓発にも取り組んでいます。

## Operation System

Various medical specialists such as doctors, nurses, clinical laboratory technicians, pharmacists, occupational therapists, physical therapists, mental health workers, and clinical psychologists who related to epilepsy treatment work at the Epilepsy Center.

## Scope of Medical Services

In addition to clinical departments related to epilepsy treatment, such as neurosurgery, neurology, pediatrics, and psychiatry, we provide multidisciplinary medical care through collaboration with a wide range of specialized divisions of nursing, pharmacy, and clinical examination. We will also train the medical staff.

## Features

The diagnosis of epilepsy, especially focal diagnosis, requires many advanced medical devices such as EEG, long-time EEG, high-resolution MRI, FDG-PET, SPECT, magnetoencephalography, EEG-fMRI (simultaneous EEG and functional MRI recording), and EEG measurement using subdural electrodes or deep brain electrodes. All of these examinations are available at Nagoya University Hospital and Brain and Mind Research Center of Nagoya University. In addition, the Epilepsy Center functions as a central medical institution in the Aichi Prefectural Epilepsy Treatment and Medical Cooperation Council, which is an organization consisting of the medical specialists, government, patients, and their families in order to provide epilepsy treatment and care and to develop a best medical system.

## Medical Service Results

The annual number of epilepsy patients who visit Nagoya University Hospital is about 2,500 at all ages, from newborns to the elderly, of which about 150 are new visit patients. We also perform 15-20 epilepsy surgeries annually. A case review meeting is held every month to discuss treatment policies for patients with intractable epilepsy among specialists.

## Other Undertakings

In addition to treating epilepsy, we also hold seminars for medical professionals and public lectures to deepen knowledge and understandings of epilepsy.

## 薬剤部 Department of Hospital Pharmacy

部長 山田 清文 (教授)  
Director YAMADA, Kiyofumi (Professor)

## 膨大な医薬品の管理を一手に受け持つ

薬剤部は、適正な薬物療法を支援するために、医薬品の管理、供給、情報の提供および患者さんへの服薬指導を行っています。患者さんにとってより安全で有効な、また経済的にも優れた薬物療法を提供できることを目標としています。

## Solely in charge of management of the large quantities of medicines and drugs

To ensure safe and high quality pharmaceutical care, the department of hospital pharmacy controls the supply of medications and provides information on medication to both staffs and patients. Our primary mission is to provide patient-focused and cost-effective pharmaceutical care to all patients.



## 業務体制

調剤室、注射調剤室、製剤室(第一・第二・第三)、麻薬室、薬品情報室、薬歴管理室(第一・第二・第三)、試験室、薬務室、高度医療薬剤支援室、医薬品安全管理支援室、未承認新規医薬品等管理室、治験薬管理室および事務室で構成されています。

## 業務内容

医薬品の調剤・管理・発注、院内製剤・輸液・抗がん剤の調製、麻薬管理、医薬品情報の収集・提供、薬事委員会業務全般、薬物血中濃度測定・投与設計、服薬指導、持参薬確認、退院時服薬指導などを行っています。

## 特色

薬剤師としての専門性を生かして、医薬品の効果を最大限とし、副作用を最小限に抑えるために様々な活動を行っています。例えば、各診療科の医師と連携して、入院患者さんの服薬指導は勿論のこと、外来患者さんを対象に服薬指導を目的とした薬剤師外来(喘息薬剤師外来、ワルファリン薬剤師外来、いきいき脳活性化お薬外来、慢性腎不全薬剤師外来、がん薬剤師外来、腹膜透析外来)を開設し、治療効果の向上と副作用の防止に努めています。

## 業務実績

その他の支援業務として、認証レジメンに基づいたがん化学療法の処方監査・抗がん剤調製(化学療法部)、およびPETに用いる薬物の検定(放射線部)を行っています。

## その他の取り組み・研究

関連学会の認定・専門・指導薬剤師の資格を有する当部職員は延べ63名、博士号取得者は17名です。また、薬剤部長および副薬剤部長5名のうちの1名は、医学部の教育および大学院医学系研究科医療薬学を担当する教員です。

## Operation System

The department consists of a drug dispensing section, injection dispensing section, drug formulation sections (I, II and III), narcotic drug section, drug information section, medication record management sections (I, II and III), testing laboratory, drug affairs section, advanced medical drug support section, drug safety control support section, management unit of unapproved medication and others, management unit of investigational drugs, and administration office.

## Scope of Medical Services

The department purchases, prepares, formulates, and manages drugs; prepares infusion solutions and anticancer drugs; keeps control of narcotic drugs; and gathers and provides information on drugs. The department is also in charge of the operations of the pharmaceutical affairs committee, therapeutic drug monitoring (TDM), pharmaceutical care plan, medication guidance, medication reconciliation on admission, and patient education upon discharge from the hospital.

## Features

Pharmacists give patients a variety of professional services that provide maximum benefit within minimum adverse effects of drug therapy. For example, pharmacists cooperate with physicians in each department to provide pharmaceutical care not only for inpatients, but also for outpatients in pharmacist-managed clinics [asthma clinic, warfarin clinic, dementia clinic, chronic kidney disease (CKD) clinic, oncology pharmacist clinic, and peritoneal dialysis (PD) clinic] to improve the outcome of drug therapy and to minimize the adverse effects.

## Medical Service Results

Other support includes checking prescriptions for cancer chemotherapy, preparing antineoplastic drugs according to certified regimens (Department of Clinical Oncology and Chemotherapy), and testing drugs used for PET (Central Block of Radiology).

## Other Undertakings and Research

In our department, there are 63 pharmacists (board-certified pharmacists and pharmacy specialists certified by academic societies) and 17 doctoral degree holders. The Director for the Department of Hospital Pharmacy and one of five Deputy Directors for the Department of Hospital Pharmacy also teach at the School of Medicine and the Department of Neuropharmacology and Hospital Pharmacy of the Graduate School of Medicine.



## 看護部 Department of Nursing

部長 藤井 晃子  
Director FUJII, Akiko①-1 患者安全推進部 医学研究倫理・臨床倫理推進室  
安全で信頼と安心を提供できる  
看護を目指す

患者さんの権利を尊重し、より質の高い看護サービスの提供を目指しています。また優秀な看護師を育成するため、様々な取り組みを行っています。

## Aiming to provide safe nursing care that enables patients to feel a sense of security and trust

Respecting patients' rights and aiming to provide the possible highest-quality nursing services. Also, making various efforts to foster excellent nurses.



## 業務体制

患者さんの権利を尊重し、「安全」「信頼」と「安心」を提供できる看護を目指し、組織一丸となって、より質の高い看護が提供できるように努めています。看護体制として名大式パートナーシップナーシングを導入しており、看護師2名がペアで看護業務を行うことで、安全性の確保、効率的な看護の提供、看護業務の負担軽減を期待しています。

## 業務内容

高度先端医療を提供する大学病院の看護師として、質の高い看護サービスの提供と高度な専門性と先進性を追求し、時代や社会の変化に応じた積極的な活動を展開しています。また施設内にとどまらず、大学病院の実践知と教育を通して地域との連携を推進しています。

## 特色

卓越した技術、深い知識、そして豊かなホスピタリティマインドを備えた看護師を育てるために、実践と教育を通して、誰もが一人前の看護師として成長できるように充実した教育環境を整えています。2009年度からは全国に先駆けて新人看護師を対象とした卒業臨床研修制度を導入し、職業人として成長・発達できる教育を組織的に取り組んでいます。また2006年度からは看護管理にBSCによる目標管理を実践することで、常に看護を患者の視点でとらえ、組織の活性化を図っています。2019年から育成を開始した特定行為研修修了者や専門・認定看護師がそれぞれの領域・部署で、ジェネラリスト・スペシャリストとしての役割拡大と、専門性を発揮した質の高い看護を提供しています。

## 業務実績

当院は特定機能病院であり、高度急性期病院として安全で質の高い医療・看護を提供する責務があります。そのため、2019年2月に国際医療施設評価認証機関(JCI)の認証を国立大学病院で初めて取得し、2022年3月に認証を更新しました。これにより、COVID-19患者への質の高い医療を提供するだけでなく、職員の安全を担保することも可能にしています。この他、各領域にわたる専門看護師・認定看護師が組織横断的な活動を実践して看護の質向上に努めています。また、2019年度からは「看護師の特定行為研修を行う指定研修機関」となり、特定行為研修を行う看護師の育成のみでなく、特定行為研修の指導者育成も行っています。専門・認定看護師だけでなく、ジェネラリストの看護師も、日本看護協会、がん看護学会など様々な学会や研究会において、臨床での研究成果を発表しています。

## その他の取り組み

時代のニーズに合わせて、常に変化に対応できる組織作りを行っています。2010年度には、文部科学省の大学改革推進事業において「Saving life ナース育成プラン」が採択され、クリティカルな場面に的確に対応できる「命を救う看護師」の育成に取り組んでいます。また、2019年からは看護師特定行為研修についても卒業臨床研修・キャリア形成支援センターと連携して取り組んでいます。

## Operation System

We aim to build a sense of trust and security while respecting patients' rights, and we strive to provide nursing care of the highest caliber through the united efforts of the entire organization. We have introduced a new system of Nagoya University-style partnership nursing, wherein our nurses work in pairs. This system ensures safety, increases efficiency, and lessens the burden of care placed on our nurses.

## Scope of Medical Services

As nurses at a university hospital providing advanced, cutting-edge medical services, we endeavor to provide high-quality nursing and pursue higher levels of specialization and advancement in order to meet the changing needs of the times and our communities. We promote collaboration not only within our facilities, but also with the greater community through the University Hospital's practical knowledge and education.

## Features

This department has an in-depth training system that produces nurses with sophisticated skills, deep knowledge and a sense of hospitality. From AY2009, the department has been conducting postgraduate clinical training for new nurses, ahead of other hospitals in Japan, as well as systematically working on education for them to grow and develop into professional nurses. In AY2006, we introduced BSC based management system in nursing administration, which allows us to provide nursing care from the viewpoint of patients service and revitalize the organization. Starting in AY2019, we have developed a system for nurses who have completed specialized nursing procedure training and specialized and certified nurses to increase their roles as generalists and provide high-quality specialized nursing care in their own fields and departments.

## Medical Service Results

Our institution is a Technology advanced hospital and as such, responsible for providing safe and reliable medical and nursing care as an advanced acute care facility. In February 2019, we were the first National University Hospital in Japan to receive JCI accreditation from the Joint Commission International, and re-certified in March 2022. It enables us to provide medical care to patients with COVID-19, and guarantees medical staffs' safety. Certified Nurse Specialists and qualified professional nurses from a broad range of specializations are active in cross-departmental activities throughout the institution, sparing no effort to ensure we provide the best nursing possible. As of 2019, we have been selected as a "Designated educational institution for the training of special nursing procedures." Thus, not only are we involved in educating nurses who can perform special nursing procedures, but we also teach leaders who will train other nurses in such procedures. It is not only the certified specialist nurses but general nurses who are active in participating and presenting at the Japanese Nursing Association, Japanese Society of Cancer Nursing and other academic societies and meetings, sharing research from their daily clinical practices.

## Other Undertakings

To meet current needs, we continually strive to remain an organization that keeps up with the changing times. In AY2010, our "Saving Life Nurse Training Plan" was selected by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science, and Technology's University Reform Promotion Project, and we are now actively involved in the training and education of "life-saving nurses" who can deal appropriately with critical situations. In addition, we have been working on the specialized nursing procedure training in cooperation with continuing education programs and the Center for Postgraduate Clinical Training and Career Development since 2019.

## 医療技術部 Department of Medical Technique

部長 阿部 真治  
Director ABE, Shinji

## 安全で良質な医療サービスを提供できるように

高度先端医療を担う大学病院に相応しい医療技術部として、優秀な人材を確保し、多種・多様化する臨床側からのニーズに柔軟に対応し、安全で良質な医療サービス(検査結果報告・治療支援など)を提供できる組織体制を目指しています。

## Providing safe and high-quality medical services

This department aims at maintaining excellent personnel, flexibly responding to a variety of needs from the clinical side, providing safe and high-quality medical services (medical examination and treatment aid). Through these aims, the department built its solid foundation as a university hospital with advanced medical practices and services.



## 業務体制

臨床検査部門(臨床検査技師83名)、放射線部門(診療放射線技師76名)、リハビリ部門(理学療法士36名、作業療法士9名、言語聴覚士5名、視能訓練士11名)、臨床工学・歯科部門(臨床工学技士43名、歯科衛生士7名、歯科技工士1名)、特殊技術部門(臨床心理士3名)の5部門で組織構成された、国家資格を持つ医療技術系職員の専門家集団です。

## 業務内容

臨床検査技師は検査部、病理部、輸血部などで臨床検査を、診療放射線技師は放射線部で画像診断検査・放射線治療を、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士はリハビリテーション部で患者さんのリハビリを支援し、臨床工学技士は臨床工学技術部で人工心肺装置や血液透析装置などの生命維持装置を操作し、多種多様の医療機器の保守管理を行っています。

## 特色

臨床検査部門は、国際的にも通用する良質な検査を診療側に提供することを目標に、2015年度にISO 15189: 2012認定を取得しました。

放射線部門は、最新の医療機器を導入して最先端の画像診断・放射線治療を提供しています。

リハビリ部門は、特定機能病院として急性期医療の充実及び先進医療の提供に向けて、周術期のリハビリテーションを中心に介入しています。

臨床工学部門は、高性能な機器を使用して、それに習熟した技士が安全な医療を提供しています。

## Operation System

This department has five groups of specialists with medical technology certifications. The groups are:

- Clinical examination group: 83 clinical laboratory technologists
- Radiology group: 76 radiological technologists
- Rehabilitation group: 36 physical therapists, 9 occupational therapists, 5 speech-language-hearing therapists, and 11 orthoptists
- Clinical engineering and dentistry group: 43 clinical engineering technologists, 7 dental hygienists, one dental technologist
- Special technological group: 3 clinical psychologist

## Scope of Medical Services

Clinical laboratory technologists aid clinical examinations at the Department of Clinical Laboratory, Department of Pathology and Laboratory Medicine, and Department of Blood Transfusion Service. Radiological technologists play a role in image diagnosis examination, radiographic examination and radiation therapy at the Central Block of Radiology. Physical therapists, occupational therapists, and speech-language-hearing therapists aid the rehabilitation of patients at the Department of Rehabilitation. Clinical engineering technologists maintain the heart-lung machine during an operation and the dialysis machine during dialysis. And we are maintaining and managing a wide variety of medical devices at the Department of Clinical Engineering.

## Features

The clinical examination group acquired ISO15189: 2012 accreditation in fiscal year 2015 to provide data based on international-level quality examination to doctors.

The radiology group introduces the most advanced medical equipment to provide the highest-quality diagnosis image and radiation therapy. The rehabilitation group has offered its services during the perioperative period in order to provide the best possible acute care medicine befitting an advanced treatment facility.

In the clinical engineering group, skilled clinical engineers provide safe medical services with high-performance equipment.



事務部 Administration Office

部長 藤江 進  
Director FUJIE, Susumu

①-1 患者安全推進部 医学研究倫理・臨床倫理推進室  
**多岐にわたる事務を処理し、迅速円滑な病院運営をサポート**

本院だけではなく、大学院医学系研究科・医学部における多種多様な事務について、各部署と連携を取りながら、迅速かつ円滑に処理しています。

①-2 診療科  
**Processing a variety of administrative work and supporting smooth hospital operations**

The Administration Office processes a variety of administrative work of this hospital as well as the graduate school of medicine and school of medicine. Fast, smooth processing is made through collaboration with each department.



①-3 中央診療施設等  
**業務体制**

事務部長の下に、事務部次長、総務課、人事労務課、学務課、経営企画課、経理課、施設管理グループ、医事課、大幸地区事務統括室を置いています。

**業務内容**

- 総務課  
病院の管理運営に係る企画・立案および改善に関する業務、広報関係業務、臨床研修関係業務、病院の評価に係る業務、医療安全管理・院内感染防止対策の事務に関する業務ほか
- 人事労務課  
職員の人事・給与・労務管理・福利厚生に関する業務、労働安全衛生に関する業務ほか
- 学務課  
学生の身分に関する業務、教務に関する業務、学生生活に関する業務、学生支援に関する業務、国際交流および留学生に関する業務ほか
- 経営企画課  
病院経営の企画、分析に関する業務、予算・決算に関する業務、受託研究、共同研究、受託事業及び補助金、寄附金などの外部資金の受入に関する業務、先端医療の支援に関する業務、研究倫理等に関連する審査、支援に関する業務ほか
- 経理課  
医薬品・医療材料などに関する業務、特定調達契約に関する業務ほか
- 施設管理グループ  
病院の将来計画に係る施設、設備などの企画・立案および改善に関する業務、院内の環境整備に関する業務、資産管理に関する業務、警備・防火・防災に関する業務ほか
- 医事課  
診療契約、診療費の請求・収納などに関する業務、患者さんの受付などに関する業務、患者さんの診療報酬請求に関する業務、診療報酬に係る包括評価制度の運用に関する業務、診療録の管理・開示に関する業務、中央診療施設の事務に関する業務、拠点病院に関する業務、チーム医療に関する業務、患者サービスや苦情・相談に関する業務、医療の地域連携に関する業務ほか
- 大幸地区事務統括室  
医学系研究科(大幸地区)および医学部保健学科の事務に関する業務

**Operation System**

The following functions are controlled by the Administrative Director: Assistant Administrative Director, General Affairs Division, Personnel Affairs and Labor Division, Student Affairs Division, Management Planning Division, Accounting Division, Facilities Control Group, Medical Affairs Division, and General Administration Division, Daiko Campus.

**Scope of Medical Services**

- General Affairs Division  
This division designs, plans, and improves hospital management and operations, publicizes our services, plans clinical training, managing hospital evaluations and handles administrative tasks related to the safety management of medical care and prevention of nosocomial infections.
- Personnel Affairs and Labor Division  
This division handles the administration of human resources, payroll, labor management, benefits and welfare, and occupational safety and health.
- Student Affairs Division  
Services related to studentship, school affairs, student life, support for students, international exchange, and foreign students, etc.
- Management Planning Division  
This Division provides administrative support related to the hospital's business plans and analysis, budgets, settlement of accounts, contracted research, joint research, contracted business, and receipt of external funds such as grants and donations. Administrative support is also provided for advanced medicine as well as a review of research ethics and related matters.
- Accounting Division  
This division handles the accounting of pharmaceuticals and medical materials, and specified procurement contracts.
- Facilities Control Group  
This division designs, plans, and improves facilities and equipment for future hospital design. The division also handles improvements to the in-house environment, asset management, security, and the prevention of fire and disaster.
- Medical Affairs Division  
This division is involved in medical service contracts, billing and receipt of medical fees, acceptance of patients, patient reimbursement claims on medical fees, application of a comprehensive evaluation system regarding medical fees, and the management and disclosure of medical records. It also handles a variety of administrative work related to the clinical laboratory and examination center, the functions of a core hospital, team medicine, patient service, complaints, counseling, regional medical cooperation and so on.
- Daiko Campus General Administration Office  
Services related to the Graduate School of Medicine (Daiko Campus) and the School of Health Sciences.

② 資料  
Data

- ②-1 役職員・職員数 ..... 86  
University Hospital Staff, Number of Staff
- ②-2 外来診療科 ..... 88  
Clinical Departments
- ②-3 医療機関の指定状況等 ..... 91  
Legal Authorization of Medical Services
- ②-4 先進医療 ..... 92  
Advanced Medical Technology
- ②-5 令和4年度病院統計 ..... 93  
Statistics in Fiscal Year 2022





役職員 University Hospital Staff

2023.7.1現在 as of July 1, 2023

Table listing University Hospital Staff roles and names. Includes Director, Deputy Director, Director of Nursing, Administrative Director, and Assistant Director with their respective names and titles.

Table listing Department of Patient Safety and Medical Research and Clinical Ethics Promotion Office staff, including the Manager and Professor.

診療科 Clinical Departments

Large table listing 55 clinical departments with columns for department name, English translation, title, and staff member names.

中央診療施設等 Central Clinical Facilities, etc

Table listing Central Clinical Facilities and their staff. Includes various departments like Clinical Laboratory, Surgical Center, Radiology, Blood Transfusion, Pathology, etc., with staff names and titles.

職員数 Number of Staff

2023.4.1 現在 as of April 1, 2023

Summary table of staff numbers categorized by classification (Educational Staff, Clinical Fellow, Medical Technical Staff, Administrative Staff) and total counts.

標榜診療科 Department	専門外来 Outpatient Specialty	担当診療科 Relevant Department	
血液内科 Hematology	血液疾患 Blood Disease	血液内科、輸血部 Hematology / Department of Blood Transfusion Service	
	造血幹細胞移植 Hematopoietic Stem Cell Transplantation		
	特殊薬物治療 Special Drug Therapy		
	血栓症 Thrombosis		
	血液凝固疾患 Blood Coagulation Disorder		
	移植後フォローアップ外来 Transplant Patient		
循環器内科 Cardiology	移植ドナー Transplant Donor	循環器内科 Cardiology	
	循環器 Cardiovascular Disease		
	虚血性心疾患 Ischemic Heart Disease		
	不整脈 Arrhythmia		
	心不全 Heart Failure		
	肺高血圧症 Pulmonary Hypertension		
消化器内科 Gastroenterology and Hepatology	血管再生療法 Vascular Regeneration	消化器内科 Gastroenterology and Hepatology	
	消化管 Gastrointestinal Tract		
	胆道 Biliary Tract		
	膵臓 Pancreas		
	肝臓 Liver		
	炎症性腸疾患 Inflammatory Bowel Disease		
呼吸器内科 Respirology	呼吸器・アレルギー Respiratory System and Allergies	呼吸器内科 Respirology	
	糖尿病・内分泌内科 Endocrinology and Diabetes		
腎臓内科 Nephrology	腎臓病 Kidney Disease	腎臓内科 Nephrology	
	高血圧 Hypertension		
	膠原病 Autoimmune Disease		
	動脈 Arterial Disease		
	静脈 Venous Disease		
	リンパ Lymphatic Disease		
血管外科 Vascular and Endovascular Surgery	血管内治療 Endovascular Treatment	血管外科 Vascular and Endovascular Surgery	
	ステントグラフト Stent Graft		
	血管新生療法 Angiogenic Therapy		
	パージャヤー病 Buerger's Disease		
	肝移植 Liver Transplantation		
	生体肝ドナー Living Liver Donor		
移植外科 Transplantation Surgery	小腸移植 Small Bowel Transplantation	移植外科 Transplantation Surgery	
	内視鏡手術・ロボット手術 Endoscopic and Robotic Surgery		
	食道 Esophagus		
	胃 Stomach		
	肥満外科 Metabolic Surgery		
	小腸・大腸・骨盤 Small, Large Intestine and Pelvis		
消化器外科 Gastroenterological Surgery	肝臓 Liver	消化器外科一、消化器外科二 Gastroenterological Surgery 1 / Gastroenterological Surgery 2	
	膵臓 Pancreas		
	胆道 Biliary Tract		
	炎症性腸疾患 Inflammatory Bowel Disease		
	乳房 Breast		乳腺・内分泌外科 Breast and Endocrine Surgery
	甲状腺 Thyroid Gland		
副腎 Adrenal Gland			
副甲状腺 Parathyroid			
整形外科一般 General Orthopedic Surgery	整形外科 Orthopedic Surgery		
小児 Pediatric			
股関節 Hip Joint			
骨系統 Systemic Bone Disease			
スポーツ Sports			
腫瘍 Musculoskeletal Tumor			
整形外科 Orthopedic Surgery	膝肩 Knee and Shoulder	リウマチ科 Rheumatology	
	脊髄・脊髄 Spine and Spinal Cord		
	リウマチ Rheumatoid Arthritis		
	手の外科 Hand Surgery		
	妊婦健診 Prenatal Checkup		産婦人科 Obstetrics and Gynecology
	産後健診 Postpartum Checkup		
腫瘍 Tumor			
内視鏡手術 Endoscopic Surgery			
リプロ Reproductive Medicine			
ハイリスク妊娠 High-Risk Pregnancy			
産婦人科 Obstetrics and Gynecology	術前外来 Preoperative Outpatient	産婦人科 Obstetrics and Gynecology	
	女性健康外来 Gynecologic Health Outpatient		
	コルポ外来 Colposcopy Outpatient		

標榜診療科 Department	専門外来 Outpatient Specialty	担当診療科 Relevant Department
眼科 Ophthalmology	眼科一般 General Ophthalmology	眼科 Ophthalmology
	網膜硝子体 Retina and Vitreous	
	角膜 Cornea	
	緑内障 Glaucoma	
	ぶどう膜炎 Uveitis	
	黄斑 Macula	
	斜視弱視 Strabismus and Amblyopia	
	色覚 Color Vision	
	神経眼科 Neuroophthalmology	
	コンタクトレンズ Contact Lens	
	精神科 Psychiatry	
小児科一般 General Pediatrics		
小児科 Pediatrics	小児血液・腫瘍 Pediatric Hematology and Oncology	小児科 Pediatrics
	血液・腫瘍長期フォローアップ外来 Hematology and Oncology Long-term Follow Up	
	小児神経 Pediatric Neurology	
	小児免疫 Pediatric Immunology	
	新生児 Neonatology	
	感染症・予防接種 Infectious Diseases and vaccination	
	小児循環器 Pediatric Cardiology	
	小児内分泌 Pediatric Endocrinology	
	染色体・遺伝性疾患 Genetics	
	膠原病 Collagen Disorder	
	皮膚科一般 General Dermatology	
皮膚腫瘍 Skin Tumor		
遺伝性皮膚疾患 Genetic Skin Disorder		
泌尿器科一般 General Urology		
腎移植 Renal Transplantation		
腫瘍 Tumor		
泌尿器科 Urology		
精巣腫瘍 Testicular Cancer		
排尿障害 Impaired Urination		
尿失禁 Urinary Incontinence		
耳鼻いんこう科 Otorhinolaryngology	耳鼻いんこう科一般 General Otorhinolaryngology	耳鼻いんこう科 Otorhinolaryngology
	難聴 Hearing Loss	
	めまい Dizziness	
	腫瘍 Tumor	
	ABR ABR	
	鼻疾患 Nose Disease	
	睡眠時無呼吸 Sleep Apnea	
	唾液腺疾患 Salivary Gland Disease	
	補聴器 Hearing Aid	
	IVR IVR	
	放射線科 Radiology	
甲状腺疾患の内用療法 Radioactive Iodine Therapy for Thyroid Disease		
精密画像診断 High-Resolution Diagnostic Imaging		
麻酔科 Anesthesiology	疼痛治療 Pain Clinic	麻酔科 Anesthesiology
	術前評価 Preoperative Evaluation	
歯科口腔外科 Oral and Maxillofacial Surgery	口腔外科一般 General Maxillofacial Surgery	歯科口腔外科 Oral and Maxillofacial Surgery
	人工歯根（インプラント） Dental Implant	
	顎顔面再生 Maxillofacial Regeneration	
	顎関節症 Temporomandibular Disorders	
	睡眠時無呼吸症候群 Sleep Apnea Syndrome	
	顎変形症 Jaw Deformity	
	口唇口蓋裂 Cleft Lip and Palate	
	再生歯科 Regenerative Dentistry	
	口腔腫瘍 Oral Tumor	
	内視鏡手術（脳室内病変・下垂体腫瘍） Endoscopic Surgery (Pituitary Tumor, Intraventricular Lesion)	
	脳血管内治療 Cerebro-Endovascular Treatment	
脳腫瘍（良性・悪性） Brain Tumor (Benign and Malignant)		
機能的脳手術（てんかん・不随意運動） Functional Neurosurgery (Epilepsy, Involuntary Movements)		
脳神経外科一般（外傷・感染） General Neurosurgery	脳神経外科 Neurosurgery	
遺伝子・再生医療・細胞療法 Genetic and Regenerative Medicine, Cellular Therapy		
脳血管外科 Neurovascular Surgery		
脊髄・脊髄・顔面けいれん・三叉神経痛 Spine and Spinal Cord, Facial Spasm, Trigeminal Neuralgia		
小児脳神経外科 Pediatric Neurosurgery		
難治性疼痛 Intractable pain		



Table with 4 columns: 標榜診療科 (Department), 専門外来 (Specialty), Outpatient Specialty, 担当診療科 (Relevant Department). Rows include Geriatrics, Neurology, Thoracic Surgery, Cardiac Surgery, Plastic and Reconstructive Surgery, Pediatric Surgery, Internal Medicine, Child and Adolescent Psychiatry, Emergency Care, and Rehabilitation Medicine.

2023.4.1 現在 as of April 1, 2023

Table with 4 columns: 法令等の名称 (Names in laws and regulations), 指定等の年月日 (Date of designation). Rows list various medical services and their legal designations, such as Technologically advanced hospital, Disaster base hospital, AIDS treatment core hospital, etc.

①-1 患者安全推進部 医学研究倫理 臨床倫理推進室

①-2 診療科

①-3 中央診療施設等

①-4 薬剤部 / 看護部 / 医療技術部 / 事務部

② 資料

③ 施設とアクセス

①-1 患者安全推進部 医学研究倫理 臨床倫理推進室

①-2 診療科

①-3 中央診療施設等

①-4 薬剤部 / 看護部 / 医療技術部 / 事務部

② 資料

③ 施設とアクセス

2023.4.1 現在 as of April 1, 2023

法令等の名称	Names in laws and regulations	指定等の年月日 Date of designation
①-1 患者安全推進部 医学研究倫理・臨床倫理推進室 抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	DNA testing for resistance to anticancer drug therapy	平成21年 2月 1日 February 1, 2009
①-2 診療科 インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る)	Intravenous interferon-alpha and oral zidobudine in adult T-cell leukemia-lymphoma (Only in symptomatic indolent forms or chronic disease with no poor prognostic factors)	平成26年 6月 1日 June 1, 2014
①-3 中央診療施設等 骨髄由来間葉系細胞による顎骨再生療法	Jaw bone regeneration with bone marrow-derived mesenchymal cells	平成28年 1月 1日 January 1, 2016
①-4 薬剤部/看護部/医療技術部/事務部 テモゾロミド用量強化療法	A multicenter randomized phase III study for recurrent glioblastoma comparing bevacizumab alone with does-dense temozolomide followed by bevacizumab	平成30年 4月 1日 April 1, 2018
② 資料 S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法	Multicenter randomized clinical trial (Phase III) for S-1 + intravenous and intraperitoneal paclitaxel regimen in pancreatic ductal adenocarcinoma patients with peritoneal metastasis	令和元年 12月 1日 December 1, 2019
③ 施設とアクセス 周術期デュルバルマブ静脈内投与療法	Efficacy and safety of Durvalumab before and after operation or durvalumab as maintenance therapy after Chemoradiotherapy Against superior sulcus Non-small cell lung cancer	令和2年 3月 1日 March 1, 2020
①-1 患者安全推進部 医学研究倫理・臨床倫理推進室 ウイルスに起因する難治性の眼感染症疾患に対する迅速診断(PCR法)	Fast & Comprehensive PCR for Severe Viral Infectious Disease of Eyes	令和2年 6月 1日 June 1, 2020
①-2 診療科 ネシツムマブ静脈内投与療法 切除が不可能なEGFR遺伝子増幅陽性固形がん(食道がん、胃がん、小腸がん、尿路上皮がん又は乳がんに限る。)	Necitumumab intravenous administration therapy EGFR gene amplification-positive solid tumors that cannot be resected (limited to esophageal cancer, gastric cancer, small bowel cancer, urothelial cancer or breast cancer)	令和4年 9月 1日 September 1, 2022

1 診療科別患者数 Number of Patients by Clinical Departments

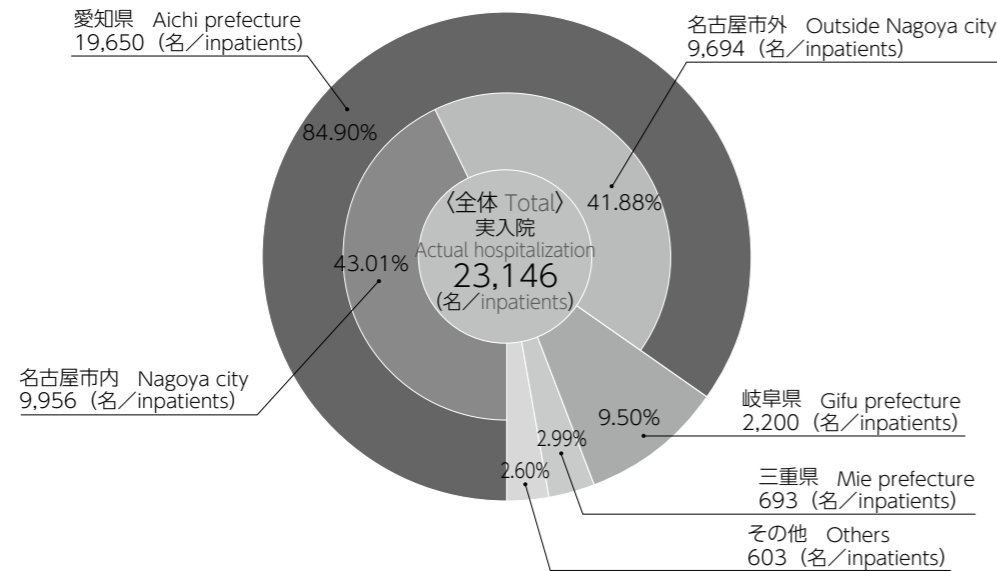
科名	Clinical Department	入院Inpatients	外来Outpatients
血液内科	Hematology	11,605	13,453
循環器内科	Cardiology	11,779	28,244
消化器内科	Gastroenterology and Hepatology	19,843	44,313
呼吸器内科	Respirology	13,955	19,060
糖尿病・内分泌内科	Endocrinology and Diabetes	4,532	31,143
腎臓内科	Nephrology	4,717	17,740
血管外科	Vascular and Endovascular Surgery	4,959	5,005
移植外科	Transplantation Surgery	1,763	2,282
消化器外科一	Gastroenterological Surgery 1	18,567	12,180
消化器外科二	Gastroenterological Surgery 2	20,085	16,023
乳腺・内分泌外科	Breast and Endocrine Surgery	4,410	15,895
整形外科	Orthopedic Surgery	17,359	32,656
手の外科	Hand Surgery	2,301	6,894
産科	Obstetrics	5,876	27,493
婦人科	Gynecology	8,388	
眼科	Ophthalmology	7,456	31,287
精神科	Psychiatry	8,120	16,714
親と子どもの心療科	Child and Adolescent Psychiatry	547	3,527
小児科	Pediatrics	16,916	13,314
皮膚科	Dermatology	4,168	22,853
泌尿器科	Urology	9,366	29,702
耳鼻いんこう科	Otorhinolaryngology	10,228	16,129
放射線科	Radiology	268	11,019
麻酔科	Anesthesiology	281	2,249
歯科口腔外科	Oral and Maxillofacial Surgery	2,148	18,501
脳神経外科	Neurosurgery	13,434	16,418
老年内科	Geriatrics	4,346	4,452
脳神経内科	Neurology	9,505	18,723
呼吸器外科	Thoracic Surgery	4,445	5,353
心臓外科	Cardiac Surgery	9,376	5,034
形成外科	Plastic and Reconstructive Surgery	1,193	4,858
小児外科	Pediatric Surgery	3,579	3,673
中央感染制御部	Department of Infectious Diseases	0	986
総合診療科	General Medicine	1,918	9,382
総合周産期母子医療センター	Center for Maternal-Neonatal Care	8,970	0
化学療法部	Department of Clinical Oncology and Chemotherapy	1,335	2,245
救急科	Emergency and Critical Care Medicine	2	3,086
セカンドオピニオン外来	Second Opinion Clinic	0	313
計 Total		267,740	512,199
一日平均 Daily average		733.5	2,107.8



2 地域別入院患者数 Number of Inpatients (classified by prefecture)

地域	Region	人数 Number of Inpatients
北海道	Hokkaido prefecture	3
東北地方	Tohoku region	6
関東地方	Kanto region	142
中部地方	Chubu region	22,773
近畿地方	Kinki region	162
中国地方	Chugoku region	8
四国地方	Shikoku region	16
九州・沖縄地方	Kyushu-Okinawa region	36
国外	Outside Japan	0
計 Total		23,146

中部地方の内訳	Detail of Chubu region	人数 Number of Inpatients
新潟県	Niigata prefecture	6
富山県	Toyama prefecture	6
石川県	Ishikawa prefecture	6
福井県	Fukui prefecture	17
長野県	Nagano prefecture	76
岐阜県	Gifu prefecture	2,200
静岡県	Shizuoka prefecture	119
愛知県	Aichi prefecture	19,650
三重県	Mie prefecture	693
計 Total		22,773



3 病床数・看護配置 Number of Beds and Nurse to Patient Ratio

種別	Clinical Purpose	一般 General	精神 Psychiatry	計 Total
病床数	Number of Beds	1,030	50	1,080
看護配置	Nurse to Patient Ratio	2:1以上(7対1)	7対1	

4 臨床検査件数 Number of Clinical Laboratory Tests

区分	Divisions	件数 Number of Cases
一般検査	General Test	111,419
血液学的検査	Hematologic Test	794,838
生化学的検査	Biochemical Test	5,504,913
免疫学的検査	Immunological Test	438,767
微生物学的検査	Microbiological Test	35,828
病理学的検査	Pathological Test	21,746
遺伝子検査	Genetic Test	8,301
循環器機能検査	Cardiovascular Function Test	35,029
脳・神経機能検査	Neurological Function Test	2,690
呼吸機能検査	Respiratory Function Test	6,251
超音波検査	Ultrasonic Imaging	
循環器領域		11,536
腹部領域		6,368
小計 Subtotal		6,977,686
輸血検査	Transfusion Test	37,995
採血・採液等	Blood/Fluid Collection, etc.	158,066
内視鏡検査(光学診療部実施分)	Endoscopic Test (conducted by the Department of Endoscopy)	11,050
計 Total		7,184,797

5 手術件数 Number of Surgery Cases

区分	Divisions	件数 Number of Cases		
		入院 Inpatients	外来 Outpatients	計 Total
定例	Elective Cases	6,997	635	7,632
緊急	Emergency Cases	1,386	19	1,405
計 Total		8,383	654	9,037

(注) 手術件数は、手術台帳から算出。  
(Note) The number of operations is calculated from the operation registry data.

6 放射線検査・治療件数 Number of Radiological Examinations and Treatment

区分	Divisions	件数 Number of Cases		
		入院 Inpatients	外来 Outpatients	計 Total
一般撮影(単純)	X-ray (simple)	63,224	65,875	129,099
一般撮影(造影)	X-ray (contrast)	4,830	1,448	6,278
血管造影検査	Angiography	2,812	56	2,868
X線CT検査	CT Scan	12,329	42,532	54,861
MR I 検査	MRI	5,682	13,538	19,220
核医学検査(インビボ)	RI (in vivo)	1,937	2,712	4,649
骨塩定量	Bone Mineral Density	222	1,312	1,534
超音波	Ultrasound	169	3,916	4,085
放射線治療	Radiotherapy	5,579	6,397	11,976
治療計画	Therapeutic Plan	488	1,329	1,817
計 Total		97,272	139,115	236,387

- CT・MRIの放射線科医による読影レポート作成を翌営業日までに終了した率 Rate of radiologist's CT/MRI reading reports finished before the following working day 98.58 %
- 核医学検査の放射線科医による読影レポート作成を翌営業日までに終了した率 Rate of radiologist's RI reading reports finished before the following working day 96.82 %

7 分娩件数 Number of Deliveries

区分	Divisions	件数 Number of Cases
正常分娩	成熟児 Mature Infants	118
	未熟児 Premature Infants	22
	死産児 Still Births	0
異常分娩	成熟児 Mature Infants	180
	未熟児 Premature Infants	92
	死産児 Still Births	20
計 Total		432

8 メディカルソーシャルワーカーケースワーク取扱件数 Number of Cases of Providing Social Work Services

区分	Divisions	件数 Number of Cases
取り扱い延べ件数	Annual Total Number of Cases	20,847
問題別相談分類	一般相談・面接相談	5,345
	退院相談	10,216
	窓口相談(制度案内)	5,056
	その他	230

9 地域連携・患者相談センター登録医数 Number of Registered Doctors at Center for Community Liaison and Patient Consultations

区分	Divisions	件数 Number of Cases	
		登録医 Registered Doctors	登録医療機関 Registered Medical Institutions
医科	Medicine	1,638	1,289
歯科	Dentistry	150	133
計 Total		1,788	1,422

10 診療申込件数(地域連携・患者相談センター扱い分) Number of Applications for Referrals via Center for Community Liaison and Patient Consultations

区分	Divisions	件数 Number of Cases	
		紹介患者 Referred Patients	地域連携・患者相談センター取り扱い件数 Applications for Referrals via Center for Community Liaison and Patient Consultations
病院	Hospital	8,829	7,657
診療所	Clinic	8,470	7,173
計 Total		17,299	14,830

11 薬剤関連 Pharmaceuticals

区分	Divisions	計 Total
入院処方箋枚数	Inpatient Prescriptions	223,038
外来処方箋枚数	院内 In-Hospital Pharmacy	9,433
	院外 Out-of-Hospital Pharmacy	242,186
院外処方箋発行率	Outside Pharmacy Prescriptions (%)	96.26 %
注射処方箋枚数	入院 Inpatient	322,502
	外来 Outpatient	50,477
薬剤管理指導料算定件数	Pharmaceutical Consults (fees covered by insurance)	25,713
化学療法調製件数	入院 Inpatient	14,906
	外来 Outpatient	19,058
中心静脈栄養調製件数	入院 Inpatient	4,608
	外来 Outpatient	-
薬物血中濃度モニタリング件数 (算定対象外)	Therapeutic Drug Monitoring (fees not covered by insurance)	710
後発医薬品利用率 (購入額ベース・薬価)	Use of Generic Drugs (purchase price-based / drug price)	5.59 %

12 治験件数 Number of clinical trials

	令和3年度以前からの継続件数 Number of contracts continued from fiscal year 2021 or before	令和4年度新規契約件数 Number of new contracts in fiscal year 2022	令和4年度内終了件数 Number of contracts completed in fiscal year 2022
企業治験 Industry-initiated Clinical Trials	149	50	33
医師主導治験 Investigator-initiated Clinical Trials	20	8	7
計 Total	169	58	40

13 経営管理 Business management

項目	Item	令和4年度 Fiscal year 2022
① 医療従事者数	Number of Healthcare Providers	2,352 人
② 病床数	Number of Beds	1,080 床
③ 病床稼働率	Bed Utilization Rate	73.78 %
④ 平均在院日数	Average Number of Days of Hospitalization	11.58 日
⑤ 外来患者数	Number of Outpatients	512,199 人
⑥ 入院診療単価	Inpatient Medical Fee per Unit	101,766 円
⑦ 外来診療単価	Outpatient Medical Fee per Unit	24,942 円
⑧ 材料比率	Percentage of Medical Supplies	15.60 %
⑨ 医薬品比率	Percentage of Drugs	24.50 %
⑩ 査定率	Insurance Rejection Rate	0.61 %
⑪ 薬剤管理指導料算定件数		25,713 件
⑫ 後発医薬品利用率 (購入額ベース・薬価)		5.59 %
⑬ 紹介率	Incoming Referral Rate	73.32 %
⑭ 逆紹介率	Outgoing Referral Rate	79.08 %

(注)・医療従事者数は、令和5年4月1日現在であり、非常勤職員は、常勤換算して算出し、小数点以下を切り捨て。  
・病床数は、令和5年4月1日現在。

(Note) The number of healthcare providers is the figure as of April 1, 2023. Part-time staff members are converted to full-time staff members.  
The number of beds is the figure as of April 1, 2023.

3 施設とアクセス  
Facilities and Access

③-1 鶴舞地区配置図 ..... 98  
Site Map in Tsurumai District

③-2 各階案内 ..... 99  
Floor Guide

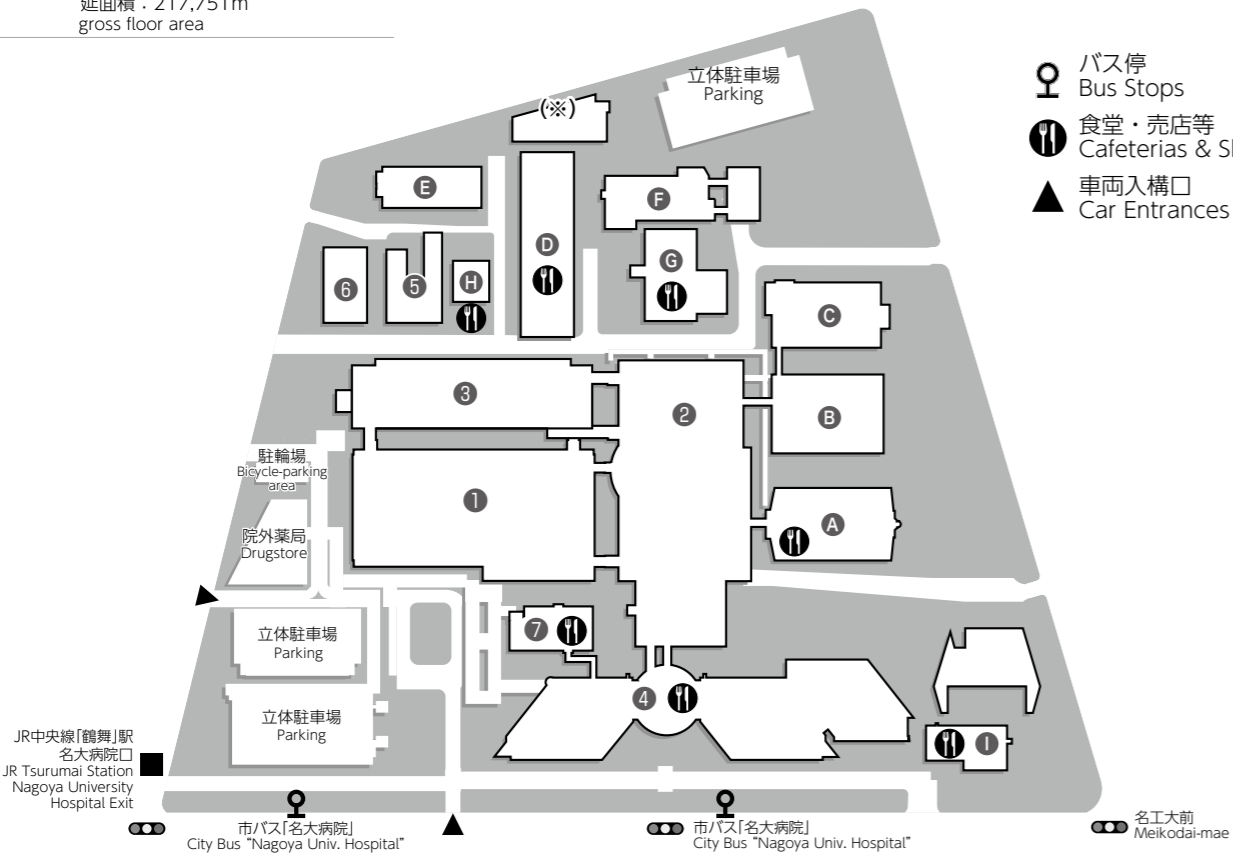
③-3 大幸地区配置図 ..... 100  
Site Map in Daiko District

③-4 アクセス ..... 101  
Access





面積 : 88,151㎡
Area
位置 : 名古屋市昭和区鶴舞町65番地
Location 65 Tsurumai-cho, Showa-ku, Nagoya city
建物 : 建面積 : 35,441㎡
Building building area
延面積 : 217,751㎡
gross floor area



- バス停 Bus Stops
食堂・売店等 Cafeterias & Shops
車両入構口 Car Entrances

医学部附属病院施設 University Hospital

Table with 5 columns: 名称 Name, 構造・階 Structure, 建面積 Building area (m²), 延面積 Gross floor area (m²), and 2023.4.1現在 As of April 1, 2023. Lists buildings 1-7 including Outpatient Building, Central Consultation Buildings A and B, Ward Building, and Nurse Residences.

大学院医学系研究科・医学部施設 Graduate School of Medicine/School of Medicine

Table with 5 columns: 名称 Name, 構造・階 Structure, 建面積 Building area (m²), 延面積 Gross floor area (m²), and 2023.4.1現在 As of April 1, 2023. Lists buildings A-H including Medical Science Research Buildings, Basic Medical Research Buildings, and Welfare Facilities.

(※) ドナルド・マクドナルド・ハウス などや RMH Nagoya

1 外来棟 Outpatient Building

Table showing floor plans for the Outpatient Building (4F, 3F, 2F, 1F) with department names in Japanese and English, such as Administration Office, Obstetrics and Gynecology, and Radiology.

2 中央診療棟 A Central Consultation Building A

Table showing floor plans for Central Consultation Building A (RF, 7F, 6F, 5F, 4F, 3F, 2F, 1F, B1F) with department names like Heliport, Department of Nursing, Emergency and Medical Intensive Care Unit, and various laboratory and clinical engineering departments.

3 中央診療棟 B Central Consultation Building B

Table showing floor plans for Central Consultation Building B (6F, 5F, 4F, 3F, 2F, 1F, B1F) with department names like Conference Room, Department of Surgical Center, Surgical ICU, and Radiation Therapy Room B.

4 病棟西側 (W) Ward Building / West Side (W)

Table showing floor plans for Ward Building West Side (14F, 13F, 12F, 11F, 10F, 9F, 8F, 7F, 6F, 5F, 4F, 3F, 2F, 1F) with department names like Gastroenterological Surgery 2, Respiriology, and Hematology.

4 病棟東側 (E) Ward Building / East Side (E)

Table showing floor plans for Ward Building East Side (14F, 13F, 12F, 11F, 10F, 9F, 8F, 7F, 6F, 5F, 4F, 3F, 2F, 1F, B1F) with department names like Family Bathroom, Gastroenterological Surgery 1, and Cardiology.

7 オアシスクーブ (福祉施設) Oasis Cube (Welfare facility)

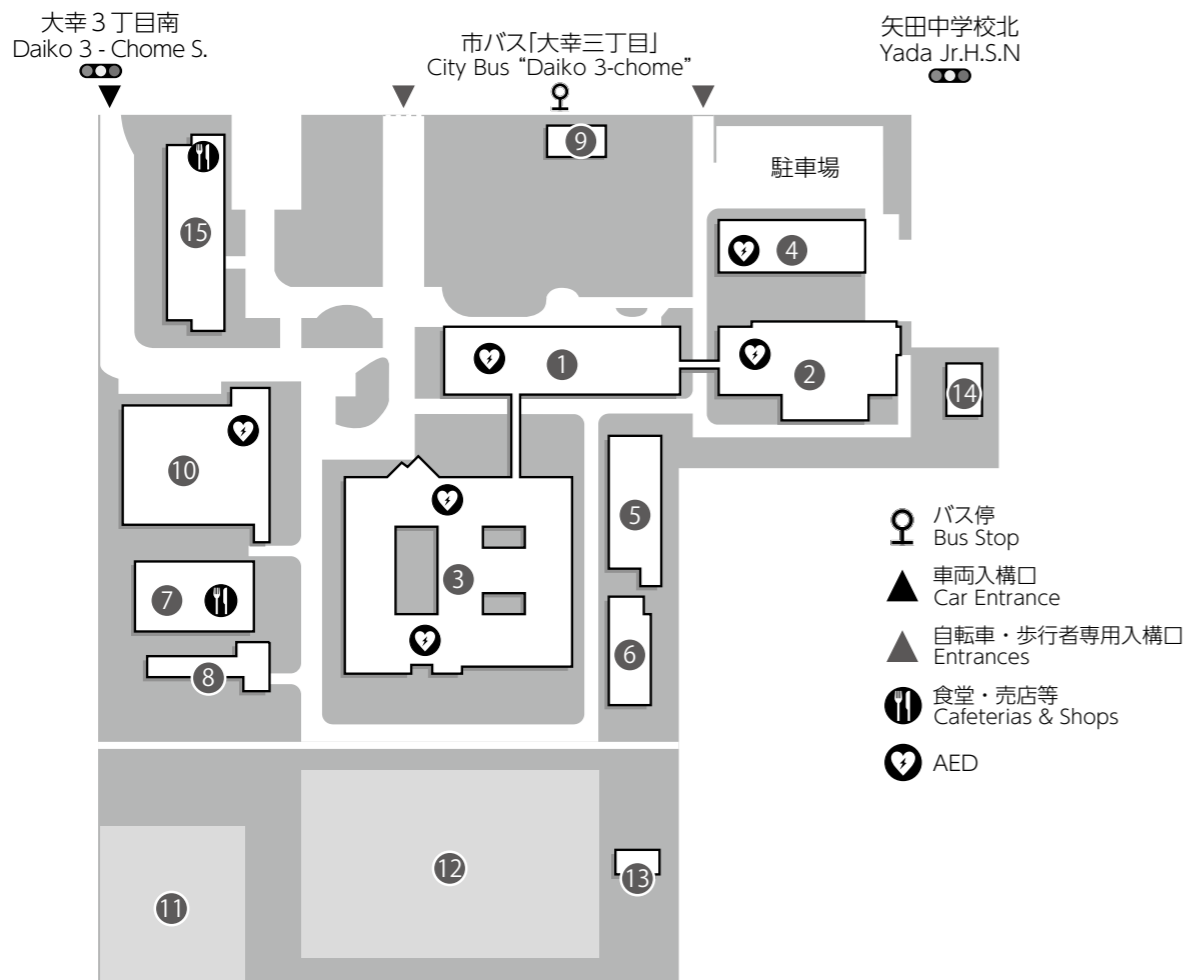
Table showing floor plans for Oasis Cube (1F) with department names like Convenience Store, Coffee Shop, and Nursing-Care Goods Shop.

面積 : 48,463㎡  
Area

位置 : 名古屋市東区大幸南1丁目1番20号  
Location 1-1-20, Daiko-minami, Higashi-ku, Nagoya city

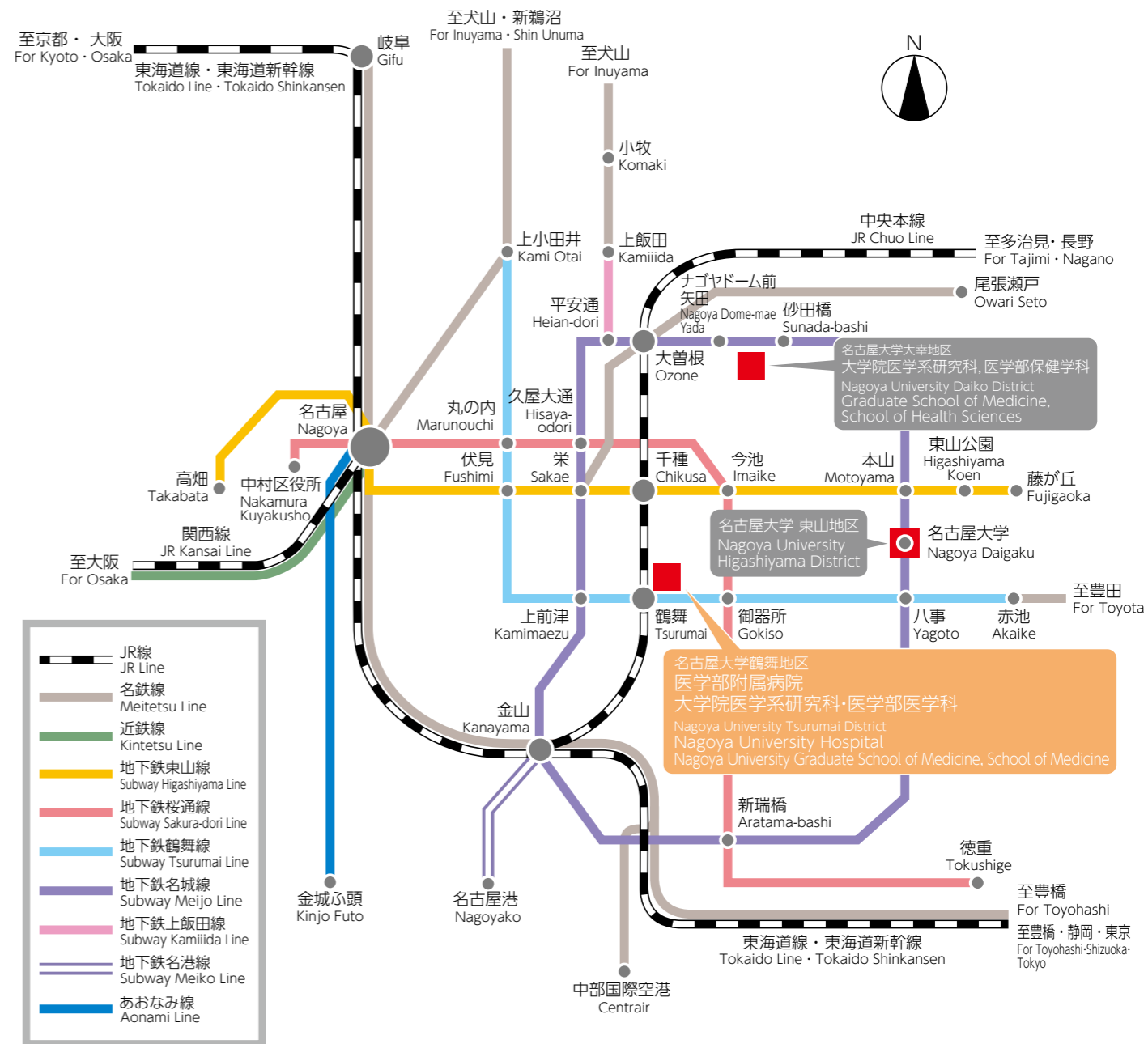
建物 : 建面積 : 11,240㎡  
Building building area

延面積 : 34,239㎡  
gross floor area



2023.4.1 現在 As of April 1, 2023

名称	Name	構造・階 Structure	建面積 Building area (㎡)	延面積 Gross floor area (㎡)
① 医学部保健学科本館	School of Health Sciences (Main Building)	RC5	1,414	5,835
② 医学部保健学科東館	School of Health Sciences (East Building)	RC4	843	3,331
③ 医学部保健学科南館	School of Health Sciences (South Building)	RC4	3,021	8,067
④ 医学部保健学科別館	Annex to School of Health Sciences	RC4	579	2,431
⑤ エネルギーセンター	Energy Center	RC2	606	894
⑥ 研究棟	Research Building	RC1	353	353
⑦ 厚生会館	Student Hall	RC2	678	1,338
⑧ リサーチーズビレッジ大幸	Researchers Village Daiko	RC3	280	720
⑨ 業務支援室・車庫	Work Support Office・Garage	CB1	142	142
⑩ 体育館	Gymnasium	SRC1	1,369	1,369
⑪ 硬式庭球場	Tennis Courts		-	-
⑫ 運動場	Ground		-	-
⑬ 弓道場	Kyudo (Japanese Archery) Hall		88	88
⑭ 大幸ガラス温室	Daiko Glass Greenhouse	S1	50	50
⑮ インターナショナルレジデンス大幸	International residence Daiko	RC8	720	5,760
その他	Others		1,097	3,861



鶴舞地区 Tsurumai District

交通 Access

- JR中央本線「鶴舞駅(名大病院口側)」下車徒歩3分  
3-minute walk from JR Chuo Line "Tsurumai Station (Nagoya University Hospital exit side)".
- 地下鉄(鶴舞線)「鶴舞駅」下車徒歩8分  
8-minute walk from Subway (Tsurumai Line) "Tsurumai Station".
- 市バス「栄」から栄⑩系統「妙見町」行きで「名大病院」下車  
Take the Sakae route No. 18 city bus headed for "Myokencho" from "Sakae Bus Terminal" and get off at "Meidai Byoin (Nagoya University Hospital)".

大幸地区 Daiko District

交通 Access

- JR中央本線「大曽根駅(北口)」下車徒歩15分  
15-minute walk from JR Chuo Line "Ozone Station (north exit)".
- 地下鉄(名城線)「ナゴヤドーム前矢田駅」下車徒歩10分または、「砂田橋駅」下車徒歩7分  
10-minute walk from Subway (Meijo Line) "Nagoya Dome-mae Yada Station" or 7-minute walk from "Sunada-bashi Station".
- 市バス「名古屋駅」から大幸⑮系統「茶屋ヶ坂」行きで「大幸三丁目」下車  
Take the Meieki route No. 15 city bus headed for "Chayagasaka" from "Nagoya Station" "Ozone Bus Terminal" and get off at "Daiko 3-chome".

名古屋大学医学部附属病院 病院概要2023  
Profile of Nagoya University Hospital 2023

2023年7月発行  
Published July, 2023

名古屋大学医学部・医学系研究科総務課  
〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町65番地  
TEL (052) 741-2111  
<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/hospital/>

General Affairs Division, Nagoya University  
School of Medicine and Graduate School of Medicine  
65, Tsurumai-cho, Showa-ku, Nagoya 466-8560  
TEL +81-52-741-2111  
[https://www.med.nagoya-u.ac.jp/hospital\\_en/](https://www.med.nagoya-u.ac.jp/hospital_en/)

